

平成 20 年度言語研修
トゥヴァ語研修テキスト 2

トゥヴァ語教本

高島尚生 著

東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所
2008

まえがき

本書は、2008年度 東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所主催のトゥヴァ語研修に際し、トゥヴァ語研修用の教科書として編まれたものです。

トゥヴァ語はチュルク諸語の1つで、トゥヴァ民族が話す言語です。トゥヴァ民族はロシア連邦内におよそ25万人が住み、その9割以上が自分たちのふるさとである南シベリアのトゥヴァ共和国に住んでいます。民族語であるトゥヴァ語を母語とみなす比率が極めて高いのが特徴です。また、ロシア連邦以外にモンゴルや中国新疆ウイグル自治区にも住んでいます。

これまで日本においてトゥヴァ語の教科書がなかったことを鑑みて、今回、本書の作成において心がけたことは、1) 基本的な文法項目を網羅すること、2) 「話す」活動を中心に、「書く」、「読む」活動が練習できるような教科書にすること、3) 研修後も独習できる教科書にすること、です。

具体的には、文法項目の説明はできるだけ省略しないようにしました。文法項目のほかに日常よく使う表現を多く取り入れ、練習できるようにしてあります。また、第7課からは短い読み物を加え、文法項目の定着と語彙数を増やせるようにしました。全課を終えた後にも読み物をつけてあります。読み物のテキストは、トゥヴァで用いられているトゥヴァ語の教科書や書き取り集から選びだしてありますので、トゥヴァの生徒たちが学校の授業で実際に読んでいるテキストと同じものです。新出単語は各課ごとにまとめてあり、巻末にも単語の索引をもうけました。しかし、今回トゥヴァ語研修用に「トゥヴァ語・日本語小辞典」(中嶋善輝著)が編纂されていますので、テキストを読むときには、まず自分で辞典を引いてみるのがよいでしょう。

さらにもっと深く文法を勉強するには、「基礎トゥヴァ語文法」がトゥヴァ語研修テキストとして編纂されているので参考にしてください。

本書の例文はすべて、トゥヴァ語研修の講師である O.V.ダンバー先生に見ていただいております、より適切な例文も書き加えていただいております。この場をお借りしてダンバー先生に感謝します。

この教科書がトゥヴァ語習得の第一歩となれば、これにまさる喜びはありません。

2008年夏

高島 尚生

目次

文字と発音	7
アルファベット	7
母音	7
子音	8
母音調和の法則	12
子音の有声化	12
子音の無声化	13
アクセント	13
第1課 Бир дугаар кичээл	14
「これは～です」の表現	14
疑問文	14
数詞①	15
序数詞	15
挨拶表現	15
新出単語	16
第2課 Ийи дугаар кичээл	17
人称代名詞と人称指標	17
形容詞	18
選択疑問文	18
名詞の複数形	18
エチケット表現	19
新出単語	19
第3課 Үш дугаар кичээл	20
所有接辞	20
代名詞の属格	22
名詞の属格	22
名前の言い方, たずね方	23
新出単語	24
第4課 Дөрт дугаар кичээл	25
所有表現「～には…がある」	25
位格	25
表現 トゥヴァ語で何といいますか?	27
新出単語	27
第5課 Беш дугаар кичээл	28

未来形	28
未来形の否定形	29
命令形①	31
新出単語	32
第 6 課 Алды дугаар кичээл	33
現在形	33
現在形の否定形	34
許可・禁止をあらわす表現	34
新出単語	35
第 7 課 Чеди дугаар кичээл	36
現在未来形	36
現在未来形の否定形	36
職業「～として働いています」	36
読み物	37
新出単語	37
第 8 課 Сес дугаар кичээл	39
与格	39
過去形①	40
読み物	42
新出単語	43
第 9 課 Тос дугаар кичээл	44
奪格	44
命令形②	45
数詞②	46
時刻の表現	46
読み物	48
新出単語	48
第 10 課 Он дугаар кичээл	50
過去形②	50
助動詞 алыр と бээр, көөр	51
表現 いくらですか?	52
読み物	52
新出単語	53
第 11 課 Он бир дугаар кичээл	55
方向格	55
形容詞・動詞の名詞化	56

「～が好きです」	57
読み物	58
新出単語	58
第 1 2 課 Он ийи дугаар кичээл	59
「～したい」の言い方	59
多回・同時相	60
天気の実現	60
読み物	61
新出単語	61
第 1 3 課 Он үш дугаар кичээл	63
完了・開始をあらわす構文 副動詞 -а 形+助動詞 бээр	63
共同・相互態	64
期間をあらわす表現	65
読み物	66
新出単語	66
第 1 4 課 Он дөрт дугаар кичээл	68
比較	68
最上級	68
形容詞の弱化	69
材料をあらわす奪格（～から）	69
読み物	69
新出単語	70
第 1 5 課 Он беш дугаар кичээл	71
命令形③ 1 人称（～しよう）と 3 人称（～させよ，～しますように）	71
使役態	72
読み物	73
新出単語	74
第 1 6 課 Он алды дугаар кичээл	75
～したとき（動詞+位格）	75
被動態	75
読み物	76
新出単語	76
第 1 7 課 Он чеди дугаар кичээл	77
「～になる」	77
～する際（条件・原因）（動詞+与格）	77
読み物	78

新出単語.....	78
第18課 Он сес дугаар кичээл.....	79
「～しなければならぬ」.....	79
副動詞 -каш 形.....	80
読み物.....	81
新出単語.....	81
第19課 Он тос дугаар кичээл.....	83
「痛い」の表現.....	83
疑問接辞 -[ы]л.....	83
副動詞 -п 形 + билир「～できる(能力)」の構文.....	84
読み物.....	84
新出単語.....	85
第20課 Чээрби дугаар кичээл.....	86
副動詞 -кала 形.....	86
後置詞と格.....	87
読み物.....	88
新出単語.....	89
第21課 Чээрби бир дугаар кичээл.....	90
条件法(もし～ならば).....	90
仮定法.....	91
読み物.....	91
新出単語.....	92
第22課 Чээрби ийи дугаар кичээл.....	93
感嘆文.....	93
譲歩.....	94
読み物.....	95
新出単語.....	95
第23課 Чээрби үш дугаар кичээл.....	97
副動詞 -пышаан 形.....	97
再帰態.....	98
読み物.....	98
新出単語.....	98
第24課 Чээрби дөрт дугаар кичээл.....	100
完了相.....	100
読み物.....	101
新出単語.....	101

第 2 5 課 Чээрби беш дугаар кичээл	102
律動相（リズム相）	102
「～してもしきれない」の構文.....	103
読み物	103
新出単語.....	103
読み物	105
単語索引	110
参考文献	140

文字と発音

アルファベット

トゥヴァ語のアルファベットは36文字あります。

トゥヴァ語の文字体系は1930年にラテン文字を基礎にして作られましたが、1944年にキリル文字化されました。

トゥヴァ語のアルファベット

大文字	小文字	発音	大文字	小文字	発音
А	а	[a]	П	п	[p]
Б	б	[b]	Р	р	[r]
В	в	[v]	С	с	[s]
Г	г	[g]	Т	т	[t]
Д	д	[d]	У	у	[u]
Е	е	[je]	Ү	ү	[ü]
Ё	ё	[jo]	Ф	ф	[f]
Ж	ж	[ʒ]	Х	х	[x]
З	з	[z]	Ц	ц	[ʦ]
И	и	[i]	Ч	ч	[tʃ]
Й	й	[j]	Ш	ш	[ʃ]
К	к	[k]	Щ	щ	[ʃʃ]
Л	л	[l]	-	ь	-
М	м	[m]	Ы	ы	[ɨ]
Н	н	[n]	-	ъ	-
-	ң	[ŋ]	Э	э	[e]
О	о	[o]	Ю	ю	[ju]
Ө	ө	[ö]	Я	я	[ja]

母音

а	ы	у	э	о		
я	и	ю	е	ё	ө	ү

- а, и — 日本語の「ア」、「イ」でかまいません。
- о — 日本語の「オ」より少し唇を丸めます。
- у — 日本語の「ウ」よりもっと唇を丸めて発音します。
- ы — 日本語の「イ」の口の形で「ウ」を発音します。
- я, ю, ё — 「j」＋「a, y, o」の発音です。
- э, е — 日本語の「エ」でかまいません。「э」は語頭か語中に長

母音として現れます。「e」は語頭でも語中でも現れます。
ふたつ並んだ「ee」は「ээ」と書きます。

- ө — 「o」を発音するときのように唇を丸めて突き出して、
「э」を発音します。
- ү — 「y」を発音するときのように唇を丸めて突き出して、
「и」を発音します。

長母音

母音を二つ重ねて書くと長母音になります。長く伸ばして発音します。

長母音は単語中どの音節でもあらわれますが、oo と ee はふつう第一音節にあらわれます。

я, ю, ё の長母音はありません。

長母音の組み合わせは、aa, ээ, ии, oo, ee, уу, үү, ыы となります。

咽頭母音

一つの母音であらわす短母音と長母音のほかに咽頭母音があります。母音が咽頭化するときには母音の後に ь を入れてあらわします。

咽頭母音を発音するとき、咽頭壁の緊張をとまいません。例えば、ат は「アットゥ」と発音しますが、咽頭化すると аьт 「アーアット」ともう一度同じ母音を繰り返すようにして発音します。

咽頭母音は単語の第一音節にあらわれます。

咽頭母音の組み合わせは、аь, эь, иь, оь, еь, уь, үь, ыь となります。

子音

子音の発音

- п, б — п は日本語の「パ」と同じ子音, [p]です。
б は日本語の「バ」と同じで[b], [p]の有声音です。
- ф, в — ф は[f]の音で、下唇と前歯が軽く触れるように発音します。
в は[v]の音で、下唇と前歯が軽く触れるように発音し, [f]の有声音です。
- т, д — т は日本語の「タ」と同じ子音, [t]です。
д は日本語の「ダ」と同じで[d], [t]の有声音です。
- к, г — к は日本語の「カ」と同じ子音, [k]です。
г は日本語の「ガ」と同じで[g], [k]の有声音です。
- с, з — с は日本語の「サ」と同じ子音, [s]です。舌先が上の歯や

歯茎に触れないように発音します。

з は日本語の「ザ」と同じ子音で[**z**] , [**s**]の有声音です。

м, н

— **м** は日本語の「マ」と同じ子音, [**m**]です。上下の両唇をしっかりと閉じて, 「ム」という鼻音を発音します。

н は日本語の「ナ」と同じ子音で[**n**] です。舌先を前歯の後ろあたりにつけて発音する鼻音です。

ң

— **ң** は「ン」の子音, [**ŋ**]です。舌の後舌部を軟口蓋に当たるようにして閉じて, 呼気を鼻から通すようにして発音する鼻音です。

л, р

— **л** は[**u**]のように唇を少し突き出した状態で, 舌先を前歯の後ろにつけて発音します。[**l**]です。

р は巻き舌の「ル」で, [**r**] です。舌先を呼気によって弾くようにして前歯の後方にぶつけるようにして発音します。

й

— **й** は短い「イ」, [**j**]です。

х

— **х** は[**k**]よりもさらに喉の奥から呼気を出すようにして「フ」, [**x**]を発音します。

ц

— **ц** は日本語の「ツ」と同じ子音で, [**ʦ**]です。

ч

— **ч** は日本語の「チ」とほぼ同じ子音で, [**ʧ**]です。

ш, ж

— **ш** は[**x**]と喉の奥から発音しながら, そこに「シュ」, [**ʃ**]の音を入れたときに得られる音です。この説明はロシア語の**ш**の音ですが, トゥヴァ語ではいつも軟音[**ʃ'**]として発音します。

ж は **ш** の有声音ですが, トゥヴァ語ではいつも軟音[**ʒ'**]として発音します。

щ

— **щ** は日本語の「シ」を長くした音とほぼ同じです。

ъ

— **ъ** は母音が咽頭化することをあらわす記号です。

ь

— **ь** は子音の後についてその子音が軟音化することをあらわす記号です。ロシア語の借用語に用います。

以前は **ъ** と同様に母音が咽頭化することをあらわす記号として用いられましたが, 現在はこの使い方はしません。

в, г, е, ё, ж, з, й, л, н, р, ф, ц, щ, я はトゥヴァ語の単語の語頭では始まりません。これらの文字で始まる単語は外国語からの借用語です。

練習問題 短母音と長母音

сан (数) – саан (саар「搾乳する」の形動詞完了),
ол (彼は) – оол (息子；少年), сын (山脈) – сыын (マラルジカ),
чук (松やに) – чуук (斜面), чуга (薄い) – чугаа (話),
чыл (年) – чыыл (чыглыр「集まる」の動詞語幹),
дүн (夜中) – дүүн (昨日), дөрт (4) – дөөртен (あそこから),
эр (男性) – ээр (戻る)

練習問題 咽頭母音

ат (名前) – аът (ウマ), от (火) – оът (草), час (春) – чаъс (雨),
эт (物, 日用品) – эът (肉), дүш (夢) – дүъш (正午)

練習問題 母音

дер (汗) – дөр (天幕の中の上座), куш (鳥) – күш (力),
чоп (なんのために) – чөп (正当に),
тык (擬態語) – тук (旗) – тик (0 ; ゼロ) – түк (擬態語)

練習問題 子音

байыр (挨拶), ажыл (仕事), биче (小さい), иви (トナカイ),
төрүттүнген (төрүттүнер「生まれる」の形動詞完了), сөс (単語),
чаш (子ども；赤ん坊), уруг (子ども；娘), херек (仕事；大義),
үлегер (例、模範例), шай (茶), өөренир (学ぶ), чүве (物),
халас (無料で), турар (立っている), домак (文), элик (ノロジカ),
хая (崖), көстүр (見える), турган (турар「立っている」の形動詞完了),
серээ (フォーク), үнүш (植物), ак-көк (水色の), кызыл (赤い),
шии (芝居, 戯曲), хоорай (市, 町), буга (種ウシ), оюн (遊び, ゲーム),
өрү-куду (上へ下へ), киштээр (クロテン狩りをする), ынак (好きな),
бүгү (すべての), балыкчы (漁師), щётка (ブラシ), фонарь (灯火),
щи (キャベツのスープ), цех (作業所；同業組合)

練習問題 子音

мен (私は) – мең (ほくろ), эрин (唇) – бистиң (私たちの),
бажын (баш「頭」+三人称所有接辞+対格接辞 – бажың (家),
тон (トゥヴァの民族服；コート) – тоң (とても, 極めて)
адаңар (адаар「発音する」の二人称複数命令形),
көрүңер (көөр「見る」の二人称複数命令形),

номчунар (номчуур 「読む」の二人称複数命令形), мөңгүн (銀),
чаңгыс (唯一の, 1つの)

注意すべき発音

1. б と д が語頭で始まる時、有声音としてではなく、ほぼ無声音として発音されます。

練習問題

баш (頭), беш (5), билиг (知識), башкы (教師), даг (山), диш (歯),
далай (海)

2. г は音節末や語末にある時、閉鎖破裂音ではなく摩擦音[γ]として発音されます。

練習問題

суг[суγ] (水), арыг[арыγ] (森)

3. п と т はいくつかの単語語頭では強い帯気音[^h]をともなう閉鎖破裂音として発音されます。

練習問題

пар [п^h ар] (トラ), пөс [п^h өс] (布地), паш [п^h аш] (鍋), тос [т^h ос] (9),
төш [т^h өш] (胸), тук [т^h ук] (旗)

母音調和の法則

単語中における母音の音（語幹および接辞において）は語中の並び（硬音および軟音）によって、かなりの程度、唇音化によってお互い調和します。単語の第一音節に硬音母音（**а, ы, о, у**）があるときは、それに続く音節には同じ硬音の母音がきます。同様に、単語の第一音節に軟音母音（**е, э, и, ө, ү**）があるときは、それに続く音節には軟音の母音がきます。

母音調和表

単語中の音節の母音	それに続く音節の母音	例
а, аа, аь	а, аа, ыы, ы	хадыңныг
ы, ыы, ыь	а, аа, ыы, ы	шылгадыр
э(е), ээ, эь, (еь)	е, ээ, и, ии	эртемниг
и, ии, иь	е, ээ, и, ии	чидирер
о, оо, оь	а, аа, у, уу	доңгайтыр
ө, өө, өь	е, ээ, ү, үү	чөленир
у, уу, уь	а, аа, у, уу	туманныг
ү, үү, үь	е, ээ, ү, үү	бүзүредир

ただし、例外はあります。それはおもに他の言語からの借用語や人名、地名、いくつかの複合語および母音調和をしない母音をともなう接辞（名詞の方向格）です。

例) **Белекмаа** ベレクマー；人名, **эпчок** きまりが悪い；複合語,
машина 車；ロシア語からの借用語,
одарже 放牧地へ；方向格接辞

練習問題 母音調和の法則に注意しながら単語をよみましょう。

байыр (祝日；挨拶), **төрүттүнген** (**төрүттүнер**「生まれる」の形動詞完了),
үлегер (例, 見本), **өөренир** (学ぶ), **чүве** (物), **домак** (文),
элик (ノロジカ), **көстүр** (見える), **чаштынар** (隠れる), **серээ** (フォーク),
кызыл (赤い), **буга** (種ウシ), **киштээр** (ウマが嘶く), **бүгү** (すべての),
шугланыр (覆いくるまる)

子音の有声化

名詞語幹が無声子音で終わり母音から始まる所有接辞をつけるとき、語幹最後の無声子音が、接辞をつけることによって母音に挟まれることになった場合、以下の無声子音は有声化します。外来語や借用語でも同様の変化が起きます。

п → в 例) **хеп** (服) + **им** → **хепим**
 → **хевим** (私の服)

с → з	例) ис (跡) + им → исим → изим (私の足跡)
к → г	例) шак (時計) + ым → шакым → шагым (私の時計)
т → д	例) ат (名前) + ым → атым → адым (私の名前)
ш → ж	例) күш (力) + үвүс → күшүвүс → күжүвүс (私たちの力)

動詞語幹に形動詞や副動詞の接辞、命令形の接辞がついたときも、同様に子音の有声化が起きます。

с → з	例) көргүс ^е (見せる) + -ер → көргүсер → көргүзер (形動詞現在未来) көргүс ^е (見せる) + -үп → көргүсүп → көргүзүп (副動詞 -п 形)
т → д	例) тут ^е (建てる) + -ар → тутар → тудар (形動詞現在未来) тут ^е (建てる) + -уп → тутуп → тудуп (副動詞 -п 形)
ш → ж	例) кириш ^е (参加する) + -ир → киришир → киршир → киржир (形動詞現在未来) кириш ^е (参加する) + -ип → киришип → киршип → киржип (副動詞 -п 形来)

子音の無声化

ロシア語からの借用語はロシア語の発音規則に従って語末にくる有声子音は無声化します。

例) хлеб[хлеп] パン

アクセント

トゥヴァ語の単語は最終音節にアクセントがあります。さまざまな接辞がついても同様です。

方向格接辞はアクセントをもちません。その前音節にアクセントがあります。

例) Тываже トゥヴァへ

否定接辞 **-па** とそのバリエーションを動詞につけたとき、アクセントはふつうこの否定接辞にきます。

例) кылбадым 私はしなかった

第1課 Бир дугаар кичээл

「これは～です」の表現

Бо ～ .	これは～です. これらは～です.
--------	---------------------

単語 **бо** は「これは (こちらは)」にあたります。ふつう「です」にあたる言葉は現在形にはありません。

бо は複数の人や物にも使えます。

平叙文と疑問詞の入った疑問文の文章は文末で語調を下げます。

例文

Бо башкы.	こちらは先生です.
Бо эмчи, а бо малчын.	こちらが医者で, こちらは畜産家です.
Бо демир-үжүк.	これはペンです.
Бо кыдырааш, а бо карандаш.	これはノートで, これは鉛筆です.
Бо аң.	これは獣です.
Бо ыт биле диис.	これらは犬と猫です.

否定文にするときは、名詞の後に **эвес** (～ではない) を入れます。

Бо кыдырааш эвес.	これはノートではありません.
Бо ыт эвес.	これは犬ではありません.
Бо кымыл?	こちらは誰ですか?
Бо чүл?	これは何ですか?

疑問詞 **Кым?** 「誰?」は人に対して, **Чүү?** 「何?」は人以外の物や動物に対して使います。

上記の例文では **кымыл?**, **чүл?** となっていますが, これは「誰ですか?」, 「何ですか?」というように疑問詞がそのまま述語となる時に用いられる形です (第19課参照)。

疑問詞の入った疑問文の文章は文末で語調を下げます。

疑問文

疑問詞をとまなわない「～か?」の疑問文を作るには, 文末に **бе** をつけます。肯定の「はい」は **ийе**, 否定の「いいえ」は **чок** であらわします。

例文

Бо башкы бе?	こちらは先生ですか?
--------------	------------

Ийе, бо башкы. はい, 先生です.
 Бо демир-үжүк бе? これはペンですか?
 Чок, бо демир-үжүк эвес. いいえ, ペンではありません.

練習問題 次の日本語をトゥヴァ語にしましょう.

- 1) こちらは学生です. 2) こちらは畜産家ですか? いいえ, こちらは医者です. 3) これは鉛筆ではありません. 4) これはペンではなく, 鉛筆です. 5) こちらは先生ですか? はい, 先生です.

数詞①

個数詞 1 - 10

1	бир	6	алды
2	ийи	7	чеди
3	үш	8	сес
4	дөрт	9	тос
5	беш	10	он

序数詞

個数詞を覚えたら, 序数詞もすぐにすぐにつくれます.

個数詞 + дугаар 「～番目の」

例) бир дугаар кичээл 「第1課」

беш дугаар мергежилге 「練習問題5」

疑問文は疑問詞 кашをつけてつくり каш дугаар? (何番目の?) となります.

挨拶表現

あいさつを覚えましょう.

Экии!	おはよう! こんにちは!こんばんは!
Байырлыг!	さようなら!
Ужурашкыже!	また会うまで(さようなら)!
Четтирдим.	ありがとう.
Улуу-биле четтирдим.	ありがとうございます.
Ажырбас.	(ありがとうに対して) どういたしまして.

新出単語

дугаар	～番目の	кичээл	課；授業
бо	これは；これらは	башкы	先生
эмчи	医者	малчын	畜産家，牧畜民
демир-үжүк	ペン	кыдырааш	ノート
карандаш	鉛筆	аң	獣
ыт	犬	биле	～と～
диис	猫	эвес	～ではない
кым	誰	чүү	何
бе	～か	ийе	はい
чок	いいえ	студент	学生
бир	1	ийи	2
үш	3	дөрт	4
беш	5	алды	6
чеди	7	сес	8
тос	9	он	10
мергежилге	練習問題	каш	いくつの
экии	こんにちは	байырлыг	さようなら
ужурашкыже	また会う日まで	ужуражыр(ужураш [°])	会う
четтирдим	ありがとう	четтирер(четтир [°])	感謝する
улуу-биле	とても	ажырбас	どういたしまして；どうぞ

第2課 Ийи дугаар кичээл

人称代名詞と人称指標

人 称	単 数	複 数
1 人 称	мен (私は)	бис (私たちは)
2 人 称	сен (君は)	силер (あなたは; あなたたちは)
3 人 称	ол (彼は, 彼女は, それは)	олар (彼らは, それらは)

сен は友人や家族など親しい間柄, 子供に対して使います。

силер は「君たち, あなたがた」といった複数の人々に使うほか, 1人の人に向かっても使います。そのときは年上の人や知らない人に話すなど丁寧な意味に, またフォーマルな場で言う場合の「あなたは」の意味になります。

人称代名詞は主語として用いられます。

人称代名詞はふつう述語のあとにもう一度繰り返さないといけません。それを主語となる人称代名詞と区別するため人称指標と呼んでおきます。

例文

Мен студент мен.

私は学生です。

Сен эмчи сен бе?

君は医者ですか?

Бис онаалга кылыр бис.

私たちは課題をします。

Силер ном номчуур силер бе?

あなたは本を読みますか?

ブロック体の **Мен, Сен, Бис, Силер** は人称代名詞

イタリック体の *мен, сен, бис, силер* は人称指標

3人称 **ол, олар** は人称指標として用いられません。したがって, 文末には現れません。

Ол башкы.

彼(彼女)は先生です。

Олар чоруур.

彼らは行きます。

ブロック体の **Ол, Олар** は人称代名詞, 人称指標はなし

人称指標は省略することができません。文中で人称代名詞の主語と述語の人称指標の両方が用いられているとき, 主語にある1人称と2人称の人称代名詞は省略することができます。

Мен студент мен. = Студент мен.

Силер ном номчуур силер бе? = Ном номчуур силер бе?

形容詞

形容詞は、日本語とおなじように、名詞を修飾するか述語となります。
否定文にするときには、形容詞の後に **эвес**（～ではない）を入れます。
形容詞は名詞の数や格に合わせて変化はしません。

例文

Бо эки карандаш. これは良い鉛筆です。
Бо эки эвес карандаш. これは良くない鉛筆です。
Бо демир-үжүк эки эвес. このペンは良くありません。
Бо улуг бажың бе? これは大きな家ですか？
Бо диис чараш. この猫はきれいです。
Силер чараш силер. あなたはきれいです。

選択疑問文

「～ですか、それとも…ですか？」をあらわすときには、**азы**（それとも）を使います。**азы** のあとに人称指標はくり返す必要はありません（下記例文参照）。

例文

Бо хой бе азы өшкү бе? これはヒツジですか、それともヤギですか？
Силер студент силер бе азы башкы бе?
 あなたは学生ですか、それとも先生ですか？

名詞の複数形

名詞の複数形を形成する接辞は以下の表の通りです。

語幹もしくは 語幹＝語根の 最後の音	語幹もしくは語幹＝語根の最終音節の母音	
	硬音	軟音
母音 -й, -г, -р	-лар	-лер
-л	-дар	-дер
無声子音	-тар	-тер
-м, -н, -ң	-нар	-нер

例) ховулар (ステップ), кижилер (人々), тоолдар (昔話),
херекселдер (道具), каттар (ベリー類), үнүштер (植物),
аңнар (獣), хемнер (川)

複数形に対する問いは, **кымнар?** (誰?) と **чүлөр?** (何?) であらわします。

数詞や **хөй** (たくさんの), **эвээш** (少しの) といった数量をあらわす語が名詞につく場合, ふつうその名詞に複数形の接辞をつける必要はありません。

例) **он беш киж** (15人の人々), **хөй киж** (多くの人々)

また, **-нк, -нт, -кт, -нд, -лк, -ск** のように2つの子音で終わるか, あるいは **-ч** で終わる外来語に複数形接辞をつけるときには, その接辞の前に母音 (**ы, у, и, ү**) を入れます。挿入する母音は母音調和の法則に従います。

例) **банк** (銀行) → **банкылар**, **студент** (学生) → **студентилер**

練習問題 次の名詞を複数形にしましょう。

карандаш, демир-үжүк, кичээл, кыдырааш, мергежилге, ном, бажың, эмчи, ыт, башкы, малчын, диис, өшкү, студент

エチケット表現

Өршээп көрүңерем.	すいません。ごめんなさい。許してください。
Буруулуг болдум.	ごめんなさい。私が悪いです。
Буруудатпайн көрүңерем.	ごめんなさい。
Чаа, ажырбас.	いえいえ, 大丈夫です。

新出単語

мен	私は	сен	君は
ол	彼は, 彼女は, それは	бис	私たちは
силер	あなたは; あなた方は	олар	彼らは, それらは
кылыр(кыл [°])	する, 作る	онаалга	課題
номчуур(номчу [°])	読む, 読書する	ном	本
чоруур(чору [°])	行く	эки	良い
улуг	大きい	бажың	家
чараш	美しい	азы	それとも
хой	ヒツジ	өшкү	ヤギ
хову	ステップ	кижи	人
тоол	昔話	херексел	道具
кат	ベリー類	үнүш	植物
хем	川	хөй	たくさんの
эвээш	少しの	банк	銀行
өршээр(өршээ [°])	ゆるす	көөр(көр [°])	見る; ~してください
буруулуг	罪のある	болур(бол [°])	~である
буруудадыр(буруудат [°])	罪にとわれる	чаа	はい; わかりました

第3課 Yш дугаар кичээл

所有接辞

修飾される名詞にはかならず所有接辞がつきます。所有者や所属物の人称によってつく接辞の形が変わります。

所有接辞表

数	人称	名詞語幹の最後の音	語幹の最終音節の母音			
			а, ы	э (е), и	о, у	ө, ү
単数	1人称	子音	-ЫМ	-ИМ	-УМ	-ҮМ
		母音	-М			
	2人称	子音	-ЫҢ	-ИҢ	-УҢ	-ҮҢ
		母音	-Ң			
複数	3人称	子音	-Ы	-И	-У	-Ү
		母音	-ЗЫ	-ЗИ	-ЗУ	-ЗҮ
	1人称	子音	-ЫВЫС	-ИВИС	-УВУС	-ҮВҮС
		母音	-ВЫС	-ВИС	-ВУС	-ВҮС
複数	2人称	子音	-ЫҢАР	-ИҢЕР	-УҢАР	-ҮҢЕР
		母音	-ҢАР	-ҢЕР	-ҢАР	-ҢЕР
	3人称	子音	-Ы	-И	-У	-Ү
		母音	-ЗЫ	-ЗИ	-ЗУ	-ЗҮ

上の表では名詞の単数形に所有接辞をつけた形を載せてありますが、名詞が複数形になっても同様に所有接辞をつけます。その際、複数接辞と所有接辞の順番は、

名詞 (単数形) + 複数接辞 + 所有接辞

となります。

例)

ажыл (仕事) : ажылым (私の仕事)	ажылдарым (私の仕事〈複〉)
ажылың (君の仕事)	ажылдарың (君の仕事)
ажылы (彼の仕事)	ажылдары (彼の仕事)
ажылывыс (私たちの仕事)	ажылдарывыс (私たちの仕事)
ажылыңар (あなたの仕事)	ажылдарыңар (あなたの仕事)
ажылы (彼らの仕事)	ажылдары (彼らの仕事)

чагаа (手紙) : чагаам (私の手紙)	чагааларым (私の手紙 〈複〉)
чагааң (君の手紙)	чагааларың (君の手紙)
чагаазы (彼の手紙)	чагаалары (彼の手紙)
чагаавыс (私たちの手紙)	чагааларывыс (私たちの手紙)
чагааңар (あなたの手紙)	чагааларыңар (あなたの手紙)
чагаазы (彼らの手紙)	чагаалары (彼らの手紙)

所有接辞をつけることによって子音交替や母音や子音の脱落がよく起きます。以下にその例を挙げておきます。

1) 名詞の語幹が無声子音で終わり母音から始まる所有接辞をつけるとき、語幹最後の無声子音が、接辞をつけることによって母音に挟まれることになった場合、以下の無声子音は有声化します。外来語や借用語でも同様の変化が起きます。

п → в	例) хеп (服) + им → хевим (私の服)
с → з	例) ис (跡) + им → изим (私の足跡)
к → г	例) шак (時計) + ым → шагым (私の時計)
т → д	例) ат (名前) + ым → адым (私の名前)
ш → ж	例) күш (力) + үвүс → күжүвүс (私たちの力)

2) 子音 г, к で終わる語幹に所有接辞をつけるとき、г, к が脱落します。

例) даг (山) + ы → даа (その山)
шанак (そり) + ы → шанагы // шаңаа (その橇)
шаг (時間) + ы → шаа (その時間)

ただし、1つの語幹からなる1音節の単語（長母音であろうが短母音であろうが）が к で終わる場合は、所有接辞をつけると к が г に替わるだけで г は脱落しません。

例) сөөк (骨) + үм → сөөгүм (私の骨)

ロシア語から借用された г で終わる単語は、1音節であろうが2音節以上から成っていようが、所有接辞をつけたときに г は脱落しません。また、ロシア語から借用された к で終わる単語も к が г に替わるだけで、г は脱落しません。

例) галстук (ネクタイ) + ум → галстугум (私のネクタイ)

また、-нк, -нт, -кт, -нд, -лк, -ск のように2つの子音で終わるか、あるいは -ч で終わる外来語に所有接辞をつけるときは、その接辞の前に母音 (ы, у, и, ү) を入れます。挿入する母音は母音調和の法則に従って入れます。

例) студент (学生) → студентизи

代名詞の属格

「誰だれの」というように物や人の所属，所有をあらわすときには代名詞を属格にしてあらわします。

代名詞の属格は以下の表のようになります。

主 格	属 格
мен	мээң (私の)
сен	сээң (君の)
ол	ооң (彼の, 彼女の, それの)
бис	бистиң (私たちの)
силер	силерниң (あなたの; あなたがたの)
олар	оларның (彼らの)

修飾される名詞は人称にあわせて上記「所有接辞」の項目にあるようにかわります。

例) мээң чагаам (私の手紙) силерниң чагааңар (あなたの手紙)

練習問題 次の日本語をトゥヴァ語にしましょう。

私の妻, 私の夫, 私の兄, 私の姉, 私の弟 (妹)

名詞の属格

「誰だれの」というように物や人の所属，所有，あるいは「工場の労働者」などのように他の事物や人との関係をあらわします。

修飾される名詞 (単数, 複数でも) にはかならず3人称接辞がつくことになります。

修飾する (定語となる) 名詞は, 所有接辞がついたうえで他の名詞を修飾することもあります。

名詞の属格は以下の接辞をつけて名詞を修飾します。

名詞語幹の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音			
	а, ы	э (е), и	о, у	ө, ү
無声子音	-тың	-тиң	-туң	-түң
母 音 -р, -й, -г 鼻音子音 (-м, -н, -ң)	-ның	-ниң	-нуң	-нүң
-л	-дың	-диң	-дуң	-дүң

例) даштың (石の), эштиң (友人の), чурттуң (国の), күстүң (秋の)

名詞には属格にせずに形容詞の意味をも含む名詞もあります。また属格の接

辞をつけないこともよくあります。

練習問題

次の名詞を属格にしましょう。

хем, эмчи, хол, өшкү, шөл, бүрү, хову, чер, хеме, хөл

練習問題 次の日本語をトゥヴァ語にしましょう。

私の父の名前, 私の母の名前, あなたの先生の名前, アジアの中心

名前の言い方, たずね方

名前の言い方やたずね方です。

Адыңар кымыл? あなたの名前は何とおっしゃいますか?

Адың кымыл? 君の名前は何かというの?

Мээң адым … (дээр). 私の名前は…と言います。

Мээң ачамның ады … . 私の父の名前は…です。

Мээң фамилиям … (дээр). 私の苗字は…と言います。

Таныжыңар, бо … . 紹介します, こちらは…です。

Таныжып көрүңер, бо … . 紹介します, こちらは…です。

Силер-биле таныжары кончуг өөрүнчүг-дүр.

あなたに会えてうれしいです。

家族の名称

ача	父	ава	母
ашак	夫	кадай	妻
кырган-ача	祖父	кырган-ава	祖母
акы	兄	угба	姉
дуңма	弟, 妹	эр дуңма	弟
кыс дуңма	妹	өг-бүле	家族

練習問題 上の表現と属格を使って質問してみましょう。

例) あなたのお父さん (お母さん…) の名前は何と言いますか?

お医者さんの名前は何と言いますか?

彼の名前は…です。

新出単語

ажыл	仕事	чагаа	手紙
хеп	服	ис	跡
шак	時計	ат	名前；名称
күш	力	даг	山
шанак	そり	шаг	時間
сөөк	骨	галстук	ネクタイ
даш	石	эш	友人
чурт	国	күс	秋
хол	手	шөл	野原，穀物畑
бүрү	葉	чер	大地，土地
хеме	ボート	хөл	湖
дээр(де ^е)	言う	фамилия	苗字
ача	父	таныжар(таныш ^е)	知り合いになる
кончуг	とても	өөрүнчүг	うれしい，喜ばしい
кадай	妻	ашак	夫
акы	兄	угба	姉
дуңма	弟，妹	ава	母
Азия	アジア	төп	中心
кырган-ача	祖父	кырган-ава	祖母
өг-бүле	家族	эр	男
кыс	女；若い娘		

-тыр(-тур, -тир, -түр, -дыр, -дур, -дир, -дүр) 文の内容を断定する助詞

第4課 Дөрт дугаар кичээл

所有表現「～には…がある」

「…がある，いる，存在する，…を持っています」と言いたいときは，**бар**という動詞を使います。

また，「…がない，存在しない，…を持っていません」と言いたいときは，**чок**を使います。

例文

Айтырыг бар.	質問があります。
Айтырыг чок.	質問はありません。
Айтырыг бар бе?	質問はありますか？
Санал бар.	意見があります。
Өөредилге ному бар.	教科書を持っています。
Чайым чок.	私は時間がありません
Акша чок.	お金がありません。

注) акша は[ашка]と発音します。

位格

物や人が所属する人「～（誰々には）」，物や人が所属する物や場所「～（どこどこ）には」をあらわすには位格を使います。

1) 人称代名詞の位格

主 格	Мен	сен	ол	бис	силер	олар
位 格	Менде	сенде	ында	бисте	силерде	оларда

例文

Менде өөредилге ному бар.	私は教科書を持っています。
Силерде шак бар бе?	あなたは時計を持っていますか？
Менде өөредилге ному чок.	私は教科書を持っていません。

練習問題 日本語をトゥヴァ語にしましょう。

1) 私には兄がいます。 2) あなたは妹がいますか？ 3) 君は鉛筆を持っていますか？ 4) 私にはたくさんのお金がある。 5) 私たちは2匹犬がいます。

位格で所有者を明示したとき，名詞には所有接辞をつける必要はありません。下記2文を比較してください。

Менде акым ы бар.	私には兄がいる。
Мээң акым ы бар.	私には兄がいる。

2) 名詞の位格

名詞に以下の接辞をつけてつくります。

名詞語幹の 最後の音	語幹の最終音節の母音	
	硬音	軟音
無声子音	-та	-те
有声子音 母音	-да	-де

例) **класста** (クラスで), **сөстө** (語中に), **шөлде** (野原で)

名詞が複数形の場合は複数形の後に格接辞をつけます。また、所有接辞があるときは、所有接辞の後に格接辞が入ります。したがって、複数接辞、所有接辞、格接辞の順番をあらわすと以下のようになります。

名詞 (単数形)	+	複数接辞	+	格接辞		
名詞 (単数形)	+	複数接辞	+	所有接辞	+	格接辞

疑問形は、**кымда?** (誰のところに, 誰に), **кымнарда?** (誰らのところに, 誰らに), **кайда?** (どこに) を使います。また、「…はどこですか?」というように「どこ」が述語となるときは **кайдал?** を用います。

例文

Класста өөреникчилер бар. クラスに生徒たちがいます。
Силерниң машинаңар кайдал? あなたの車はどこですか?
Шөлдеривисте дуруяалар бар. 私たちの穀物畑に鶴がいる。
 3人称所有接辞の後に格接辞がつくときは、あいだに **-н-** がはいらいます。
Оларның бажыңында гараж бар. 彼らの家には車庫があります。

練習問題 次の日本語をトゥヴァ語にしましょう。

1) 私の家にきれいな絵があります。2) オンダル (Ондар) は会話集を持っていません。3) トゥヴァにはラクダがいます。4) 私たちの国には湖や川があります。5) 君の車はガレージ (のなかに) ありますか? 6) オンダルのお父さんはパソコンを持っていません。

動詞 **бар** (ある) を使うと、その物がそこにあるのかないのかを訊ねます。下記2文を比較してください。

Машинаңар гаражта бар бе?

あなたの車はガレージにあるのですか?

Машинаңар гаражта бе?

あなたの車は (路上などではなくて) ガレージのなかにおいてあるのですか?

表現 トウヴァ語で何といますか？

Мону тывалап чүү дээрил? これをトウヴァ語で何といますか？

Мону орустап чүү дээрил? これをロシア語で何といますか？

Мону японнап чүү дээрил? これを日本語で何といますか？

Мону тывалап ... дээр. これをトウヴァ語で... といます。

«Словарь» деп сөстү тывалап чүү дээрил?

「словарь (辞書)」という単語をトウヴァ語で何といますか？

Ону тывалап база «словарь» дээр.それをトウバ語でも「словарь」といいます。

新出単語

айтырыг	質問	бар	ある, いる
санал	意見	өөредилге	教育, 勉強
өөредилге ному	教科書	чай	自由な時間, 暇な時間
акша [ашка]	お金	класс	クラス, 教室; 学年
сөс	単語	кайда	どこに, どこで
өөреникчи	生徒	машина	車
дуруяа	鶴	гараж	車庫, ガレージ
чурук	絵; 写真	чугаа	会話, 話
чугаа ному	会話集	теве	ラクダ
компьютер	パソコン	мону	бо の対格
тывалап	トウヴァ語で	орустап	ロシア語で
японнап	日本語で	словарь	辞書
ону	ол の対格	база	～も

第5課 Беш дугаар кичээл

未来形

未来形は「(今から, 未来において) ~します」をあらわします. また, この未来形であらわされた行為あるいは状況が日常的なことであること「(いつも) ~します」をあらわします.

未来形のあとには必ず人称指標をつけます (3人称ではつけません).

未来形は動詞の語幹に以下の接辞をつけて作ります.

動詞語幹 の最後の音	動 詞 の 最 終 音 節 の 母 音			
	а, ы	э(е), и	о, у	ө, ү
子 音	-ар, -ыр	-ер (-эр), -ир	-ар, -ур	-ер (-эр), -үр
-а, -е (-э)	-ар	-ер (-эр)	-ар	-ер (-эр)
-ы, -и, -у, -ү	-ыр	-ир	-ур	-үр

例)	動詞の語幹	未来形
	номчу [°] (読む)	номчуур
	бижи [°] (書く)	бижиир
	кыл [°] (する)	кылыр
	көр [°] (見る)	көөр

発音上の補足

- ・母音 **е** が二つ並ぶと長母音になり, **ээ** と書きます.
例) эгеле[°] (始める) + ер → эгелеер → эгелээр
- ・動詞語幹の最後の無声子音に未来形接辞をつけたとき, その無声子音は有声子音に変わることがあります.
例) иш[°] (飲む) + ер → ишер → ижер
- ・子音 **г** は母音に挟まれるときに脱落します.
例) чуг[°] (洗う) + ур → чугур → чуур
- ・-л と -р で終わる動詞語幹に現在未来形の接辞がつくと, -л や -р が脱落し, 一つの長母音になることがあります.
例) көр[°] + ер → көрер → көер → көөр

新出単語で動詞を挙げるときは, この未来形を載せることにします (トゥヴァ語の動詞には原形と呼ばれる形はなく, トゥヴァ語の辞書では動詞の見出し語はこの未来形が載っています). そして, その後カッコのなかに動詞語幹を書くことにします.

例) номчуур(номчу^у) 読む, 読書する

練習問題 次の動詞の未来形から語幹を探しましょう。

манаар (待つ), чиир (食べる), ижер (飲む)

例文

Мен чагаа бижиир мен.	私は手紙を書きます。
Ном номчуур бис.	私たちは本を読みます。
Кежээ мен чем кылыр мен.	夕方, 私はご飯を作ります。
Телевизор көөр мен, ооң соонда музыка дыңнаар мен.	
私はテレビを見て, そのあとに音楽を聴きます。	
Олар тыва дыл өөренир.	彼らはトゥヴァ語を勉強します。
Маңаа манаар бис.	私はここで待ちます。
Даарта чүнү кылыр силер?	あしたあなたは何をしますか?
Силер тывалаар силер бе?	トゥヴァ語を話しますか?

この未来形は2人称を使うと, お願いや命令をあらわすことができます。

Бөгүн келир сен.	今日, 来て。
Тывалап ырлаар сен.	トゥヴァ語で歌を歌って。
Мен чем кылыр мен, а силер сава чуур силер.	
私がご飯を作るから, あなたは食器を洗ってください。	

未来形の否定形

未来形を否定するときは, 動詞語幹に以下の接辞をつけます。

動詞語幹の 最後の音	語幹の最終音節の母音	
	硬音	軟音
無声子音	-пас	-пес
母音	-вас	-вес
-й, -г, -л, -р	-бас	-бес
-м, -н, -ң	-мас	-мес

例) ажылдавас (働かない), келбес (来ない)

例文

Бөгүн Айдың келбес.	きょうアイドゥンは来ません。
Кежээ мен чем кылбас мен.	夜, 私はご飯を作りません。

練習問題 動詞未来形を否定形にしましょう。

номчуур, чиир, ижер, өөренир, манаар, чуур, бижиир, билир

対格

「～を」というように直接目的語をつけるときは、代名詞、名詞を対格にします。

1) 人称代名詞の対格

主 格	мен	сен	ол	бис	силер	олар
対 格	мени	сени	ону	бисти	силерни	оларны

2) 名詞の対格

名詞の対格の作り方は以下のようになります。複数形、所有接辞がついても同様に格接辞をつけますが、接辞の順番は位格のところでも述べたとおりです。

名詞語幹の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音			
	а, ы	э (е), и	о, у	ө, ү
無声子音	-ты	-ти	-ту	-тү
母 音 有声子音	-ны	-ни	-ну	-нү
-л	-ды	-ди	-ду	-дү

例) кышты (冬を), черни (大地を), ажылды (仕事を), бажыңарны, хептерни (いくつかの服を)

疑問形は, кымны? (誰を?), кымнарны? (誰を? ; 複数形), чүнү? (何を?), чүлерни? (何を? ; 複数形) です。

練習問題 次の名詞を対格 (単数, 複数) にしましょう。その後所有接辞をつけて対格にしてみましよう。

башкы, бүрү, демир-үжүк, кичээл, өөреникчи, тоол, шөл, ыт

例文

Эртен кежээ мен сени чалаар мен.

あしたの夜, 私はあなたを招待します。

Бөгүн кежээ мен кичээл кылыр мен.

きょうの夜に私は予習します。

Кежээ соок болур, ынчангаш мен чылыг хептерни алыр мен.

夜寒くなるだろうから, 暖かい服を持っていきます。

Сээң номуңну номчуур мен. 君の本を読みます。

3人称所有接辞の後に対格接辞がつくときは、その後に -н だけをつけます。
Монгуштуң хевин кедер сен. モングシュの服を着なさい。

対格接辞はつかないこともあります。

練習問題

- 1) 明日私は先生がたを招待します。 2) 私はあなたの服を着ます。 3) あなたはペンを持っていきます。 4) 明日私たちは (学校で) 学びません。 5) 明日の夜私の妻は手紙を書きます。 6) 今日私たちの先生は来ません。 7) 私たちは肉を食べません。 8) 私の猫はたくさん牛乳を飲みます。

命令形①

動詞を語幹だけにすると2人称単数の命令形になります。その場合、親しい間柄で使う **сен** に対応します。複数形あるいは丁寧な形にする (**силер** に対応する) には、さらに -нар (とその発音上のバリエーション) をつけます。

-нар (とその発音上のバリエーション) のつけ方

動詞語幹の最後の音	語幹の最終音節の母音			
	а, ы	э (е), и	о, у	ө, ү
母音	-нар	-ңер	-нар	-ңер
子音	-ыңар	-иңер	-уңар	-үңер

例) бижи (書きなさい), бижиңер (書いてください), кыл (しなさい), кылыңар (してください)

動詞語幹の最後の無声子音が -нар をつけることによって母音に挟まれることになるときには、以下の無声子音は有声化します。

п → в, с → з, к → г, т → д, ш → ж

例文

Ижиңер. 飲んでください。

否定形にするには、動詞語幹に否定接辞 -па (とそのバリエーション) をつけます。複数形あるいは丁寧な形にする (**силер** に対応する) には、さらに -нар (とその発音上のバリエーション) をつけます。

動詞語幹の 最後の音	語 幹 の 母 音	
	硬 音	軟 音
無 声 子 音	-па	-пе
母 音	-ва	-ве
-й, -г, -л, -р	-ба	-бе
м, -н, -ң	-ма	-ме

例文

Ишпе. 飲まないで.

Биживеңер. 書かないでください.

練習問題 この課にでてきた動詞を命令形にしましょう.

新出単語

бижиир(бижи [°])	書く	эгелээр(эгеле [°])	始める
ижер(иш [°])	飲む	чуур(чуг [°])	洗う
көргүзер(көргүс [°])	見せる	манаар(мана [°])	待つ
чиир(чи [°])	食べる	кежээ	夕方に, 晩に
чем	食事, ご飯, 食べ物	өөренир(өөрөн [°])	学ぶ
телевизор	テレビ	ооң соонда	そのあとで
музыка	音楽	дыңнаар(дыңна [°])	聴く, 聞く
тыва	トゥヴァの	дыл	言語, ~語
маңаа	ここで	даарта	明日
чүнү	何を (чүү の対格)	тывалаар (тывала [°])	トゥヴァ語を
бөгүн	今日		話す
келир(кел [°])	来る	ырлаар(ырла [°])	歌う
сава	食器	ажылдаар(ажилда [°])	働く
билир(бил [°])	知っている	кыш	冬
эрген	明日	чалаар(чала [°])	招待する, 招く
соок	寒い	ынчангаш	だから
чылыг	暖かい	алыр(ал [°])	持っていく, 取る
кедер(кет [°])	着る		借りる
эът	肉	сүт	牛乳

第6課 Алды дугаар кичээл

現在形

現在形「～しています」をあらわすには以下の形をとります。

動詞の副動詞 -п 形	тур, олур, 助動詞 чыдыр (чыдар), чор	人称指標
-------------	---	------

助動詞の使い分けは動詞本来の意味 тур (立って～する), олур (座って～する), чыдыр (横になって～する), чор (歩きながら～する, 移動しながら～する) に従います。一般的なことや法則, 事実など「立って, 座って」するか関係がないときは, ふつう тур が用いられます。

副動詞 -п 形は, 接辞 -п (とその発音上のバリエーション) を動詞語幹につけてつくります。

日本語の「～して」に当たると考えてよいです。

助動詞の後には人称指標をつけます (3人称ではつけません)。

場所をあらわすときは位格を用います。

副動詞 -п 形の接辞表

動詞語幹の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音			
	а, ы	э (е), и	о, у	ө, ү
子 音	-ып	-ип	-уп	-үп
母 音	-п			

例) кылып, манап, бижип, кедип

練習問題 次の動詞を副動詞 -п 形にしましょう。

кылыр, ажылдаар, чалаар, өөренир, дыңнаар, эгелээр, көөр, чуур

例文

Чүнү кылып тур силер? あなたは何をしていますか?

Мен ам ном номчуп тур мен. 私は今本を読んでいます。

Хөмейжилер театрда хөмейлеп тур.

ホーム歌手たちが劇場でホームを歌っている。

助動詞が動詞本来の意味で使われるときは, 副動詞 -п 形にする必要はなく, ただ助動詞の形で使えばよいです。

Ачам бажыңның чанында тур. 私の父は今家のそばで立っている。

現在形の否定形

現在形を否定するには、副動詞 **-п** 形を副動詞 **-пайн** 形に置き換えます。

副動詞 **-пайн** 形の接辞

動詞語幹の 最後の音	語幹の最終音節の母音	
	硬音	軟音
無声子音	-пайн	-пейн
母音	-вайн	-вейн
-р, -й, -г, -л	-байн	-бейн
-м, -н, -ң	-майн	-мейн

例) ишпейн, тутпайн, ажылдавайн, биживейн,

例文

Чодураа ам өрээлинде музыканы дыңнавайн олур.

チョドゥラーは今部屋で音楽を聴いていません。

練習問題 次の動詞を副動詞 **-пайн** 形にしましょう。

көөр, чиир, кылыр, көргүзер, ырлаар, номчуур

練習問題 次の日本語をトゥヴァ語にしましょう。

1) 今わたしは部屋で手紙を書いています。 2) 私はトナカイの乳を飲んで
います。 3) 私たちは大学の教室でトゥヴァ語を勉強しています。 4) あなた
はどこにいますか？私は町の中心にいます。 5) 私は今テレビを見ていま
せん。 6) 今私たちは仕事をしていません。 7) 私の父は食器を洗っていま
す。 8) あなたのお母さんは家で今何をしていますか？ 9) 私の母はご飯を作
っています。 10) チェチェックマー(Чечекмаа)の姉は(寝ころんで)本を読ん
でいます。

許可・禁止をあらわす表現

許可をあらわすときには、副動詞 **-п** 形の後に助動詞 **болур**(～してもよい)、
禁止をあらわすときには、**болбас**(～してはいけません)をつけます。

例文

Кирип болур бе? なかに入ってもいいですか？

Маңаа таакпылап болбас. ここでタバコを吸ってはいけません。

練習問題

1) 座ってもいいですか？はい、いいです。 2) (部屋から) 出てもいいで
すか？いいえ、出てはいけません。 3) トゥヴァ語で話してもいいですか？

4) この教科書借りてもいいですか? 5) あなたの写真を見てもいいですか?

新出単語

турар(тур ^ᠰ)	立っている	олурар(олур ^ᠰ)	座る, 座っている
чыдыр(чыт ^ᠰ)	横になる	чыдар(чыт ^ᠰ)	横になる
хөөмейжи	ホーメイ歌手	театр	劇場
хөөмейлээр(хөөмейле ^ᠰ)	ホーメイ を歌う	чанында	～のそばで
тудар(тут ^ᠰ)	建てる	ам	今
өрээл	部屋	иви	トナカイ
университет	大学	аудитория	(大学の) 教室
хоорай	市, 町	болур	～してもよい
болбас	～してはいけない	кирер(кир ^ᠰ)	中に入る
таакпылаар(таакпыла ^ᠰ)	たばこを 吸う	үнер(үн ^ᠰ)	外に出る
		фото-чурук	写真

第7課 Чеди дугаар кичээл

現在未来形

現在未来形はいつも行われる恒常的な行為「～しています, ～します」をあらわします。また, 一般的な法則をあらわすことにも使われます。

つくり方は以下のようになります。

動詞の副動詞 -п 形	+	助動詞 турар, олулар, чыдыр (чыдар), чоруур	+	人称指標
-------------	---	---	---	------

現在形と異なる点は, 助動詞が現在未来形になっていることです。

助動詞の使い分けも現在形に準じます。

場所をあらわすときは位格を用います。

例文

Чер хүннү дескинип турар. 地球は太陽のまわりを回っている。

Мен Японияда чурттап турар мен. 私は日本に住んでいます。

現在未来形の否定形

現在未来形の否定形は, 現在形と同様に, 副動詞 -п 形を副動詞 -пайн 形にしてあらわします。

例文

Бис ажилдавайн турар бис. 私たちは働いていません。

練習問題 次の日本語をトゥヴァ語にしましょう。

1) 私たちはトゥヴァに住んでいます。 2) 私たちの姉は図書館で働いています。 3) エレス(Эрес)は3年生で成績よく勉強しています。 4) あなたはクズル市(Кызыл)に住んでいますか? 5) 私たちの町のそばに大きな川が流れています。 6) 私はレーニン(Ленин)通りに住んでいます。

職業「～として働いています」

職業の言い方を覚えましょう。

Мен диш эмчизи мен. 私は歯医者です。

Кым бооп ажилдап турар силер?

どんな職業としてあなたは働いていますか?

Мен ыраажы бооп ажилдап турар мен. 私は歌手として働いています。

Мен фирмада ажылдап турар мен.

私は会社で働いています.

練習問題 下の語句を参考にして自分や家族の職業を言ってみましょう.

職業			
студент	学生	аспирант	大学院生
кадарчы	牧民	тараачын	農民
башкы	教師	эртемден	研究者
фирма ажылдакчызы	会社員	эмчи	医者
шагдаа	警察官	очулдурукчу	通訳, 翻訳家
чурукчу	画家	чолаачы	運転手
журналист	記者	тудугжу	建設労働者
фирма	会社	албан чери	役所
садыг	お店	почта	郵便局
эмнелге	病院	школа	学校
ресторан	レストラン	завод	工場

読み物

Заводта күчүлүг машиналарны кылып турар. Фабрикаларда янзы-бүрү хеп аймаан даарап турар. Бистиң кедип турар хептеривисти база-ла фабрикаларда даарап турар.

Эргил-оол И.Ч. *Тыва дыл 2*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1992 ар. 52

Арга-арыгларда улуг шокар торга чурттап турар. Торганы арга-арыг эмчизи деп адап турар. Ол аарыг ыяштарны эмнеп турар. Чөвүрээ адаандан хоралыг курттарны чок кылып турар.

Эргил-оол И.Ч. *Тыва дыл 2*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1992 ар. 76

新出単語

Чер	地球	хүн	太陽
дескинер(дескин ^е)	回る	Япония	日本
чурттаар(чуртта ^е)	住む, 暮らす	Тыва	トゥヴァ
библиотека	図書館	Кызыл	クズル
агар(ак ^е)	流れる	кудумчу	通り

диш	齒
фирма	会社
кадарчы	牧民
эртөмдөн	研究者
ажылдакчы	勤勞者
очулдурукчу	通訳, 翻訳家
чолаачы	運転手
тудугжу	建設労働者
садыг	お店
эмнелге	病院
ресторан	レストラン
күчүлүг	強い, 強力な
янзы-бүрү	様々な
даараар(даара [°])	縫う
ном үндүрер чер	出版社
арга-арыг	森
торга	キツツキ
адаар(ада [°])	名づける ; 発音する
ыяш	木
чөвүрээ	木の皮, 樹皮
хоралыг	害をなす
курт	虫

ыраажы	歌手
аспирант	大学院生
тараачын	農民
фирма ажылдакчызы	会社員
шагдаа	警察官
чурукчу	画家
журналист	記者
албан чери	役所
почта	郵便局
школа	学校
завод	工場 (重工業)
фабрика	工場 (軽工業)
аймак	種類, 類
үндүрер(үндүр [°])	出版する
арын	ページ ; 顔
шокар	まだらの, ぶちの
деп	〜と (いう)
аарыг	病気の ; 病気
эмнээр(эмне [°])	治す
адаандан	〜の下から
чок кылыр	根絶する

第8課 Сес дугаар кичээл

与格

1) 人称代名詞の与格

主 格	мен	сен	ол	бис	силер	олар
与 格	меңээ	сеңээ	аңаа	биске	силерге	оларга

例文

Мен сеңээ номумну бээр мен.

私は君に自分の本をあげます。

Эртен Шолбан биске фото-чуруктарын көргүзөр.

あしたショルバンは私たちに写真を見せます。

練習問題

1) 夕方私はあなたにノートを二冊あげます。 2) オユマー(Оюмаа)は彼に手紙を書いています。 3) 今日先生は私に電話します。

2) 名詞の与格

行為が向けられる対象(人もしくは物), 「～に」をあらわすときには名詞は与格になります。複数形, 所有接辞がついても同様です。その際, 3人称所有接辞の後に与格接辞がつくときは, あいだに **-н-** がはいます。

疑問形は, **кымга?** (誰に), **кымнарга?** (誰らに), **чүгө?** (何に), **чүлөргө?** (何に; 複数形) となります。

与格接辞表

名詞語幹の 最後の音	語幹の最終音節の母音	
	硬 音	軟 音
無 声 子 音	-ка	-ке
有 声 子 音 母 音	-га	-ге

例) **ашакка** (夫に), **эшке** (友人に), **улустарга** (人々に), **эмчиге** (医者に)

与格接辞 **-га** は母音で終わる名詞につくと, 接辞中の **г** は2つの母音に挟まれることになり脱落し, 1つの長母音, すなわち硬音なら **аа**, 軟音なら **ээ** になることがよく起きます。

例) **хову + га → ховуга → ховуа → ховаа // ховуга**

(ステップに)

кижи + ге → кижиге → кижие → кижээ // кижиге (人に)

練習問題 次の単語を与格（単数，複数）にしましょう。

угба, өшкү, диис, ашак, өөреникчи, студент

私の姉に，彼のヤギに，私たちの生徒（たち）に，彼の母に，
タクシーの運転手に，トゥヴァのホーメイ歌手（たち）に

例文

Кырган-ававыс ам культура бажыңында улустарга тоолдап ор.

私たちのおばあちゃんは，今公民館で昔話を話しています。

Ай-кыс авазыңга дузалаар.

アイ＝クスはお母さんを手伝います。

練習問題

1) 子供たちが先生に花を手渡している。 2) 私はお祖父さんに手紙を書いています。 3) 誰に話しているのですか？ 4) あなたのお母さんにこの手紙を渡してください。 5) きょう子供たちがお母さんにご飯を作ります。

過去形①

発話時点との関係において，行為が少し前に行われた，あるいは行われなかったことをあらわすときに使います。したがって，近過去とも言われることもあります。その際，行為が実際に行われた，あるいは行われなかったことを強調しています。

しかも，話者がその行為の当事者であったり，自分で目撃したり観察した行為，あるいはその行為の目撃者であるかのように話者にとって頭に想像できるような，とても明白な行為をあらわします。それは，出来事が遠い過去のことであっても，今日の前にその情景が鮮明に浮かぶというような思い出を語る時にも用いられます。

以下の接辞を動詞語幹につけることによってあらわします。

動詞語幹の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音			
	а, ы	э (е), и	о, у	ө, ү
無声子音	-ты	-ти	-ту	-тү
有声子音 母 音	-ды	-ди	-ду	-дү

例) хынады, күүсетти, ушту, хонду, үндү

文章にする時には主語の人称に合わせて過去接辞の後に人称接辞をつけます。
人称接辞表

数	人 称	過 去 接 辞 の 母 音			
		ы	и	у	ү
単	1	-м			
	2	-ң			
数	3	ゼロ語尾 φ			
複	1	-выс	-вис	-вус	-вүс
	2	-ңар	-ңер	-ңар	-ңер
数	3	ゼロ語尾 φ +[лар]	ゼロ語尾 φ +[лер]	ゼロ語尾 φ +[лар]	ゼロ語尾 φ +[лер]

例) хынадым, күүсеттиң, уштувус, хонду, үндүңер

練習問題 以下の動詞を人称に合わせて過去形にしましょう。

	номчуур	бижиир	чуур	үнер	алыр	четтирер
мен						
ссен						/
ол						/
бис						
силер						/
олар						/

否定形は、「～した」というときには動詞語幹に否定接辞 **-па** (とそのバリエーション) をつけたうえで、母音調和の法則にしたがって過去接辞, そして人称接辞をつけます。

動詞語幹 + 否定接辞 **-па** + 過去接辞 + 人称接辞

否定形では否定接辞 **-па** (とそのバリエーション) にアクセントがきます。

動詞語幹の 最後の音	語 幹 の 母 音	
	硬 音	軟 音
無 声 子 音	-па	-пе
母 音	-ва	-ве
-й, -г, -л, -р	-ба	-бе
м, -н, -ң	-ма	-ме

練習問題 以下の動詞を人称に合わせて否定の過去形にしましょう。

	тудар	олулар	көргүзөр	эгелээр	кылыр	алыр
мен						
сен						
ол						
бис						
силер						
олар						

現在形「～している」の助動詞の語幹 тур[＝]、олур[＝]、чыт[＝]、чор[＝] に過去形接辞をつけることによって「～していた」をあらわすことができます。

「～していた」を否定するには、副動詞 -п 形を副動詞 -пайн 形にかえます。

過去形と未来形（第5課）では場所をあらわすときには与格にします。

例文

Мен сүттүг шай иштим. 私は乳茶を飲んだ。
 Чем соонда бис сава чугдувус. 食事の後で私たちは食器を洗った。
 Уруглар өрээлге чуруп олурду. 子どもたちは部屋で絵を描いていた。
 Бис эжим Доржу-биле бызаа кадарып турдувус.
 私は友だちのドルジュと子ウシの放牧をしていた。
 Мен хол-майгынымны албадым. 私は傘を持っていかなかった。
 Оюн ном номчувайн турду. Оюнは本を読んでいなかった。

練習問題 次の日本語を過去形にしましょう。

- 1) 父はお金をくれなかった。
- 2) 先生は練習問題をチェックした。
- 3) 私たちは音楽学校で学んでいました。
- 4) メルゲン(Мерген)は母の手伝いをした。
- 5) 私は集会でスピーチをした。
- 6) あなたは何をしていたのですか？
- 7) 私は音楽を聴いていました。

読み物

Эргим авай!

Байырлал таварыштыр байыр чедирип олур мен. Сеңээ эки кадыкшылды, улуг өөрүшкүнү болгаш аас-кежикти күзедим!

Сээң оглуң Эрес

Эргил-оол И.Ч. *Тыва дыл 2* , Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1992 ар. 75

新出単語

бээр(бер [°])	あげる, くれる	долгаар(долга [°])	電話する
улус	人々	такси	タクシー
культура бажыны	文化会館	тоолдаар(тоолда [°])	昔話を語る
дузалаар(дузала [°])	手伝う	уруг	子供
чечек	花	тутсур(тудус [°])	手渡す
дамчыдар(дамчыт [°])	渡す	хынаар(хына [°])	チェックする
күүседир(күүсет [°])	実行する	ужар(уш [°])	飛ぶ
хонар(хон [°])	泊まる	сүттүг	乳の入った
шай	茶	соонда	～の後に
чуруур(чуру [°])	描く	-биле	～と (いっしょに)
бызаа	子ウシ	кадарар(кадар [°])	放牧する
хол-майгыны	傘	хурал	集会, 会議
чүве чугаалаар	スピーチをする	чүве	物, 物体
эргим	大切な	байырлал	祝日
таварыштыр	〈対〉～に関して	байыр	挨拶; 祝日
чедирер(чедир [°])	連れていく	байыр чедирер	よろしくと伝える
кадыкшыл	健康	өөрүшкү	喜び
болгаш	～と～	аас-кежик	幸福, 幸せ
күзээр(күзе [°])	祈る		

第9課 Тос дугаар кичээл

奪格

行為の出発点（～から）や出身，何か物の出所をあらわすには名詞，代名詞を奪格にします。

疑問詞は，**кымдан?**（誰から？），**кымнардан?**（誰らから？；複数形），**чүден?**（何から？），**чүлерден?**（何から？；複数形），**кайыын?**（どこから？）を使います。

1) 人称代名詞の奪格

主格	мен	сен	ол	Бис	силер	олар
奪格	менден	сенден	оон	бистен	силерден	олардан

例文

Мен сенден чагаа алдым. 私は君から手紙をもらった。

Кымдан чагаа алдың? 誰から手紙をもらったの？

2) 名詞の奪格

名詞語幹の 最後の音	語幹の最終音節の母音	
	硬音	軟音
無声子音	-тан	-тен
有声子音 母音	-дан	-ден

例) **класстан**（クラスから），**пөштен**（エゾマツから），

ховудан（ステップから），**хемден**（川から）

複数形，所有接辞がついても同様です。その際，3人称所有接辞の後に奪格接辞がつくときは，あいだに **-н-** がはいます。

この接辞にはアクセントはきません。

練習問題 次の単語（単数，複数）を奪格にしましょう。

садыг, ашак, арга, хөл, гараж, чурт, эмчи, хүн

私の家から，大きな通りから，東京(Токио)から，あなたの父から，ヤギの乳から，**Саяна**(Саяна)の兄から

例文

Силер кайыын келдиңер? どこから来ましたか？

Мен Тывадан келдим. 私はトゥヴァから来ました。

Саяна Эрзинден келди. Саянаはエルジンから来ました。

Төлээлэр Москвадан самолёт-биле келди.

代表団がモスクワから飛行機で来ました。

練習問題 みんなにどこから，なにで来たかたずねてみましょう。

	-биле	～（交通機関）で	
	Чүнүң-биле?	何で？	
самолёт	飛行機	демир-орук	鉄道
поезд	列車	дүрген чоруур поезд	特急
электричка	電車	автобус	バス
машина	車	такси	タクシー
корабль	船	чадаг-терге	自転車
Тыва	トゥヴァ	Россия	ロシア
Япония	日本	Кыдат	中国
Моол	モンゴル		

命令形②

1) 目的語が奪格になる場合

動詞の命令形において目的語が奪格になる場合がよくあります。それは主に対象（目的語）が具体的ではないとき，あるいは行為が物の一部（部分，ある量）にしか及ばないときです。具体的なときは対格がよく用いられます。

例文

Шайдан кут.	お茶をいれて。
Сүттен иш.	牛乳を飲みなさい。
Хлебтен бер.	パンを〔何切れか〕ちょうだい。

練習問題 目的語が奪格と対格になる場合を考えながら，トゥヴァ語にしましょう。

1) 牛乳を入れてください。2) サラダを食べなさい。3) (何か) 本を貸して。4) あなたが読んでいる本を見せて。5) あなたの父の名前を書いてください。6) 単語を使って (何か) 話を作ってください。7) 花をください。

2) 命令形の丁寧形

命令形には丁寧形があります。副動詞 **-п** 形の後に助動詞 **көөр(көр^е)** (～してください) を命令形にしてつけます。

例文

Бо домактарны номчуп көрүңер. この文章を読んでください。

練習問題 命令形の丁寧形を使って命令文をつくりましょう。

1) あなたの住所を書いてください。2) お茶を入れてください。3) あなたのノートを見せてください。4) 練習問題をチェックしてください。5) 考えてください。6) ホーメイを歌ってください。7) 中に入ってください。

数詞②

20	чээрби	70	чеден
30	үжен	80	сезен
40	дөртөн	90	тозан
50	бежен	100	чүс
60	алдан	1000	муң

11 や 25, 56 などの個数詞は十の位の個数詞と一の位の個数詞とを組み合わせることでつくります。同様に、200 や 4000 などの個数詞も数詞を組み合わせてつくります。

例) он бир (11), чээрби беш (25), бежен алды (56),
ийи чүс (200), сес чүс алдан үш (863), дөрт муң (4000),
бир муң тос чүс тозан сес (1998)

練習問題 次の数字をトゥヴァ語で言いましょう。

1) 26 2) 36 3) 41 4) 267 5) 894 6) 1968
7) 2008 8) 5715

時刻の表現

1) 時刻のあらわし方

・時間のたずね方

Каш шак-тыр? 何時ですか?

時刻の言い方

時刻は、**шак** (～時) **минут** (～分) を使います。

例文

ийи шак чээрби беш минут. 2時25分
Ам чеди шак-тыр. 今, 7時です.

- ・ ~時半の言い方

чартык (半分, 30分) を使います.

例文

бир шак чартык 1時半

- ・ ~時分前 (直訳: ~時に~分達していない)

個数詞 шакка (与格; ~に) 個数詞 минут четпес.

個数詞 шакка 個数詞 минут четпейн тур.

例文

Ийи шакка беш минут четпес(четпейн тур). 2時5分前です.

- ・ もうすぐ~時です (直訳: まだ~時に達していません).

個数詞 шак четпейн тур.

例文

Ийи шак четпейн тур. もうすぐ2時です.

- ・ ~時~分過ぎ (直訳: ~時から~分過ぎている)

個数詞 шактан (奪格; ~から) 個数詞 минут ажып тур.

例文

Ам он бир шактан он минут ажып тур. 今, 11時10分過ぎです.

- ・ ~時過ぎです.

個数詞 шак ажып тур.

例文

Ийи шак ажып тур. 2時過ぎです.

2) 「何時何分に」のあらわし方

「~に」にするには位格を使います.

例文

он ийи шакта	12時に
сес шак дөртен беш минутта	8時45分に
тос шак чартыкта	9時半に
ийи шакка беш минут четпес(четпейн) турда	2時5分前に
эртенгиниң чеди шакта	午前7時に

練習問題 下の語句を参考にしながら、何時に何をしているか1日の行(未来形や現在未来形で)を書いてみましょう。

турар	起きる	чуур	洗う
үнер	(家を) 出る	чоруур	行く
ажылдаар	働く	кичээл кылыр	勉強する
чанып кээр	帰って来る	чунар	お風呂に入る
удуп чыдар	就寝する		
эртенги чем	朝食	дүштеки чем	昼食
кежээки чем	夕食		
үргүлчү	いつも	чамдыкта	ときどき
хүннүң-не	毎日		
эртенгиниң	午前の, 午前	дүштекиниң	午後の, 午後
кэжээкиниң	夕方の	дүнекиниң	夜中の

読み物

Пингвин деп чүлерил ол? Пингвиннер – ол дээрге куштар-дыр. Пингвиннер онзагай куштар. Олар ушпас. Пингвиннер сугга кончуг эки эштир. Чемни сугдан тып чиир. Хонуктуң хөй кезиин черге эрттирер.

Эргил-оол И.Ч. *Тыва дыл 2*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1992 ар. 13

新出単語

кайыын	どこから	пөш	エゾマツ
арга	森	Эрзин	エルジン (トゥヴァ南部の町)
төлээ	代表	Москва	モスクワ
самолёт	飛行機	демир-орук	鉄道
поезд	列車	дүрген	速い
дүрген чоруур поезд	特急	электричка	電車
автобус	バス	корабль	船
чадаг-терге	自転車	Россия	ロシア
Кыдат	中国	Моол	モンゴル
кудар(кут [°])	注ぐ	хлеб	パン
салат	サラダ	ажыглаар(ажыгла [°])	使う, 用いる
домак	文, 文章	чогаадыр(кучогаат [°])	作文する
чээрби	2 0	үжен	3 0
дөрген	4 0	бежен	5 0

алдан	60	чеден	70
сезен	80	тозан	90
чүс	100	муң	1000
шак	時	минут	分
чартык	半分, 30分	чедер(чет [°])	達する, 到達する
ажар(аш [°])	越す; (冬を) 越す	турар(тур [°])	起きる
чанар(чан [°])	帰る	чунар(чун [°])	お風呂に入る
удуур(уду [°])	寝る	эртенги	朝の
дүштеки	昼の	кежээки	夕方の
үргүлчү	いつも	чамдыкта	ときどき
хүннүң-не	毎日	пингвин	ペンギン
ол дээрге	それというのは	куш	鳥
онзагай	特別な	суг	水
эштир(эжин [°])	泳ぐ	тывар(тып [°])	見つける
хонук	一昼夜	кезик	一部, 部分
эрттирер(эрттир [°])	過ごす		

第10課 Он дугаар кичээл

過去形②

過去形をつくるには形動詞完了形を用いる方法もあります。

形動詞完了形は、行為もしくは状況が過去に起きたこと、あるいは発話時に過去に属していたことをあらわします。発話時点のずっと前に起きたことをあらわすことが多いです。

形動詞完了形は以下の接辞を動詞語幹につけてつくりします。

動 詞 語 幹 の 最 後 の 音	動 詞 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 音	軟 音
無 声 子 音	-кан	-кен
有 声 子 音 母 音	-ган	-ген

例) туткан (つかんだ), барган (去った),

主語が3人称複数形するとき、形動詞完了形 **-ган** (とそのバリエーション) のあとに複数接辞 **нар (нер)** がつくことがあります。

否定形は、「～した」というときには動詞語幹に否定接辞 **-па** (とそのバリエーション) をつけたうえで、母音調和の法則にしたがって形動詞完了形接辞、そして人称指標をつけます。

「～していた」の否定形は、副動詞 **-п** 形を副動詞 **-пайн** 形に変えて、助動詞の語幹 **тур^е**, **олур^е**, **чыт^е**, **чор^е** に形動詞完了形の接辞をつけます。

動詞の語幹が短母音で終わっているときに接辞 **-ган** // **-ген** をつけると、接辞の最初の音 **г** は二つの母音に挟まれることになり脱落して、その結果、二つの短母音は一つの開口長母音となります。否定接辞 (**-па** とそのバリエーション) をつけるとこの変化が起きます。

例) бижээн (書いた) < бижиг^е + -ген → бижиген → бижиен → бижээн
 биживээн (書かなかった) < бижиг^е + -ве + -ген → биживеген
 → биживеен → биживээн

場所をあらわすには与格を使います。「どこで？」は **каяа?** を使います。

練習問題 次の動詞を**-ган** 過去形 (肯定形と否定形) にしましょう。

турар, чоруур, агар, келир, таакпылаар, болур, көргүзер, номчуур,

олурар, чыдар

例文

Авам амданныг ши хайындырган. 母がおいしいキャベツのスープを煮た。
Мен оларны билбээн мен. 私は彼らを知らなかった。
Урана хемге эштип турган. Уラーナは川で泳いでいた。
Телефон ажылдавайн турган. 電話が故障していた。

副動詞 -п 形は、現在、過去、未来形ともに他の動詞とも組み合わせて使うことができます。その場合、過去形の接辞は後で使う動詞の方につけます。副動詞 -п 形には過去形の接辞はつきません。

例文

Мээң ачам эртен суурдан чанып кээр. 私の父は明日村から帰って来ます。
Хадың ырактан агарып кестүп тур. 白樺が遠くから白く見えている。
Демир-оолдуң бөргү барып дүшкен. デミル=オールの帽子が落ちた。
Дилги күске тудуп чиир. キツネはネズミを捕まえて食べる。

練習問題 次の日本語をトゥヴァ語にしましょう。

1) 私は本を読んでいました。2) 昨日学校で授業が始まった。3) 私たちはトゥヴァに住んでいました。4) あなたのお兄さんはどこで働いていましたか？5) 雨が降ってきた。6) 生徒たちはステップの（ステップにいる）牧民たちを手伝った。

助動詞 алыр と бээр, көөр

いくつかの動詞は、自らの主要な語彙的意味のほかに、補足的ニュアンスや時制、相、態といった文法カテゴリーを表現するために助動詞として用いられます。

よく使う3つの助動詞を覚えましょう。

助動詞 (動詞語幹)	要求する本 動詞の形態	意 味
алыр(ал ^ә)	副動詞 -п 形	自分自身（主語）のために行う行為をあらわします（自分のために～する）
бээр(бер ^ә)	副動詞 -п 形	第三者（他人）のために行われる行為をあらわします（～してあげる）
көөр(көр ^ә)	副動詞 -п 形	・行為を試すことをあらわします（～してみる） ・命令形を丁寧にする（～してください）

例文

Мен Орлан-биле таныжып алдым. 私はオルランと知り合いになった.

Мен чылыг тон садып алган мен. 私は暖かいコートを買った.

Ачам меңээ өөредилге херекселдерин садып берген.

お父さんが私に学校で使う文房具を買ってくれた.

Бо хөлге балыктап көөр мен. この湖で釣りをしてみます.

練習問題

1) 私は本を読んだ. 2) 私の父は傘を持っていった. 3) あなたは教科書を買いましたか? 4) お祖父さんが私に昔話を読んでくれた. 5) 母が私たちにご飯を作ってくれます. 6) 明日私はこの本を読みます. 7) この川で泳いでみます.

表現 いくらですか?

名詞属格 + **өртээ** **кажыл?** (名詞) の価格はいくらですか?

名詞主格 + **数詞** + **өртектиг.** (名詞) の価格は～です.

例文

Билеттиң өртээ кажыл? 切符の値段はいくらですか?

Билет он рубль(акша) өртектиг. 切符は10ルーブルです.

Билеттиң өртээ чиик. 切符の値段は安い.

Билет аар(улуг) өртектиг. 切符は高い.

練習問題

1) ノートの値段はいくらですか? 2) 牛乳はいくらですか? 3) この絵は35ルーブルです. 4) この本はとても値段が高い.

練習問題 お互いの持ち物の値段をきいてみましょう.

読み物

Кыш

Кышкы үе база солун. Кыжын агаар дыка арыг. Дагга хаактаар, чуңгулаар, дошка конькилээр болгай бис.

Бо чылын кыш эрте дүшкен. Малчыннар малын база эрте кыштаглаткан. Олар шаттарга, даглыг черлерге кыштаар. Кыштагларын изиг чайын-на дерип алганнар. Кыштаглаашкын эки организастаттыган. Мал хүр ажып турар.

Кичээлде

Маады биле Серээ кичээлдеп олур. Маады төөгү болгаш төрөөн дыл онаалгазын күүсеткен. Серээ сан бодаан. Оолдар кичээлге белен. Чечен чогаал ному база номчаан. Олар бот-боттарынга дузалажып турар. Хостуг шагында даштыгаа агаарлаар.

Алдын-оол А.А. *Диктантылар болгаш эдертиглер чычдызы*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1998 ар. 21-22

新出単語

тудар(тут [°])	つかむ, 捕まえる	баар(бар [°])	行く
каая	どこで	амданныг	おいしい
щи	キャベツのスープ	хайындырар(хайындыр [°])	煮る
билир(бил [°])	知っている	эштир(эжин [°])	泳ぐ
телефон	電話	суур	村; 田舎
хадың	白樺	ырак	遠い
агарар(агар [°])	白くなる	көстүр(көзүл [°])	見える
бөрт	帽子	дүжер(дүш [°])	降りる; 落ちる; 到来する
барып дүжер	落ちる	дилги	キツネ
күске	ネズミ	чаъс	雨
чаар(чаг [°])	降る	тон	民族服; コート
садар(сат [°])	売る	садып алып	買う
садып бээр	買ってあげる	балыктаар(балыкта [°])	釣りをする
өртек	価格	өртектиг	~の値段のする
билет	切符	рубль	ルーブル (ロシアの貨幣単位)
чиик	安い; 軽い	аар	(値段が) 高い; 重い
кышкы	冬の	үе	時間, 時期
солун	おもしろい, 興味深い	агаар	空気; 天気
дыка	とても	арыг	きれいな, 澄んだ
хаактаар(хаакта [°])	スキーする	чуңгулаар(чуңгула [°])	滑る
дош	氷	конькилээр(конькиле [°])	スケートを滑る
болгай	(だって) ~でしょ	бо чылын	今年 (に)
эрте	早く	мал	家畜

кыштагладыр(кыштагат [°])	冬を過ごす, 冬當地に移る		
шат	連山 ; 高原	даглыг	山の多い
кыштаар(кышта [°])	冬を過ごす	кыштаг	冬當地
изиг	暑い ; 熱い	чайын	夏に
-ла, -ле, -на, не	強調の助詞	дериир(дери [°])	準備をする ; 旅支度をする
кыштаглаашкын	越冬	хүр	満腹に, 飢えを知らずに
организа­стат­тын­ар(органи­за­стат­тын [°])	組織される		
кичээлдээр(кичээлде [°])	勉強する, 自習する		
төөгү	歴史	төрээн	故郷の, 生まれた
төрээн дыл	母語	сан	数
бодаар(бода [°])	思う	сан бодаар	算数の問題を解く
белен	準備のできた	чечен	雄弁な
чечен чогаал	文学作品	бот-боттары	お互い
дузалажыр(дузалаш [°])	手伝う	хостуг	自由な, 暇な
даштыгаа	戸外で ; 戸外へ	агаарлаар(агаарла [°])	散歩する

第 1 1 課 Он бир дугаар кичээл

方向格

行為の行われる方向，行き先や行為が向けられる人もしくは物（～へ，～の方へ）をあらわします。

1) 人称代名詞の方向格

主 格	мен	сен	ол	бис	силер	олар
方向格	менче	сенче	олче	бисче	силерже	оларже

例文

Алдын-оол менче көргөн. アルドゥン=オールは私の方を見た。
 Бо чагаамны олче дамчыдып көр. このぼくの手紙を彼に渡して。

2) 名詞の方向格

方向格接辞表

名 詞 語 幹 の 最 後 の 音	接 辞
無 声 子 音 -л, -м, -н, -ң	-че
有 声 子 音 -г, -й, -р 母 音	-же

例) **алаакче** (森の野原へ)，**кичээлче** (授業へ)

この接辞はアクセントをもちません。また，母音調和の法則にも従いません。
 複数形，所有接辞がついても同様です。その際，3人称所有接辞の後に方向格接辞がつくときは，あいだに **-н-** がはいります。

「どこへ？」は **кайнаар?** を用います。

練習問題 次の単語を方向格にしましょう。

хоорай, хем, садыг, Москва, бажың, ажыл, класс, суур

例文

Малчыннар кыштагже көжүп турган. 牧民は冬営地へ移動していた。
 Мен Кызылче самолёт-биле баар мен. 私は飛行機でクズルへ行きます。
 Бистиң ыдывыс аалывысче оорну киирбес.
 私たちの犬は宿営地のなかへ泥棒を入れさせません。

方向をあらわすときは、方向格のほかに与格が使われることもあります。方向格では、ただその向けられる方向「～のほうへ、～の方向へ、～へ向かって」をあらわし、与格であらわされるときは、その行為が向けられた場所に接するあるいは入ること、そこで何かをすること（～する目的のために）を予期しています。日本語で「～へ」に当たるのが方向格、「～に」に当たるのが与格と考えるとよいでしょう。

例文

Авазы бичии уруун орун кырынга олурткан.

母親が小さい赤ん坊をベッドの上に寝かせた。

練習問題 次の日本語をトゥヴァ語にしましょう。

1) デミル＝オール(**Демир-оол**)は兄のもとへ手紙を送った。2) 私は田舎へ行った。3) バスはアバカン(**Абакан**)へ行きます。4) どこへ君は向かっているの？5) 私は町の中心へ向かっています。6) 母は子供の方を見た。

形容詞・動詞の名詞化

形容詞、動詞の形動詞形（ここまでは未来形、現在未来形、完了形過去）に所有接辞をつけると名詞化します。「～なもの」、「～なこと」、「～すること」、「～したこと」という意味になります。

名詞化した後では格変化もします。その際、格変化するときには3人称所有接辞の後ろに **н** をつけてから格接辞をつけます。

例文

Айдыс хүрежириниң аргазын эки билир.

アイドゥスは相撲の技をよく知っています。

Ашак-оол чүү болганың чугаалап берген.

アシャク＝オールは何が起こったかを話してくれた。

Арга-арыг — чоннуң байлаа.

森は人々の富[資源]です。

練習問題

1) 家の高さ 2) 人々の多さ 3) 本を読むこと 4) 歌うこと 5) 歌っていること 6) 父が話してくれたこと 7) 小さいこと

「～が好きです」

「～が好きです」と言うときには、**ынак** を使い、好きな対象は与格であらわします。

否定形は、**ынак эвес** になります。

「～することが（好きです）」と動詞を使うときは3人称所有接辞をつけて動詞を名詞化してから与格につなげます。その際には所有接辞と与格のあいだに**-н-**が入ります。

例文

Мерген сүтке ынак.

メルゲンは牛乳が好きです。

Соян ажылынга ынак эвес.

ソヤンは仕事が好きではありません。

Бис кырган-ававыска кончуг ынак бис.

私たちはおばあさんのことが大好きです。

Мен ном номчурунга ынак мен. 私は本を読むことが好きです。

練習問題 次の日本語をトゥヴァ語にしましょう。

1) 私は花が好きです。 2) あなたは乳茶が好きですか？ 3) 彼らは山で散歩することが好きです。 4) 私たちはトゥヴァ語が好きです。 5) トゥヴァの人々はホーメイを聴くことが好きです。 6) 私はチーズが好きではありません。 7) 私の母の兄は海で泳ぐことが好きではありません。 8) あなたは何をすることが好きですか？

練習問題 下記の単語を使って、次の質問に答えてみましょう。また、お互いにたずね合ってみましょう。

Кандыг өңнүг хепке ынак силер?

Кандыг өңнүг чечекке ынак силер?

Хостуг үеде чүнү кылырынга ынак силер?

өң	色	өңнүг	～な色をした
ак	白い	кара	黒い；暗色の
көк	青い	ак-көк	水色の
ногаан	緑色の	сарыг-ногаан	黄緑の
сарыг	黄色の	кызыл	赤い
ак-кызыл	ピンク色の	куу	灰色の
хүрең	茶色の	өкпең	紫色の
чырык	明るい色の		

読み物

Өөрөдилге чылы эгелээн. Дөрткү классчылар чыгып келген. Чайын чүнү кылып турганын чугаалажып турганнар. Чамдыктары ада-иезинге дузалажып турганнар. Чамдык уруглар лагерьге дыштанганнар.

Ойдан-оол А.К., Белек-Баир А.М., Эргил-оол И.Ч. *Тыва дыл 4*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1999 ар. 4

新出単語

алаак	森の野原	көжер(көш [°])	遊牧地を移動する
аал	遊牧の宿営地	оор	泥棒
киирер(киир [°])	入れさせる ; 導入する	бичии	小さい
орун	ベッド	кырынга	～の上に (で)
олуртур(олурт [°])	座らせる	хүрежир(хүреш [°])	相撲する
арга	方法	чон	人民, 国民
байлак	豊かな	бедик	(高さが) 高い
ынак	好きな, 好きである	хөөмей	ホームイ
быштак	チーズ	далай	海
кандыг	どのような, どんな	өңнүг	～な色をした
өң	色	ак	白い
кара	黒い ; 暗色の	көк	青い
ак-көк	水色の	ногаан	緑色の
сарыг-ногаан	黄緑の	сарыг	黄色の
кызыл	赤い	ак-кызыл	ピンク色の
куу	灰色の	хүрең	茶色の
өкпең	紫色の	чырык	明るい色の
чыл	年	дөрткү	第4番目の
классчы	学校の生徒	чыглыр(чыыл [°])	集まる
чугаалажыр(чугаалаш [°])	会話する	чамдык	いくつかの
ада-ие	両親	лагерь	キャンプ場
дыштаныр(дыштан [°])	休む, 休息をとる		

第12課 Он ийи дугаар кичээл

「～したい」の言い方

「～したい」と言いたいときには、動詞語幹に以下の接辞をつけてつくりま

動詞の最後の音	名詞, 形容詞の最終音節の母音	
	硬音	軟音
子音	-ыкса, -укса	-иксе, -үксе
母音	-кса	-ксе

例) балыктакса[°] (釣りがしたい), ижиксе[°] (飲みたい),
кириксе[°] (入会したい, 入学したい)

動詞語幹が -г で終わる動詞にこの接辞がつくと, г は2つの母音に挟まれることになり脱落し, 1つの長母音になります。

例) чыг[°] + -ыкса → чыгыкса[°] → чыыкса[°] (集めたい)

否定形は, この接辞がついた後に否定接辞 -па や副動詞 -пайн 形, 未来形の否定 -пас 形をつけてつくりま

例文

Мен аажок удуксап турган мен. 私はとても眠たかった。

Сен шай ижиксевойн тур сен бе? あなたはお茶を飲みたくないですか?

この接辞をつけた動詞で現在形をつくる場合 (-ыксап тур) は, 場所をあらわすには位格ではなく与格を使います。疑問形は кая? になります。

練習問題 次の動詞に「～したい」の接辞をつけましょう。

баар, кылыр, хонар, чалаар, хөөмейлээр, чанар, хүрежир, ойнаар
көөр, билир

練習問題 次の質問に答えましょう。

Кичээл соонда чүнү кылыксап тур силер?

Чайын кайнаар барыксап тур силер?

Кыжын кая дыштаныксап тур силер?

多回・同時相

多回・同時相は行為の反復や同じ行為が別々の主体によって同時に行われることをあらわします。

以下の接辞を動詞語幹，あるいは助動詞語幹につけてつくります。

多回・同時相をあらわす接辞

動詞語幹 の最後の音	動 詞 の 最 終 音 節 の 母 音			
	а, ы	э (е), и	о, у	ө, ү
無声子音	-кыла	-киле	-кула	-күле
有声子音 母 音	-гыла	-гиле	-гула	-гүле

例) чыткыла^т (何度も横になる, [何人かが]同時に横になる),
келгиле^т (何度も来る, [何人かが]同時に来る)

練習問題 次の動詞に多回・同時相をあらわす接辞をつけましょう。

ойнаар, болур, бээр, дыңнаар, ижер, көөр, билир, ырлаар

例文

Мен аңнап чоргулаан мен.

私は猟をして暮らしてきた。

Кызылга чоруп турган үемде албан черинге баргыладым.

私はクズルに来たときはいつも役所に行った。

今後もさまざまな相がでてきますが，相の接辞がついたことによって新しい動詞となるので，否定形は相の接辞がついた形（動詞語幹）に否定形をつけません。

天気の実現

Бөгүн агаар кандыг-дыр? 今日はどんな天気ですか?

Бөгүн аяс хүн-дүр. 今日は晴れです。

Бөгүн изиг. 今日は暑い。

過去形にするには турган, 未来形では болур を入れます。

Дүүн агаар кандыг турган? 昨日はどんな天気でしたか?

Дүүн бүргег хүн турган. 昨日は曇りでした。

Эртен агаар кандыг болур? 明日はどんな天気ですか?

Чаъс чаап тур. 雨が降っています。

Дүүн чаъс чагган. 昨日雨が降った。

練習問題 下記の語句を使って文章をつくりましょう。また日本やトゥヴァや他の国の天気について文章をつくりましょう。

соок	寒い	аяс	晴れた	чаъс	雨
сериин	涼しい	бүргег	曇りの	хар	雪
чылыг	暖かい	чаъстыг	雨降りの	долу	霰
изиг	暑い	харлыг	雪の	хат	風
ышкам	蒸し暑い	диңмирээшкин-кызаңнааштыг чаъс		雷雨の	
эртен	朝に	чазын	春に		
хүндүс	昼に	чайын	夏に		
кежээ	夕方に	күзүн	秋に		
дүне	夜に	кыжын	冬に		
чаар(чаг [°])		хадыыр(хады [°])		(風が) 吹く	

読み物

Лагерьде

Уруглар чайын лагерьде дыштаныксап турар. Лагерьге кончуг солун. Ойнаар, сугга эштир, каттаар. Одаг ажыдып, аңаа солун оюннар база ойнаар. Лагерь Чагытай хөлдүң кыдыында турар.

Алдын-оол А.А. Диктантылар болгааш эдертиглер чыындызы, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1998 ар. 176

新出単語

чыыр(чыг [°])	集める	кыжын	冬に
ойнаар(ойна [°])	遊ぶ	аңнаар(аңна [°])	狩猟する
аяс	晴れた	дүүн	昨日
бүргег	曇りの	сериин	涼しい
хар	雪	чаъстыг	雨降りの
харлыг	雪の	долу	霰, 雹
диңмирээшкин-кызаңнааштыг чаъс			雷雨の
чаъс	雨	хат	風
ышкам	蒸し暑い	эртен	朝に
хүндүс	昼に	дүне	夜に

чазын 春に
чаар(чаг[°]) 降る
каттаар(катта[°])ベリー摘みをする
ажыдар(ажыт[°])開ける, 開く
оюн 遊び, ゲーム

күзүн 秋に
хадыыр(хады[°]) (風が) 吹く
одаг かまど, 炉; 焚き火
одаг ажыдар 焚き火をする
кыдыг 岸; 端

第 13 課 Он үш дугаар кичээл

完了・開始をあらわす構文 副動詞 -a 形+助動詞 бээр

行為の完了（～し終えた）や開始・着手（～し始めた）をあらわすときに助動詞 бээр を使ってあらわすことができます。そのとき本動詞は副動詞 -a 形になります。

副動詞 -a 形は以下の接辞をつけてつくります。

動詞語 幹の最 後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音			母 音		
	硬 音			軟 音		
子 音	-a	母音 а	出沒母音	-e	母音 е	出沒母音
-г	-ый, -уй			-ий, -үй		
母 音	-й					

例) кыла, боданы, чугаалай, чый, көре

母音 + -т で終わる動詞語幹に副動詞 -a 形の接辞がつく場合、-т は有声化し д になります。

例) тут^т (つかむ) + -a → тута → туда

出沒母音が脱落する場合には -ы, -у, -и, -ү が用いられます。その結果、形としては現在未来形 -ap 形の最後の p が落ちた形になります。

例) 下線部は出沒母音

айы^т (指す, 示す) + ы → айты (現在未来形 айтыр)

кириш^т (参加する) + и → киржи (現在未来形 киржир)

ужул^т (脱ぐ) + у → ушту (現在未来形 уштур)

出沒母音脱落の結果、隣り合うことになった二つの子音は有声化か無声化のどちらかに同化します。

また語幹最後の子音の前に母音 а があるときは、接辞は -ы が、子音の前に母音 е があるときは、接辞は -и が用いられます（ただし、語幹が 1 音節のみでできている動詞は -a, -e のままです）。

例) бода^н (考える) → боданы

өөре^н (学ぶ) → өөрени

бар^а (行く) → бара

эт^е (直す) → эде

動詞語幹が -г がで終わる場合、接辞は -ый, -уй, -ий, -үй となります。その際、母音に挟まれることになった -г は脱落して隣り合った二つの母音は融合して一つの長母音となります。

例) чаг^г (降る) + -ый → чагый → ч^аый → чаай
 эг^г (帰る, 戻る) + -ий → эгий → э^ий → ээй

練習問題 次の動詞を副動詞 -а 形にしましょう。

удуур, таныжар, ужар, үнер, чанар, бижиир, билир, ырлаар

例文

Урана бажыңынче чана берген. Уラーナは家へ帰った。
 Куштар хөглүү кончуг ырлай берген. 鳥がとても楽しそうに歌い始めた。
 Кежээ он шакта удуй бээр мен. 私は夜10時に寝ます。
 Хемниц эрии доңа берген. 川の岸が凍った。
 Аңнар үңгүрлеринче чаштына бергилээн.
 獣たちがそれぞれの巢穴に同時に隠れた。

共同・相互態

動詞本来の意味に「一緒に～する」、「～することを手伝う、協力する」、「互いに～し合う」という意味を加える際に用いる接辞があります。

共同・相互態を形成する接辞

動詞語幹 の最後の音	動 詞 の 最 終 音 節 の 母 音			
	а, ы	э (е), и	о, у	ө, ү
子 音	-ыш	-иш	-уш	-үш
母 音	-ш			

例) тудуш^ш (お互いつかむ), ырлаш^ш (一緒に歌う)

共同・相互態接辞がついた動詞語幹に、形動詞現在未来形や副動詞 -а 形、副動詞 -п 形のような母音で始まる他の接辞がつくと -ш は有声化します。

例) ырлажыр (形動詞現在未来形), ырлажып (副動詞 -п 形),
 ырлажы (副動詞 -а 形)

その際、共同・相互態接辞中の挟母音は脱落して -ш が有声化します。

例) кириш^ш + -ип → киришип → киршип → киржип
 көрүш^ш + -үп → көрүшүп → көршүп → көржүп

練習問題 次の動詞に共同・相互態の接辞をつけましょう

чугаалаар, ойнаар, сүмелээр, чагаалаар, бижиир

例文

Уруглар кичээл соонда улуг улуска дузалашкан.

子供たちは授業後、大人たちのお手伝いをした。

Арыг иштинден кезек инектер маңнажып келди.

森のなかから何頭かのウシが[いっしょに]走って来た。

今後もしさまざまな態がでてきますが、態の接辞がついたことによって新しい動詞となるので、否定形は態の接辞がついた形（動詞語幹）に否定形をつけます。

期間をあらわす表現

Кайы хире ? 「どれくらい?」、 Кайы хире үр ? 「どれくらいの期間?」を使います。具体的には каш 「いくつ?」を使います。

例文

Тывага кайы хире турар силер?

トゥヴァにどれくらい滞在しますか?

Тыва дылды кайы хире үр өөренип турар силер?

トゥヴァ語をどれくらいの期間勉強していますか?

Кызылга кайы хире үр чурттап турган силер?

クズルにどれくらいの期間住んでいましたか?

Дүүн каш шак ном номчуп турдуң?

きのう何時間本を読んでいたの?

Мен Кызылга ийи чыл чурттап турган мен.

私はクズルに2年間住んでいました。

練習問題 次の日本語をトゥヴァ語にしましょう。

1) 私は大阪に18年間住んでいます。2) 私はトゥヴァに1週間滞在する予定です。3) 先生は2ヵ月間日本に住んでトゥヴァ語を教えています。4) 私はロシアの大学で10ヶ月間学びました。5) 兄は3時間テレビを見ていました。

練習問題 上記の例文や練習問題を参考にして、みなさんでいろいろたずねてみましょう。

読み物

Теве биле Күске(тоолдан үзүндү)

Теве биле Күске хүн кайыын үнүп кээрин маргыжып турган. Теве тейже үнүп келген. Ол чөөк чүкче көрнүп чыдып алган. Кажар Күске тевениң мөгенинче үне берген. Дээп кээр херел бодап, барыын чүкче харап чыткан.

Хүн үнүп кээрин кайызы мурнай көөрүл?

Алдын-оол А.А. *Диктантылар болгаш эдертиглер чыындызы*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1998 ар. 39

Эм

Аарыг кижини эмнээр. Эмге хереглээр үнүштерни чыып, кургадыр. Катя чөдүре берген. Авазы ону эмнелгеге чедирген. Ол ам эмниг. Эмчиниң сүмези чокка боду эмненип болбас.

Алдын-оол А.А. *Диктантылар болгаш эдертиглер чыындызы*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1998 ар. 41

新出単語

боданыр(бодан [°])	熟考する	чугаалаар(чугаала [°])	言う, 話す
айтыр(айыт [°])	指す, 示す	киржир(кириш [°])	参加する
уштур(ужул [°])	脱ぐ	эдер(эт [°])	直す, 整える
ээр(эг [°])	帰る, 戻る	хөглүг	楽しい
эрик	岸	доңар(доң [°])	凍える, 凍る
үңгүр	巢穴	чаштынар(чаштын [°])	隠れる
тутчур(тутуш [°])	お互いつかみ合う	ырлажыр(ырлаш [°])	一緒に歌う
көржүр(көрүш [°])	一緒に見る	сүмелээр(сүмеле [°])	助言する
чагаалаар(чагаала [°])	手紙を書く	иштинден	～のなかから
кезек	いくつか, 部分	инек	ウシ
маңнажар(маңнаш [°])	一緒に走る	кайы	どちらの, どのような
хире	～ぐらい	үр	長い間
неделя	週	ай	月
башкылаар(башкыла [°])	教える	үзүндү	断片
маргыжар(маргыш [°])	論争し合う	тей	丘
чөөк	東の	чүк	方角
көрнүр(көрүн [°])	見渡す	кажар	ずるがしこい
мөген	ラクダのこぶ	дээр(дег [°])	(日が)昇る
херел	光, 日光	барыын	西の

хараар(хара[°])見下ろす
эм 薬
кургадыр(кургат[°]) 乾燥させる
эмниг 薬のある
чокка ~なしで
эмненир(эмнен[°]) 病気を治す

мурнай 最初に
хереглээр(херегле[°]) 用いる
чөдүрер(чөдүр[°]) 咳をする
сүме 助言, アドバイス
бот 自分自身で

第 14 課 Он дөрт дугаар кичээл

比較

二つの物の具体的な特質もしくは特徴を比較するとき、形容詞や副詞は特別な変化をしません。比較する対象「～よりも」は奪格にしてあらわします。

例文

Бии-Хем Каа-Хемден улуг. Бие-Хем川はカー-Хем川より大きい。

Бо даг дөө дагдан бедик. この山はあの山より高い。

練習問題 次の日本語をトゥヴァ語にしましょう。

1) 私の兄は私より背が高い。 2) この本はあの本よりおもしろい。 3) 私のペンはあなたのペンより値段が高い。 4) この木はあの木より低い。

最上級

最上級をあらわす副詞でよく使われるものは、эң (-не) (もつとも、一番) です。形容詞や副詞の前におきます。

～より : 奪格

～のなかで (一番) ～ : 名詞属格 + иштинден (～のなかから)

～のなかで (一番) ～ : 名詞属格 + аразындан (～のなかから)

もつとも…な～の1つだ : эң (-не) + 形容詞 + 名詞属格 + бирээзи

例文

Бо кудумчу хоорайда эң узун. この通りは町の中で一番長い。

Чысымаа уругларымның иштинден эң-не бичии。

Чусмарыは子供たちのなかで一番小さい。

Тыва – эң чараш черлерниң бирээзи。

トゥヴァはもつとも美しい場所の1つです

練習問題 次の日本語をトゥヴァ語にしましょう。

1) 富士山は日本で一番高い。 2) きょう私は家族のなかで一番早く起きた。

3) この生徒はクラスの生徒のなかで一番速く走る。 4) この花が一番美しい。

5) これはお店で一番大きなテレビです。 6) 日本は世界でもつとも発展した国の1つです。

形容詞の弱化

形容詞の意味を弱める、「やや～」、「～っぽい」の意味にするには以下の接辞があります。

形容詞語幹 の最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音			
	а, ы	э (е), и	о, у	ө, ү
無声子音	-сымаар	-симээр	-сумаар	-сүмээр
有声子音 母 音	-зымаар	-зимээр	-зумаар	-зүмээр

例) аксымаар (白っぽい), кызылзымаар (赤っぽい),

練習問題 次の形容詞に弱化の接辞をつけましょう。

улуг, аныяк, чиг, кара, көк, ногаан, сарыг

例文

Арганзымаар аът мунган мен. ちょっと細めの馬に乗った。

材料をあらわす奪格（～から）

材料ををあらわすには奪格であらわします。

例文

Сүттен саржаг алыр. 乳からバターを得ます。
Каттан варенье хайындырган. ベリーからジャムを煮て作った。
Эъттен янзы-бүрү чем кылыр. 肉から様々な料理を作ります。

練習問題 次の日本語をトゥヴァ語にしましょう。

- 1) 私たちは乳からチーズを作った。
- 2) この草から薬をつくります。
- 3) ヒツジの毛からフェルトをつくります。
- 4) クロテンの毛皮から帽子をつくります。
- 5) 絹からトゥヴァの民族服を縫ってつくります。

読み物

Севил сугда сарлык бар. Сарлыктың семдери хөлчөк. Ол сарлыкка Чараш деп шола берген. Сарлыкты уруглар чемгерип турар. Демги сарлык улуг мыйыстыг. Сарлыктан хоюг дүк, үскүр сүт алыр. Сарлыкче чамдык уруглар чоокшулавас, сестирлер.

Ойдан-оол А.К., Белек-Байр А.М., Эргил-оол И.Ч. *Тыва дыл 4*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1999 ар. 45

新出単語

дөө	あの	узун	背が高い；長い
чавыс	低い	эң	もつとも，一番
аразындан	～のなかから	делегей	世界
сайзыраңгай	発展した	бирээ	1
аныяк	若い	чиг	生の，半煮えの
арган	やせた	мунар(мун [°])	乗る，運転する
аът	ウマ	саржаг	バター
варенье	ジャム	оът	草
дүк	毛	кидис	フェルト
киш	クロテン	кеш	毛皮
торгу	絹	суг	～の家，家族
сарлык	ヤク	семдер	毛深い
хөлчок	とても多くの	шола	あだ名
чемгерер(чемгер [°])	餌を与える	демги	まさにこの
мыйыстыг	角のある	хоюг	柔らかい
үскүр	脂肪分の多い	чоокшулаар(чоокшула [°])	近づく
сестир(сезин [°])	恐れる		

第 15 課 Он беш дугаар кичээл

命令形③ 1 人称（～しよう）と 3 人称（～させよ, ～しますように）

命令形は以下の表に示されている接辞を動詞語幹につけてつくります。便宜上、第 5 課で習った 2 人称の命令形の接辞も含めてあります。

人 称	数	動詞語幹の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音			
			а, ы	э (е), и	о, у	ө, ү
1	単 数	あらゆる音	-айн -ыйн	-ейн -ийн	-уйн	-үйн
	双 数	あらゆる音	-аал[ы] -ыыл[ы]	-ээл[и] -иил[и]	-уул[у]	-үүл[ү]
2	単		—（動詞語幹のみ）			
3	数	無声子音	-сын	-син	-сун	-сүн
		有声子音 母 音	-зын	-зин	-зун	-зүн
1	複	母 音	-алы[ңар] -ылы[ңар]	-эли[ңер] -или[ңер]	-улу[ңар]	-үлү[ңер]
		子 音	-аалы[ңар] -ыылы[ңар]	-ээли[ңер] -иили[ңер]	-уулу[ңар]	-үүлү[ңер]
2	数	母 音	-ңар	-ңер	-ңар	-ңер
		子 音	-ыңар	-иңер	-уңар	-үңер
3	数	無声子音	-сын[ңар]	-син[ңер]	-сун[ңар]	-сүн[ңер]
		母 音 有声子音	-зын[ңар]	-зин[ңер]	-зун[ңар]	-зүн[ңер]

ここで、1 人称双数形という形がありますが、一人の人に対して自分をも含めて呼びかける際に使って、話者是对話者と一緒に行為を行う、あるいは行わない希望をあらわします（二人で～しよう）。

形容詞は動詞 **болур**（～である）を使います。

動詞の未来形に **болур** の 3 人称命令形 **болзун** をつけてつくることもあります。

1 人称単数と双数、1 人称複数形では、動詞語幹が子音で終わる場合、どの接辞をつけるか迷ってしまうことがあります。その際には、その動詞の未来形（-ар 形）の接辞の **р** の前の母音に合わせて命令形の接辞をつけてください。

例) **алыр** → **алыйн, алыыл, алыылыңар**
болур → **болуйн, болуул, болуулдунар**

билир → билийн, билиил, билиилиңер

үнер → үнейн, үнээл, үнээлиңер

көөр(көр^ә) は көрейн となります。

練習問題 次の動詞の命令形（1人称と3人称）をつくりましょう。

алыр, бээр, баар, чоруур, ырлаар, келир, шайлаар, удуур, көөр

例文

Силерге тыва улустуң ырларын ырлап берейн.

あなたがたにトゥヴァ民謡を歌ってあげましょう。

Кертик-оол сава чугзун. ケルチク=オールに食器を洗わせよう。

Дазыр шөлдер чечектелзин. 草木の生えてない野原に花が咲きますように。

Кезээде хүн чырып турзун. いつも太陽が明るく照らしていますように。

Арга-арыг ногаан болзун. 森が緑で覆われますように。

Аңнар-меңнер өзер болзун. [森の]獣がよく育ちますように。

練習問題

1) 私が新聞を読んであげよう。2) 食べてみよう。3) 考えてみよう。

4) いっしょに行こう。5) 明日晴れますように。6) 息子と娘が学校でしっかり学びますように。

使役態

「～させる, ～してもらう」というように使役の意味で使うとき, 動詞語幹に接辞をつけてつくります。

他動詞に使役態の接辞がついたとき, 間接目的語は与格であらわされます(～を…にしてもらう)。

主として以下の接辞があります。

接辞①

動詞語幹の 最後の音	動詞の最終音節の母音	
	硬音	軟音
子音	-ЫТ, -УТ	-ИТ, -ҮТ
母音 -р (語幹が多音節の動詞)	-Т	

例) ужу^т (飛ばす), ажилда^т (働かす), олур^т (座らす, 植える)

接辞②

動詞の最後の音	動詞の最終音節の母音	
	硬音	軟音
無声子音 (-шと-тで終わる語幹が 単音節動詞のいくつか以外)	-тыр, -тур	-тир, -түр
自鳴子音 (-рで終わる語幹が多音節 動詞のいくつか以外)	-дыр, -дур	-дир, -дүр
例外	-зыр, -зур	-зир, -зүр

例) кастыр^т = (掘らせる), кылдыр^т = (させる), долдур^т = (満たす),
эмзир^т = (乳を飲ます)

例文

Эртенниң-не бис өрээливести агаарладып турар бис.

毎朝、私たちは部屋を換気します。

Артыш-оол иезинге тон даараткан.

Арт Ушчу = Оолは母親に服を縫ってもらった。

Класс даргазынга узун чаштыг Долаана соңгуткан.

級長に長いお下げのドレーナが選ばれた。

読み物

Хүнне-ле!

Хову, шөлдү чечек шып,

ховаганнар ойназын.

Хүнчүгөжим, хүнне-ле,

хүлүмзүрүп хүнне-ле!

Тараа, чимис саглаңнаан,

дамырактар ырлашкан.

Хүнчүгөжим, хүнне-ле,

хүлүмзүрүп хүнне-ле!

Бистиң ынак ававыс

Бистер-биле ырлашсын.

Хүнчүгөжим, хүнне-ле,

хүлүмзүрүп хүнне-ле!

Симчит К.Д. Төрээн чугаа – Эгэ школаның 2-ги клазынга номчулга ному, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 2000 ар. 17

新出単語

шайлаар	お茶を飲む	ыр	歌
дазыр	草木の生えない場所	чечектепир(чечектел [°])	咲く
кезээде	いつも	чырыыр(чыры [°])	輝く, 照らす
аң-мең	獸 (総称)	өзер(өс [°])	育つ
солун	新聞	кады	いっしょに
оол	息子	ужудар(ужут [°])	飛ばす
ажылдадыр(ажилдат [°])	働かす	кастырар(кастыр [°])	掘らせる
кылдырар(кылдыр [°])	やらせる	долдурар(долдур [°])	いっぱいにする
эмзирер(эмзир [°])	(乳を) 吸わせる	эртенниң-не	毎朝
агаарладыр(агаарлат [°])	換気する	ие	母
даарадыр(даарат [°])	縫ってもらう	дарга	長
чаштыг	お下げのある	соңгудар(соңгут [°])	選ばれる
хүннээр(хүнне [°])	(太陽が) 輝く	шывар(шып [°])	覆う
ховаган	蝶	хүнчүгеш	хүн (太陽) の指小形
хүлүмзүрүүр(хүлүмзүрү [°])	微笑む	тараа	穀物
чимис	果実	саглаңнаар(саглаңна [°])	ゆらゆら揺れる
дамырак	泉		

第 16 課 Он алды дугаар кичээл

～したとき（動詞＋位格）

位格は行為が行われる時をあらわしますが，名詞のほかにも動詞の形動詞完了形（-ган 形）や形動詞現在未来（-ap 形；～する，～している），現在形（тур, чор, чыдар, ор；～している）とともに用いられます（～した時に，～していた時に，～している時に，～する時に）。

行為主をあらわすために位格の前に人称接辞がつくこともあります。

例文

Бо эмни могап шылаанда ажыглаар силер.

とても疲れたときにこの薬を使用してください。

Номчуп турганымда, телевизор көрбейн турдум.

読書していた時，私はテレビを見ていなかった。

被動態

被動態は，受身「～れる」，「～られる」をあらわします。また，ある主体の行為が自分に向けられていること，あるいは，自分のために行われることもあらわします。

以下の接辞を動詞語幹につけてあらわします。

動詞語幹 の最後の音	動 詞 の 最 終 音 節 の 母 音			
	а, ы	э (е), и	о, у	ө, ү
子 音	-ыл	-ил	-ул	-үл
母 音	-л			

例) чарыл[°]（別れる），тывыл[°]（発見される）

-р, -й で終わる動詞語幹に被動態接辞 -ыл（とその発音上のバリエーション）がついた動詞語幹に，形動詞現在未来や副動詞 -а 形，副動詞 -п 形の接辞がつく場合，接辞中の狭窄母音は脱落します。

例) чарыл[°] + -ыр → чарылыр → чарлыр

чарыл[°] + -ып → чарылып → чарлып

本動詞語幹中に脱落母音 г を有している動詞語幹へ被動態接辞-ыл（とその発音上のバリエーション）がついて形成された動詞語幹は，形動詞現在未来や副動詞 -а 形，副動詞 -п 形の接辞がつく場合，本動詞語幹中の脱落母音 г は，ふたたび現れた上で接辞中の狭窄母音は脱落します。

例) чыыл (< чыгыл)[°] + -ыр → чыылыр → чыгылыр → чыглыр

例文

Арыгда каттаан уруглар ыыды дыңналган.

森でベリー摘みをした子供たちの声が聞こえた.

Бистиң бөлүүвүс ийи бичии бөлүккө чарлып тур.

私たちのグループは2つの小グループに分けられている.

練習問題 次の動詞に被動態の接辞をつけましょう.

хостаар, бузар, үрээр

読み物

Кижини чер чемгерер. Ынчалза-даа ол халас чемгербес. Черден чаагай дүжүттү алырда, кижилер хөй-хөй ажылдарны кылыр. Янзы-бүрү кат-чимисти, ногааны биске чер берип турар.

Эргил-оол И.Ч. *Тыва дыл 2*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1992 ар. 121

新出単語

могаар(мога[°]) 疲れる

шылаар(шыла[°]) 疲れる

чарлыр(чарыл[°]) 別れる

тыптыр(тывыл[°]) 見つかる

ыыт 声 ; 音

дыңналыр(дыңнал[°]) 聞こえる

хостаар(хоста[°]) 解放する

бузар(бус[°]) 壊す

үрээр(үре[°]) 壊す ; (規則を) 破る

бөлүк グループ, 班

ынчалза-даа しかし

халас ただで

дүжүт 収穫

кат-чимис 果実, 果物

чаагай 多くの ; おいしい ; 気持ちのよい ; 芳しい

ногаа 野菜

第 17 課 Он чеди дугаар кичээл

「～になる」

「～になる」の意味をあらわすには **апаар** (апар^в) を使います。
名詞や形容詞をつけます。

例文

Откун эки хөөмейжи апарган.

オトクンはすばらしいホーメイ歌手になった。

Бөгүн кежээ агаар соок апаар.

今日の夜寒くなる。

練習問題 次の日本語をトゥヴァ語にしましょう。

1) 明日は暑くなる。 2) 彼は先生になった。 3) 春になった。

練習問題 職業（第7課）や天気（第12課）をあらわす単語を使っている
いろ言ってみましょう。

～する際（条件・原因）（動詞＋与格）

形動詞完了形（-ган 形）や形動詞現在未来形（-ар 形）とともに用いて、
行為をする時（～する時）や条件（～する際は）、原因（～するの）をあらわ
します。

例文

Картошканы карттаарга, бижек агара бээр.

じゃがいもの皮をむくと、ナイフが（澱粉で）白くなる。

Хэй эм ижерге, ижин-баар баксыраар.

多くの薬を飲むと、胃の調子が悪くなる。

練習問題 よく使う表現です。覚えましょう。

мен бодаарымга（私が思うには）、

чижеглээрге（例えば）、

моон ап көөрге（以上のことから判断すると）、

ажыы-биле чугаалаарга（率直に言う）、

кысказы-биле чугаалаарга（手短かに言う）、

ниитизи-биле чугаалаарга（一般的に言う）、

шынын чугаалаарга（本当のことを言う）

読み物

Тайга

Тывада бедик тайгалар хөй. Чаашкын чаарга, оларны туман дуглай бээр. Туман көдүрлүрге, чаъс төгө бээр. Сыннар эдээнде пөш, дыт, чойган, шиви үнүп турар. Хадылыг арганың агаары онзагай. Ону тынарга, кадыкка эки. Тайгаларда диинң, дилги, дырбактыг бар.

Алдын-оол А.А. *Диктантылар болгааш эдертиглер чыындызы*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1998 ар. 25

新出単語

апаар(апар [°])	~になる	час	春
картошка	ジャガイモ	карттаар(картта [°])	皮をむく
бижек	ナイフ	ижин-баар	胃
баксыраар(баксыра [°])	悪くなる	чижеглээр(чижегле [°])	例を挙げる
моон	бо の奪格	ажык	率直な ; 開いた ; 開封された
кыска	短い	ниити	一般的な
шын	正しい ; 真実	тайга	タイガ
туман	霧	дуглаар(дугла [°])	閉める, さえぎる
көдүрлүр(көдүрүл [°])	登る, 上る	төгөр(төк [°])	(土砂降りの雨が) 降る
сын	山脈	эдек	山麓
дыт	カラマツ	чойган	モミ
шиви	トウヒ	хадылыг	マツの生えている
тынар(тын [°])	呼吸する	кадык	健康
диинң	リス	дырбактыг	オオヤマネコ

第 18 課 Он сес дугаар кичээл

「～しなければならない」

「～しなければならない, ~する必要がある」の意味をあらわすには **ужурлуг**, **херек**, **апаар** (апар⁼) を使います。

ужурлуг は行為をあらわす動詞を形動詞現在未来形 (**-ар** 形) にします。否定形 (~する必要はない) は未来形の否定形 **-бас** 形にします。

主語は主格であらわします。

過去時制にするは, **ужурлуг** のあとに助動詞 **тур=** を形動詞完了形 **турган** にしてつけます。

херек は行為をあらわす動詞を形動詞現在未来形 (**-ар** 形) にします。意味上の主語は与格であらわしますが, その際には形動詞現在未来形には 3 人称所有接辞をつけます (意味上の主語がないとき所有接辞は必要ありません)。

否定形は **херек чок** (~する必要はない) になります

また, **херек** は名詞を主語にとって「～が必要だ」と使うこともできます。

動詞 **апаар** (апар⁼) は, 行為をあらわす動詞を形動詞現在未来形 (**-ар** 形) にします。否定形は動詞を未来形の否定形 **-бас** 形にします。とくに **апаар** は「～することになる, ~せざるをえない」のニュアンスが加わることもあります。

例文

Мен чагаа бижиир ужурлуг мен. 私は手紙を書かないといけない。

Сэцээ ажылга келири херек. 君は仕事に来ないといけない。

Сен ам чоруур апаар сен. 君は今出発しないといけない。

Сен бо номну номчувас ужурлуг сен.

君はこの本を読む必要はありません。

練習問題

- 1) 私は母に手紙を書かないといけない。
- 2) 明日私たちは会う必要がある。
- 3) 窓を閉める必要がある。
- 4) 鉛筆が必要だ。
- 5) 私はあなたと話をしなければならなかった。
- 6) 新聞を読むときは, 注意深くする必要がある。
- 7) 私たちは待つはめになった。

副動詞 -каш 形

「～してから～する」の意味のように後に続く動詞によってあらわされる行為よりも先に起きる行為をあらわして、主たる行為を補足したり、「～したので」の意味のように主たる行為が発生した原因や理由となる行為をあらわすには、動詞を副動詞-каш 形にします。

以下の接辞を動詞語幹につけます。

動 詞 語 幹 の 最 後 の 音	動 詞 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 音	軟 音
無 声 子 音	-каш	-кеш
有 声 子 音 母 音	-гаш	-геш

例) көргөш (見てから), манааш (待ってから), чангаш (帰ってから)

接辞 -гаш // -геш を母音で終わる動詞の多音節語幹につけると、接辞最初の г は二つの母音に挟まれることになり脱落します。その結果、二つの短母音は一つの開口長母音になります。

例) мана^а (待つ) + -гаш → манагаш → манааш

бизи^а (書く) + -геш → бизигеш → бижиеш → бизээш

ただし、語幹が дужаа^а (提出する) のように а が二つ並んだ場合は、接辞 -гаш // -геш をつけても接辞最初の г は脱落しません。

練習問題 次の動詞を副動詞-каш 形にしましょう。

алыр, эгелээр, шайлаар, чоруур, хүрежир, хонар, уштур, номчуур

例文

Чангаш келген. [彼は]家に帰った後、やって来た。

Мен хлеб садыынче баргаш кээр мен. 私はパン屋に行ってきます。

Байлактың эжи-биле дугурушкаш, чоруй барган мен.

Байラクの友人と話をつけた後、私は出発した。

Чаашкын хүнзедир чаггаш, кежээ аяскан.

雨が一日中降った後、夕方になって晴れた

Номчааш, домактарны мынчаар бөлүктөп айтыңар.

読んでから、文章を以下のように分類しなさい。

練習問題 よく使う表現です。文章をつくってみましょう。

алгаш баар (持っていく), баргаш кээр (行って来る)

読み物

Шай

Шай — өг-бүлеге хүндүлүг чөм. Өггө келген улуг-даа, бичии-даа кижиге тыва чон бир дугаарында-ла шайын кудар.

Шаанда тывалар шай кылдыр шеңне дазылын, хадың чекпезин, ыт-кадын, черлик-шайны чыып алыр чораан.

Шай хайны бээр. Ону сүттээш, бедидир он, чавызадыр он катап саарар. Шайның үстүн чашкаш, хөнекке кудар. Баштай бодунуң аяанга кудуп алыр. Аас-кежиин арттырып алыры ол.

«Сылдысчыгаш» солундан

Алдын-оол А.А. *Бодуң номчу - бир классчыларга* -, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1999 ар. 60-61

Малчын боор мен.

- Оглум! Сен улгадып келгеш, акың ышкаш, чолаачы болур сен бе?
 - Чок, авай.
 - Кым болур сен ынчаш?
 - Кым болур деп мен, тып көрөм, авай?
 - Эмчи?
 - Чо-ок.
 - Ынчаарга тракторист? — Бажын чайган.
 - Башкы?
 - Тыппадың, авай. Чугаалап берейн бе?
- Авазы чөпшээрешкен.
- Ачам ышкаш малчын боор мен.

А. Шоюннуу-биле

Алдын-оол А.А. *Бодуң номчу - бир классчыларга* -, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1999 ар. 43

新出単語

ужурлуг	～しなければならぬ	херек	～する必要がある
соңга	窓	хаар(хаг [°])	閉める
кичээнгей	注意	салыр(сал [°])	置く
кичээнгей салыр	注意を向ける	кичээнгейлиг	注意深い ; 注意深く
дужаар(дужаа [°])	提出する, 渡す	дугуржур(дугуруш [°])	合意する чоруй
баар	出発する, 出かける	хүнзедир	一日中

аязыр(аяс [°])	(天气が) 晴れる	мынчаар	このように
бөлүктээр(бөлүкте [°])	分類する	хүндүлүг	尊敬すべき
шаанда	以前は	кылдыр	～として
шеңне	シャクヤク	дазыл	根
чекпе	キクラゲ (きのこ類)	ыт-кады	ヨーロッパノイバラ
черлик	野生の	хайныр(хайын [°])	(お湯などが) 沸く
сүттээр(сүтте [°])	乳を加える	бедидир	高く (するように)
чавызадыр	低くするように	катап	～回
үстү	上の部分, 表面		
саарар(саар [°])	(かき混ぜながら,	あるいは注ぎ移しながら)	冷ます
чажар(чаш [°])	撒く	хөнек	やかん
баштай	最初に	аяк	茶碗
арттырар(арттыр [°])	残す	боор	болур と同じ
улгадыр(улгат [°])	大きくなる	ышкаш	～のように
ынчаш	疑問文を強調する助詞	ынчаарга	一方で
тракторист	トラクター運転手	чаяр(чай [°])	(頭などを) 振る
чөпшээрешир(чөпшээреш [°])	お互い同意する		

第 19 課 Он тос дугаар кичээл

「痛い」の表現

動詞 **аарыыр** (**аары**) を使います。「～ (誰々) は～ (身体の部位) が痛い (痛かった)」をあらわす構文は以下のようにしてあらわします。

現在 : 名詞・所有代名詞の属格 + 身体の部位 (+ 所有接辞) + **аарып тур.**

現在 : 名詞・所有代名詞の属格 + 身体の部位 (+ 所有接辞) + **аарып турар.**

過去 : 名詞・所有代名詞の属格 + 身体の部位 (+ 所有接辞) + **аарып турду.**

過去 : 名詞・所有代名詞の属格 + 身体の部位 (+ 所有接辞) + **аарып турган.**

否定形は , **аарып** を **аарывайн** にします。

また, 完了や開始・着手をあらわす助動詞 **бээр** を使って「痛くなる (痛くなかった)」をあらわすことができます。

名詞・所有代名詞の属格 + 身体の部位 (+ 所有接辞) + **аарый бээр.**

名詞・所有代名詞の属格 + 身体の部位 (+ 所有接辞) + **аарый берди.**

名詞・所有代名詞の属格 + 身体の部位 (+ 所有接辞) + **аарый берген.**

例文

Мээң бажым аарып тур.

私は頭が痛い。

Мээң диштерим аарый берди.

歯が痛みだした。

Чүң аарып тур ?

君はどこが痛いの ?

Чүңер аарып тур ?

あなたはどこが痛いの ?

Дижің аарып тур бе ?

君は歯が痛いの ?

身体の名称					
頭	баш	目	карак	口	аас
鼻	думчук	耳	кулак	齒	диш
のど	боостaa	手	хол	肘	шенек
足	бут	膝	дискек	お腹	ижин
背中	оорга				

練習問題 上記の語句を参照して、「痛い」の表現を練習してみましょう。

疑間接辞 -[ы]л

疑問詞 (それが格変化をしてもかまいませんが) をともなう疑問文のなかで, 述語となる動詞が現在未来形 (第 7 課参照) か過去形② (第 10 課参照) のとき, あるいは動詞 **бар** のとき, その動詞の末尾に疑間接辞 **-ыл, -ул, -ил,**

-үл をつけることがあります.

例文

Пингвин кайыын чемни тып чиирил?

ペンギンはどこから食べ物を見つけて食べるの？

Бо чурукта чылдың кайы үезин көргүскенил?

この絵は1年のどの季節をあらわしていますか？

Каш домак барыл? いくつ文章がありますか？

疑問接辞 -ыл (とその発音上のバリエーション) は、疑問文の述語をなす他の品詞 (たとえば名詞や形容詞) に、疑問詞にもつけることができます.

例文

Бо кымыл? こちらは誰ですか？

Бо амытанның чүзү үнелигил? この動物の何に価値あるのですか？

副動詞 -п 形 + билир 「～できる (能力)」の構文

動詞 билир 「知っている」を用いて「～することができる」という能力をあらわすことができます.

構文の形は、副動詞 -п 形 + билир となります.

例文

Мен тывалап билир мен.

私はトゥヴァ語が話せます.

Силер эштип билир силер бе?

あなたは泳ぐことができますか？

Мен арага ижип билбес мен.

私はお酒が飲めません.

読み物

Эмчиде

- Экии, эмчи!
- Экии! Сандайга олур. Сээң чүң аарып тур, дуңмам?
- Бажым аарып, чөдүрүп тур мен, эмчи.
- Боостааң аарып тур бе?
- Чок.
- Грипптей берген-дир сен. Эмнер бижип берейн. Эки эмненир сен.
- Четтирдим, эмчи!

Селиверстова Г.М., Базыр Г.С., Сюрюн-оол В.В. *Өңүктөр 5*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 2002 ар. 67

Таныжып алыңар! Бо мээң өг-бүлөм-дир
Эрткен кичээлде мен силерниң-биле таныжып алдым. Ам мен силерни

бодумнуң өг-бүлөм-биле таныштырайн.

Бо мээң авам-дыр. Ооң адын Полина Сергеевна дээр. Ол кым-дыр, уруглар? Чурукту көргөш, чугаалаңар.

Бо дээрге мээң дуңмам-дыр. Ооң адын Маша дээр. Ол өөреникчи. Маша үшкү класста өөренип турар. Маша бистиң ыдывысты агаарладып чор. Бистиң ыдывыс – пудель. Ооң адын Артемон дээр. Артемон – угаанныг ыт. Ол команда аайы-биле өрү шурап болгаш танцылап билир.

Селиверстова Г.М., Базыр Г.С., Сюрюн-оол В.В. *Өңнүктөр 5*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 2002 ар. 5

新出単語

аарыыр(аары [°])	痛む	баш	頭
карак	目	аас	口
думчук	鼻	кулак	耳
боостаа	のど	шенек	肘
бут	足	дискек	膝
ижин	お腹 ; 中	оорга	背中
амытан	動物	үнелиг	価値のある
арага	乳酒 ; お酒	сандай	椅子
чөдүрер(чөдүр [°])	咳がでる		
грипптээр(грипте [°])	インフルエンザにかかる		
эрттер(эрт [°])	過ぎる, 経過する ; 通る		
таныштырар(таныштыр [°])	紹介する, 知り合わせる		
пудель	プードル (犬)	угаанныг	賢い
команда	命令, 指令	өрү	上へ
аайы-биле	～に合わせて, ～に従って		
шураар(шура [°])	跳ぶ, ジャンプする	танцылаар(танцыла [°])	踊る

第 20 課 Чээрби дугаар кичээл

副動詞 -кала 形

この副動詞は後に続く動詞によってあらわされる他の行為が始まるその前に終了した行為をあらわします。「～してから、～するやいなや」と訳すとよいです.. また、文脈によっては「～した時から、～した日から、～した瞬間から、～するとともに」などの意味にもなります。

この接辞は以下の接辞をつけてつくりませんが、否定形はありません。

疑問形は、**Канчангала?** (何をしてから?), **Кажандан бээр?** (いつから?) を使います。

副動詞 -кала 形の接辞

動 詞 語 幹 の 最 後 の 音	動 詞 の 最 終 音 節 の 母 音	
	硬 音	軟 音
無 声 子 音	-кала	-келе
有 声 子 音 母 音	-гала	-геле

例) **аткала** (撃ってから), **кескеле** (切ってから)

接辞 **-гала** // **-геле** を母音で終わる動詞の多音節語幹につけると、接辞最初の **г** は二つの母音に挟まれることになり脱落します。その結果、二つの短母音は一つの開口長母音になります。

例) **уду**[°] (寝る) + **-гала** → **удугала** → **удуала** → **удаала**

диицне[°] (リス狩りをする) + **-геле** → **диицнегеле**

→ **диицнееле** → **диинцээле**

ただし、多音節語幹の末尾が長母音 (二つの母音で終わる) のときは、接辞最初の **г** は脱落しません。

例) **дужаа**[°] (渡す, 提出する) + **-гала** → **дужаагала**

アクセントは **-гала** // **-геле** にあります。

場所は与格であらわします。

練習問題 次の動詞を副動詞 **-кала** 形にしましょう。

келир, баар, үнер, эгелээр, кирер, чаар, ээр, доозар

例文

Ачам Кызыл баргала, үш хонуп тур.

父がクズルに行ってから 3 日経った。

Университетке өөренип киргеле, ийи чыл эрткен.

大学に入学してから2年が過ぎた。

Чай дүшкеле, ышкам хүннер туруп тур.

夏が到来してから、蒸し暑い日々が続いている。

練習問題 次の日本語をトゥヴァ語にしましょう。

1) 新しい仕事に就いてから、一ヵ月過ぎた。 2) 授業が始まってから20分経った。 3) 学校を卒業してから、おもしろい本を読まなかった(読んでいない)。 4) 夏休みが始まってから、私は兄に会っていない。

後置詞と格

主に後置詞は位置や時間関係をあらわす名詞に3人称所有接辞がつき、その後には格変化接辞(位格や与格, 奪格, 方向格)がついて形成されています。しかも, 3人称所有接辞がついた名詞に格変化接辞がつくときは, あいだに **н** がはいります。

以下によく用いる後置詞をあげます。これらの後置詞は3人称所有接辞がついている形ですので, 普通名詞(単数形でも複数形でも)が前にくる場合(「~の」), 後置詞は表に載っている形をそのまま使用すればよいです。

後置詞	前につく名詞の格要求	意味
与格 га は場所(~で), 方向(~に) 位格 да は場所(~で)		
иштинге, иштинде	属格	~の中で(に) өг иштинде (天幕の中で)
кырынга, кырында	属格	~の上に ыяштың кырында (木の上で)
адаанга, адаанда	属格	~の下に ыяштың адаанда (木の下に)
мурнунга, мурнунда	属格	~の前に садыгның мурнунда (店の前に)
соонга, соонда	属格	~後ろで(空間), ~の後で(時間) кичээл соонда (授業後に)
артынга, артында	属格	~の向こう側で даг артында (山の向こうに)
ындынга, ындында	属格	~の向こう側で, あちら側に ыяш ындында (木の向こう側に)
кыдыынга, кыдыында	属格	~の端に суур кыдыында (村のはずれに)
чанынга, чанында	属格	~の近くに бажың чанында (家の近くに)
аразынга, аразында	属格	~の間に ыяш аразында (木々の間に)
дужунга, дужунда	属格	~の反対側に, ~の向かい側に

		бaжыңның дужунда (家の向かい側に)
ажыр *	対 格	~を越えて даг ажыр (山を越えて)
ачызында	属 格	~のおかげで акымның ачызында (兄のおかげで)
уржуунда (уржуу-биле)	属 格	~の理由で чаъс уржуунда (雨のせいで)
- биле *	属 格	~と一緒に авам-биле (母と一緒に)
дугайында	属 格	~について ном дугайында (本について)
эгезинде	属 格	~のはじめに сес ай эгезинде (8月の初めに)
сөөлүнге, сөөлүнде	属 格	~の終わり頃に кичээл сөөлүнде (授業の終わりに)
дээр *	与 格	~まで (時間) кежээге дээр (夕方まで)
чедир *	与 格	~まで (時間), ~まで (空間) хоорайга чедир (町まで)

前につく名詞が人称代名詞の場合は **мээң** (私の) や **сээң** (君の), **бистиң** (私たちの), **силерниң** (あなたがたの) となり, 所有接辞はそれぞれの人称にしたがう形となって格変化接辞をつけることになります. 上記表の*の後置詞は名詞から形成されたものではないので後置詞に所有接辞はつきません.

例) **мээң адаамда** (私の下に), **силерниң чаныңарда** (君の近くに)

練習問題 部屋や家, 教室の中にあるものの配置を言ってみましょう.

読み物

Мээң суурум

Бистиң чавыт куу бажыңывыс суур кыдыынга турган чүве. Алдыы талазында делгем шөлдер херлип-шөйлүп чоруй барган. Мурнуу талазында арга-арыглыг. Арыг ындында бедик чалым хая бар. Ону улус Кара-Туруг дээр, ады-ла ол. Шынап-ла дүрзүгүр кара туруг-ла болгай. Ооң баарында чодураалыг арыг бар. Арыг кыдыында хем агып чыдар. Кара-Туругнуң бажыңдан харап көөрге, суур чараш-ла ийин!

Э. Кечил-оолдуу-биле

Алдын-оол А.А. *Диктантылар болгааш эдертиглер чыындызы*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1998 ар. 84

新出単語

канчаныр(канчан [°])	どのようにする	кажан	いつ
бээр	～から	адар(ат [°])	撃つ
кезер(кес [°])	切る	дииннээр(диинне [°])	リス狩りをする
доозар(доос [°])	終える	чай	夏
чайгы	夏の	дыштанылга	休み, 休暇
өг	天幕	кыры	上, 表面
адак	下	мурну	前, 前部
соң	後ろ, 後部	арты	向こう側
ынды	あちら側	чан	近辺, 近く
ара	間, あいだ	душ	場所
ажыр	～を越えて	ачы	援助, 恩恵
уржук	理由	дугайы	～について
эге	はじめ	сөөлү	終わり
дээр	～まで	чедир	～まで
чавыт	低い	алдыы	下の
тала	側	делгем	広い
херлир(херил [°])	広がる	шөйлүр(шөйлүл [°])	広がる
мурнуу	南の	арга-арыглыг	森のある
чалым	断崖絶壁	хая	崖
туруг	切り立った崖	шынап-ла	本当に
дүрзүгүр	陰気な	баары	前, 前部
чодураалыг	ウワヅミサクラの生えた	ийин	～だよ(20)

第 2 1 課 Чээрби бир дугаар кичээл

条件法（もし～ならば）

「(もし) ～ならば」をあらわすには、動詞の語幹に以下の接辞をつけてつくり
ます。

人 称	数	動詞語幹の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音			
			а, ы	э (е), и	о, у	ө, ү
1	単	無声子音	-сымза	-симзе	-сумза	-сүмзе
		有声子音 母 音	-зымза	-зимзе	-зумза	-зүмзе
2	單	無声子音	-сыңза	-сиңзе	-суңза	-сүңзе
		有声子音 母 音	-зыңза	-зиңзе	-зуңза	-зүңзе
3	數	無声子音	-са	-се	-са	-се
		有声子音 母 音	-за	-зе	-за	-зе
1	複	無声子音	-сывысса	-сивиссе	-сувусса	-сүвүссе
		有声子音 母 音	-зывысса	-зивиссе	-зувусса	-зүвүссе
2	單	無声子音	-сыңарза	-сиңерзе	-суңарза	-сүңерзе
		有声子音 母 音	-зыңарза	-зиңерзе	-зуңарза	-зүңерзе
3	數	無声子音	-са	-се	-са	-се
		有声子音 母 音	-за	-зе	-за	-зе

条件法の時制は、形動詞と動詞 бол^о（～である）の条件法形を組み合わせて
つくります。

過去：形動詞完了 -ган 形（否定形は -паан） + бол^о（条件法形）

未来：形動詞現在未来形 -ар 形（否定形は -пас） + бол^о（条件法形）

現在（今から起こる未来を含めて）：

動詞の語幹（否定形は動詞語幹に否定接辞 -па） + 条件法形

形容詞，名詞の場合は動詞 болур を使います。

「もし」という意味の接続語として，条件節の文頭に бир звец をつけること
がよくあります。

練習問題 次の動詞を条件法の形にしましょう。

келир, баар, көргүзөр, манаар, ижер, кирер, чаар, бээр, долгаар

例文

Билир болзуңарза, чугаалаңар.

知っていたら教えてください。

Бир эвес чаъс чаап келзе, мен бажыңче ээп кээр мен.

もし雨が降って来たなら、私は家に戻ってきます。

練習問題

1) もし雪が降るなら、家にいます。2) もしあなたが手伝ってくれるなら、私たちはこの仕事を終えることができます。3) 君はこの薬を飲むならよいだろう。4) 明日晴れなら、森にベリー摘みに行きます。5) 澄んだ空気を吸ったならなあ。

仮定法

仮定法は以下のようにしてつくります。

もし～なら (条件節)	～だろうに, ～したのに (主文)
条件法	
-зымза,	+ -ар ийик(-арык) ... 肯定形
(Бир эвес) ... -зыңза, ...	+ -бас ийик(-базык) ... 否定形
-за,	

主文の時制は条件節のなかの条件法の形によって決まります。

例文

Келзиңзе, амыраар ийик мен.

君が来るのなら、私はうれしいのだが.... : 現在

Келген болзуңза, амыраар ийик мен.

あなたが来たのなら、私はうれしかったのだが.... : 過去

Күзээр болзуңарза, чалаар ийик мен.

もしあなたが望むなら、私は招待するのに. : 現在未来

読み物

Кым болурул?

Кым болурул? Башкы бе? Эмчи бе? Ужудукчу бе? Чүнү кылза чонга ажыктыгыл? Бо айтырыглар школаны доозуп турар өөреникчи бүрүзүнүң мурнунга салдынар.

Эртемнер хөй. Күзээнин шилип ап болур. Ынчалза-даа күзелим бар дээш, күш четпезинче чүткүвө! Ажылга быжыг мергежил база херек. Бир дугаарында билиг-ле чепсегленир. Ол чок болза, бурунгаарлап шыдавас.

Алдын-оол А.А. *Диктантылар болгаш эдертиглер чыындызы*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1998 ар. 89

Өөреникчиге

Эргим өңүктөр! Өөрөдилгеңерге байыр чедирип олур мен. Сээң мурнуңда улуг сорулга бар. Эң-не кол чүвө – номчуур, бижиир, санаар кылдыр өөренири болур. Бүгү кижилер үжүктөрдөн эгелеп өөрөнгөн.

Сен чүгле өөрөдилгеге эвес, а найыралга база өөренир ужурлуг сен.

Ынчан клазың бүдүн коллектив болу бээр. Бир эвес бергелерге таваржы берзиңерзе, коллектив сеңээ дузалаар. Өөрүңнүң эки эш болур. Сеңээ бүгү чедиишкиннерни күзөдөм!

Ю. Гагарин

Симчит К.Д. *Төрзэн чугаа – Эге школаның 2-ги клазыңга номчулга ному*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 2000 ар. 112

新出単語

шыдаар(шыда [°])	～できる (可能)	ийик	～だろうに
амыраар(амыра [°])	喜ぶ	ужудукчу	パイロット
ажыктыг	有益な, 役にたつ	бүрү	すべての
эртем	学問	шилиир(шили [°])	選ぶ
күзел	希望, 望み	чүткүүр(чүткү [°])	志向する
быжыг	強固な, 頑丈な	мергежил	訓練, 練習; 技, 熟練
билиг	知識	өңүк	友人, 友だち
чепсегленир(чепсеглен [°])	武装する, 装備する		
бурунгаарлаар(бурунгаарла [°])	前に進む, 前進する		
сорулга	目的	санаар(сана [°])	数える, 計算する
үжүк	文字	чүгле	ただ, ～だけ
найырал	友情, 友好	ынчан	そのとき, 当時; その際
бүдүн	まるごとの, 全体の	коллектив	集団
берге	困難な; 難しい	таваржыр(таварыш [°])	遭遇する
чедиишкин	成功		

第 2 2 課 Чээрби ийи дугаар кичээл

感嘆文

感嘆文のつくり方はいくつかの方法がありますが、以下に挙げておきます。

① 名詞（形容詞や副詞，動詞は名詞化して）を対格にする方法

属格（意味上の主語）＋ 名詞	＋	対格（代名詞の対格）		
属格（意味上の主語）＋ 動詞	＋	所有接辞	＋	対格
属格（意味上の主語）＋ 形容詞	＋	所有接辞	＋	対格
属格（意味上の主語）＋ 副詞	＋	所有接辞	＋	対格

形容詞や副詞，動詞を名詞化するとき3人称所有接辞をつけた場合は，対格接辞は **н** をつけるだけでかまいません。

少し語尾を伸ばして発音します。

例文

Мээң суксаарымны!	ああ，のどが渴いた！
Чаражын!	きれいだなあ！
Чүдээн!	みっともないなあ！

練習問題 次の単語を感嘆文の形にしましょう。

кончуг, изиг, соок, эки, аштаар

② 疑問詞を使う方法

名詞の対格・形容詞の名詞化形＋対格＋**канчаар!**

(～といたらどれほどだろう！なんて～なんだろう！)

Кандыг ＋ 名詞 ＋ **чок дээр боор!**

(いかなる～もないといえようか！，なんでもある，どんな～でもある)

文章・名詞対格 ＋ **канчп** ＋ 動詞否定形 ＋ **боор!**

(～[である]ことをどうして～しないだろうか！)

名詞(＋所有接辞)・動詞の名詞化形＋対格 ＋ **чүү**(様々な格) **дээр!**

(～はなんという～なことだろうか！)

名詞(＋所有接辞)・動詞の名詞化形＋対格 ＋ **чүү**(様々な格) **дээр ону!**

(～はなんという～なことだろうか！)

例文

Тожуда кандыг аңнар чок дээр боор!

トージュにいかなる獣がないといえようか！

Ногаа шөлүнге чеде бээримге, кижиниң хөйүн чүү дээр!

野菜畑に出てみると，なんて人が多いんだろう！

譲歩

条件法（第21課）と助詞 **-даа** とを組み合わせることによって、譲歩（～としても、～だけれども）の意味になります。

肯定形 **кыл⁺**（する）

人 称	単 数	複 数
1	кылзымза-даа	кылзывысса-даа
2	кылзыңза-даа	кылзыңарза-даа
3	кылза-даа	кылза-даа

否定形 **кыл⁻**（する）

人 称	単 数	複 数
1	кылбазымза-даа	кылбазывысса-даа
2	кылбазыңза-даа	кылбазыңарза-даа
3	кылбаза-даа	кылбаза-даа

時制は形動詞（現在未来形と過去形②）と助動詞 **бол⁺** の条件法形そして助詞 **-даа** の組み合わせによってあらわされます。

助詞 **-даа** は形動詞につけても、助動詞 **бол⁺** の条件法につけてもどちらでもかまいません。

例) келген-даа болзумза（私は来たけれども）

келген болзумза-даа（私は来たけれども）

келир-даа болзумза（私が来るとしても）

келир болзумза-даа（私が来るとしても）

Японияга он ай бурунгаар келзимзе-даа(келген болзумза-даа),
дылды ам-даа өөренип албадым.

（私は日本に10ヵ月前に来たにもかかわらず、いまだ言葉を習得していない。）

Бо номну номчуп турган-даа болзумза(номчаан болзумза-даа),
ооң утказын ам-даа билбес мен.

（私はこの本を読んだけれども、その言わんとしている意味がいまだに分からない。）

助詞 **-даа** が形動詞や名詞、形容詞についている場合、**бол⁺** の条件法形は短縮形 **бол** になることもあります。

例文

Даг бедик-даа бол, буургаар;

Далай терең-даа бол, кургаар.

山は高しといえど、粉々になることもある、
海は深しといえど、乾ききることもある。(諺)

練習問題 次の日本語をトゥヴァ語にしましょう。

- 1) 雨が降っても、私は行きます。 2) バスが来なくても、歩いて行きます。
- 3) あなたが切符をくれなくても、私は買います。 4) 彼らがこの仕事をしなくても、私がします。

読み物

Баштайгы хар

Соой берзе-даа хар чагбаан. Черниң, хемниң болгаш хөөлбектерниң кыры шагда-ла доңган. Оон чоорту дээр бүргеп, чылып келген.

Баштайгы харның келгени ол. Шынап-ла кежээликтей кодан-майыктап эгелээн. Хөвең ышкаш харлар доңган черни шуглап туруп бээр. Чагган харже көөрге, чараш-ла чүве! Чамдыкта шала шавыштыр бадар. Оон хенертен саң дорт бадып эгелээр.

С. Кунаа

Симчит К.Д. *Төрзэн чугаа – Эге школаның 2-ги клазынга номчулга ному*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 2000 ар. 55

Байыр-биле

Лагерьеде үш хондум. Лагерьниң турар чериниң чаражын! Сен көрген болзуңза аар! Кедээзинде калбак эзим, адаанда алдын хөл. Сен кайнаар баар деп тур сен? Маңаа чедип келзинче кандыгыл? Хөлдүң балыының хөйүн канчаар сен ону! Сыырткыыштан белеткеп ал. Дүүн эштип турдувус.

Дыка-ла эштир оолдар бар-дыр. Дүрген-не чедип кел. Байырлыг!

Алдын-оол А.А. *Диктантылар болгаш эдертиглер чыындызы*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1998 ар. 91

新出単語

суксаар(сукса [°])	のどが渴く	чүдек	みっともない
аштаар(ашта [°])	お腹が減る	канчаар	どのようにする
Тожу	トージュ地方 (トゥヴァ北東部)		
боор	～だろう	бурунгаар	～前に
утка	意味	-даа	～できえ
буургаар(буурга [°])	粉々になる	терең	深い

кургаар(курга ^ᠰ)	乾く	чадаг	歩いて
баштайгы	最初の	соор(соо ^ᠰ)	冷える, 寒くなる
хөөлбек	池, 貯水池	шагда	以前に
чоорту	次第に, だんだんと	дээр	空
бүргээр(бүрге ^ᠰ)	曇る	чылыыр(чылы ^ᠰ)	暖かくなる
кежээликтей	夕方頃に		
кодан-майыктаар(кодан-майыкта ^ᠰ)	(綿毛のような雪が) 降る		
хөвөң	綿	шала	少し
шавыштыр	斜めに	бадар(бат ^ᠰ)	下りる ; 降る
хенертен	突然	саң дорт	まったく
дорт	まっすぐに ; 直接の	кедээзінде	あちらの丘陵地に
аар	(文末において) なんて~なんだろう !		
калбак	広い	эзим	森林
алдын	金色の	балык	魚
сыырткыыш	釣り竿	белеткээр(белетке ^ᠰ)	準備する

第 2 3 課 Чээрби үш дугаар кичээл

副動詞 -пышаан 形

副動詞 -пышаан 形は, 後に続く動詞によってあらわされる他の行為と並行して行われている行為「～しながら, ～と同時に」をあらわします.

必ず主文の動詞は肯定形でないといけません.

以下の接辞を動詞の語幹につけてつくりますが, この接辞には否定形はありません.

副動詞 -пышаан 形の接辞

動詞語幹の 最後の音	語 幹 の 最 終 音 節 の 母 音			
	а, ы	э (е), и	о, у	ө, ү
無声子音	-пышаан	-пишаан	-пушаан	-пүшаан
母 音	-вышаан	-вишаан	-вушаан	-вүшаан
-л, -р, -й, -г	-бышаан	-бишаан	-бушаан	-бүшаан
-м, -н, -ң	-мышаан	-мишаан	-мушаан	-мүшаан

例) ажылдавышаан (働きながら), чунмушаан (洗いながら)

アクセントは, -пышаан にあります.

練習問題 次の動詞を副動詞 -пышаан 形にしましょう.

удуур, ырлаар, көргүзер, маңнаар, эмер, бжиир, өөренир, ажыдар

例文

Номчувушаан бжип олурган мен.

私は読みながら書いていた.

Ачам солунун номчувушаан, чемненип олурган.

私のお父さんは新聞を読みながら, ご飯を食べていた.

Тывызыкты тыппышаан, кыдыраажыңарга бжип алыңар.

なぞなぞを解きながら, ノートに書きなさい.

再帰態

主体の動作が自分自身に向けられることを意味する再帰動詞は、動詞語幹に以下の接辞をつけてつくられます。

接辞①

動詞語幹 の最後の音	動 詞 の 最 終 音 節 の 母 音			
	а, ы	э (е), и	о, у	ө, ү
子 音	-ын	-ин	-ун	-үн
母 音	-н			

例) **бодан**[°] (自分自身よく考えてみる),

この接辞から形成した再帰動詞の意味を補完するため、**бодун**「自分自身を；3人称所有接辞；対格」がよくいっしょに用いられます。

人（活動体）が主語になる動詞（自分自身に及ぶ行為や自分のためにする行為）はこの接辞から再帰動詞がよく形成されます。

接辞②

動詞語幹 の最後の音	動 詞 の 最 終 音 節 の 母 音			
	а, ы	э (е), и	о, у	ө, ү
無声子音	-тын	-тин	-тун	-түн
有声子音 (鳴子音 р, л)	-дын	-дин	-дун	-дүн

例) **кастын**[°] (掘り返す),

練習問題 次の動詞を再帰態にしましょう。

接辞① …белеткээр, чуур, шуглаар, чемнээр

接辞② …кедер

読み物

Номчунар. Дорт чугааларны болгаш авторнуң сөстөрүн айтыңар. Дүжүрүп биживишаан, салдынмаан бижик демдектерин салыңар. Дорт чугааларның адаан шыйыңар.

Биче-оол М.Д., Монгуш М.В., Бавуу-Сюрюн М.В., Ойдан-оол А.К. *Тыва дыл 8-9*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 2001 ар. 41

新出単語

маңнаар(маңна[°]) 走る

эмер(эм[°]) 乳を吸う

белеткенир(белеткен[°])準備する

шуглаар(шугла[°]) 覆う

шугланыр(шуглан [°])	覆う	чемнээр(чемне [°])	食物を探す
чемненир(чемнен [°])	食事をとる	тывызык	なぞなぞ
кастынар(кастын [°])	掘られる	кеттинер(кеттин [°])	服を着る
автор	著者	салдынар(салдын [°])	置かれる
дүжүрер(дүжүр [°])	(荷物を)降ろす ; 打倒する		
дүжүрүп бижиир	書き出す	бижик	文字
демдек	印, 記号	шыяр(шый [°])	線を引く

第 2 4 課 Чээрби дөрт дугаар кичээл

完了相

行為の完成・完遂（～してしまう，～し終える）をあらわす形は，助動詞 **бээр** を用いる（第 1 3 課参照）ほかに，接辞を動詞語幹につける方法があります。

完了相を形成する接辞

動詞の最後の音	動詞の最終音節の母音	
	硬音	軟音
無声子音	-ЫВЫТ, -УВУТ	-ИВИТ, -ҮВҮТ
有声子音 母音	-ВЫТ, -ВУТ	-ВИТ, -ВҮТ

例) **биживит=**（書き終える，書いてしまう）

この完了相の接辞に，現在未来形（第 7 課参照）や過去形①（第 8 課参照），過去形②（第 1 0 課参照），条件法（第 2 1 課参照）の接辞がつくと，接辞中の **-ЫТ** の部分が脱落し，副動詞 **-п** 形に現在未来形などそれぞれの接辞がついた形となることが多いです。未来形では **-птар**，**-птер** となります。

例) **биживиткен** > **бижи^пкен**（形動詞完了；書いてしまった）

биживиттер > **бижи^птер**（形動詞現在未来；書いてしまう）

биживитти > **бижи^пти**（過去形①；書いてしまった）

биживитсе > **бижи^псе**（条件法；書いてしまうなら）

同様に，この完了相接辞に命令形の二人称複数接辞がつくと，**-ВЫТ-**，**-ВУТ**，**-ВИТ-**，**-ВҮТ** は **-пт-** となり，命令形は **-птыңар**，**-птиңер** となります。

例) **Мана^птыңарам**.（待ってください。） < **манавытыңарам**

完了相接辞がついた動詞命令形の二人称単数形は，語幹のままです。

例) **Биживит**.（書きなさい。）

練習問題 次の動詞を完了相にしましょう（過去形，未来形で）。

чоруур, кылыр, турар, каар, мунар

例文

Эртенги шалың терең оьтту шыпкан. 深い草が朝露でおおわれた。

Эртен эрте бисти машиналарның даажы оттурупкан.

朝早く車の騒音によって私たちは起こされた。

読み物

Агаарлаашкын

Дыштаныр хүннү арыг агаарга эрттирер деп дугурушкан бис. Субботада Дөргүн-Арыгже чорупкан бис. Кежээ одаг кыпсып алдывыс. Ыр ырлап, шүлүк чугаалаар уруглар хөй болган. Дүн дүшкен. Долгандыр кара эзим. Орайтай бергенде, майгынывыска удуй берген бис. Шимээн читкен. Майгын чоогунда ыяшта сыгырга эде берген.

Алдын-оол А.А. *Диктантылар болгаш эдертиглер чыындызы*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1998 ар. 75

Чаа бажың

Ачам чаа бажың алган. Көжер машина чедип келген. Баштай орун, сандай, шкаф, хааржактарны чүдүрүпкен. Аяк-саваны эптиг суп алган бис. Мен угбам-биле аяктарны, стаканнарны саазынга ораап каан бис. Чуруктарны, көрүнчүктү база чүдүрүптү. Дуңмам Рая ном, кыдырааш, карандаш тудуп алган.

Ам шупту белен. Машина чорупкан. Байырлыг, эрги бажыңывыс! Чаа чурттакчылар-биле мендилештивис.

Алдын-оол А.А. *Диктантылар болгаш эдертиглер чыындызы*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1998 ар. 89

新出単語

каар(каг [°])	残す ; 去る ; 助動詞として完了相を形成する		
шалың	露	дааш	騒音
оттурар(оттур [°])	起こす	агаарлаашкын	散歩
суббота	土曜日	кыпсыр(кывыс [°])	(火を) 点ける
шүлүк	詩	долгандыр	周囲には
майгын	テント	шимээн	物音, 騒音
чидер(чит [°])	消える	чоогунда	～の近くに
эдер(эт [°])	鳴く	шкаф	食器棚
сыгырга	キガシラコウライウグイス	хааржак	箱
чүдүрер(чүдүр [°])	(荷物を) 積む	аяк-сава	食器
эптиг	快適に, 都合のよいように	сугар(сук [°])	中に入れる
стакан	コップ	саазын	紙
ораар(ораа [°])	包む, 巻く	көрүнчүк	鏡
чурттакчы	住民	мендилежир(мендилеш [°])	あいさつを交わす

第 2 5 課 Чээрби беш дугаар кичээл

律動相（リズム相）

律動相（リズム相）は、動作の適度な、頻繁に起きる（頻度の多い）動作の律動性、すなわち、リズムカルな動きをあらわします。意味によって2種類の接辞があります。

1) 適度な律動性（リズムカルな動き）をあらわす接辞

動詞の最後の音	動詞の最終音節の母音	
	硬音	軟音
子音	-ацна, -ыцна, -уцна	-еңне, -иңне, -үңне
母音	-цна	-ңне

例) кызацна[°]（きらきら輝く）、ажыцна[°]（ちくちくつねる）、
элеңне[°]（ゆらゆら揺れる）

2) 頻繁に起きる動作をあらわす接辞

動詞の最後の音	動詞の最終音節の母音	
	硬音	軟音
子音	-аңайын, -ыңайын, -уңайын	-еңейин, -иңейин, -үңейин
母音	-ңайын	-ңейин

例) кызаңайын[°]（何度も光り輝く）、ажыңайын[°]（何度もつねる）、
элеңейин[°]（何度も揺れる）

この律動相の接辞がついた動詞語幹に現在未来形、副動詞 -п 形の接辞をつけると、律動相接辞中の狭窄母音（ы, и, у, ү）は脱落します。

例) элеңейин[°] + -ир → элеңейинир → элеңейнир
элеңейин[°] + -ип → элеңейинип → элеңейнип

例文

Ыракта дээрде чаңнык кызаңайнып тур.
空の遠い向こうのほうで稲光が光っている。
Кудумчуда кижиге элеңейнип чоруп олур.
通りで人が身体を揺らしながら歩いている。

「～してもしきれない」の構文

動詞 ханар 「満足する」の否定形を用いて「～してもしきれない」という意味の構文をつくることができます。以下の形となります。

副動詞 -п 形 + ханмас

例文

Бо чечектиң чаражын магадап ханмас мен.

この花の美しさと言ったら感嘆してもしきれないほどだ。

Аргада ыяштарның чаагай чыдын тынып ханмас мен.

森の木々の気持ちいい匂いを吸いこんでもしきれないほどすばらしい。

練習問題 次の日本語をトゥヴァ語にしましょう。

1) 海の大きさと言ったら感嘆してもしきれない。 2) 日本の建物の美しさに驚かずにいられない。 3) このきれいな歌を聴いても聴きあきないほどすばらしい。 4) いちごのおいしさに食べても飽きないほどだ。

読み物

Арыгда

Суур артында арыг бар. Ол арыгда тал, терек, чодураа, хадың, шиви үнген. Изиг хүнде арыг иштиниң сериинин чүү дээр! Арыгның ортузунда оймак база бар. Ында честек-кат эңмежок. Янзы-бүрү чечектерни магадап ханмас. Оймактың кыдыында кара суг бар. Суг кыдыын дургаар инек-караа, кызыл-кат үнген. Дыштаныр хүнде суурнуң бүгү чурттакчылары ында турар. Алдын-оол А.А. Диктантылар болгаш эдертиглер чыындызы, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1998 ар. 72

新出単語

кызаңнаар(кызаңна[°]) きらきら輝く ажыңнаар(ажыңна[°]) ちくちくつねる
элеңнээр(элеңне[°]) ゆらゆら揺れる кызаңайныр(кызаңайын[°]) 何度も輝く
ажыңайныр(ажыңайын[°]) 何度もつねる
элеңейнир(элеңейин[°]) きらきら輝く

чаңнык 稲光

ханар(хан[°]) 満足する

магадаар(магада[°]) 感嘆する

чыт 匂い

кайгаар(кайга[°]) 感嘆する, 驚く

честек-кат いちご

тал ヤナギ

терек ドロヤナギ, ヤマナラシ, トーポリ

орту 真ん中

оймак 森の中の木のない場所

эңмежок	かなり多い	кара суг	泉
дургаар	～に沿って	кызыл-кат	アカフサスグリ (ベリ一類)
инек-караа	クロフサスグリ (ベリ一類)		

読み物

Төрөлдер

Бистиң бажыңывыс школа чанында турар. Авам школада башкылап турар. Ачам чолаачылап турар. Дуңмам беш дугаар класста өөренип турар. Акым институтта эртем ажылы кылып турар. Кырган-авам бис-биле кады чурттап орар. Күүйүм школада аштакчылап турар. Оларның бажыңы бистен ырак эвес. Төрөлдер мынчаар найыралдыг ажилдап, чурттап турар бис.

Алдын-оол А.А. *Диктантылар болгаш эдертиглер чыындызы*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1998 ар. 72-73

【新出単語】

төрөл	親戚	институт	研究所
чолаачылаар(чолаачыла [°])	運転手として働く		
күүй	おば (母の兄弟の妻)	орар(ор [°])	олуларと同じ
аштакчылаар(аштакчыла [°])	掃除婦として働く		
найыралдыг	仲良く ; 仲の良い		

Өрттү болдурбас

Бир-ле чазын болган чүве. Байлак-Арыг өрттени берген. Улуг хат хадаан. Өрт-даа кежээлеп барган. Ол ыяштарны-даа, аң, кушту-даа узуткап каапкан. Ам ол арыгны Өртең-Арыг дээр-ле болгай.

Өрт кывыскан кижиге тывылбаан. Арга-арыг иштинге серемчилелди кошкатпас херек. Одаанарны суг-биле өжүрүңер. Суг чок болза, өл доурак-биле өжүрүп болур. Арга-арыг - бистиң байлаавыс-тыр. Ону өрт айыылындан камгалаңар!

Алдын-оол А.А. *Диктантылар болгаш эдертиглер чыындызы*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1998 ар. 74

【新出単語】

өрт	火事	болдурар(болдур [°])	引き起こす
өрттенир(өрттен [°])	火事が起きる, 燃える		
кежээлээр(кежээле [°])	荒れ狂う	серемчилел	用心, 警戒心
узуткаар(узутка [°])	破壊する, 一掃する, 全滅させる		
кошкадыр(кошкат [°])	弱める	өжүрер(өжүр [°])	消す
өл	湿った	довурак	土
айыыл	危険	камгалаар(камгала [°])	守る

Номга ынак

Бижиктиг-Хая школазының дөрт дугаар клазында өөренип турар мен. Эки өөрениринге ном номчууру дузалаар деп бодаар мен.

Найырал дугайында номнар номчудум. Журналист Ооржактың чечен чугаалары дыка солун болду. Ол номну эжим Эртине бир хүн иштинде төндүрүпкен. Номга ынак болурун бүгү школачыларга сүмелээр-дир мен.

Алдын-оол А.А. *Диктантылар болгаш эдертиглер чыындызы*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1998 ар. 75

【新出単語】

чечен чугаа	短編小説	төндүрер(төндүр ^е)	終える
бүгү	すべての	школачы	学校の児童, 生徒

Хүн

Хүн черден кончуг ыракта турар. Ол бүгү бойдуска чылыгны, чырыкты берип турар. Чер кырында амыдыралдың чугулазы чүл? Хүн чок болза амыдырал чок. Чайгы изиг хүнде сугга эштирге эки-ле! Хүн кезээде-ле чырып болзун!

Алдын-оол А.А. *Диктантылар болгаш эдертиглер чыындызы*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1998 ар. 76

【新出単語】

амыдырал	生活	чугула	重要な
----------	----	--------	-----

Байырлал

Монгуш Маринаның эштери келген. Ол бөгүн сес харлаан. Байырлал болган. Кырган-авазы чигирзиг боорзак быжырган. Ачазы конфета, дузаан балык садып эккелген. Өөрү номнар белекке берген. Авазы столга чем салган. Уруглар дузалашкан. Оюн-оол, Саян, Зина ыр ырлаан.

Бичии чаштар дыка-ла хөглээн.

Алдын-оол А.А. *Диктантылар болгаш эдертиглер чыындызы*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1998 ар. 76

【新出単語】

харлаар(харла ^е)	～の年齢になる, ～歳になる		
чигирзиг	甘い	боорзак	小麦粉で作った揚げ菓子
быжыар(быжыр ^е)	揚げる, 焼く	конфета	キャンディー, チョコレート
дузаар(дуза ^е)	塩漬けにする	эксээр(эккел ^е)	持ってくる
садып эксээр	買って持ってくる	өөр	(集合) 友人たち

белек プレゼント хөглээр(хөглe°) 楽しむ

Араттың чугаазы

- Бис дөрт дугаар чыл араттап тур бис. Мооң мурнунда черле малчыннап чораан бис. Ам бодувуста 150 баш хой, 30 хире саар инек бар. Малывыс кышкы хүр ашты. 100 хураган камгалап алдывыс. Инектеривис шупту бызаалапкан.

Эрткен чылын бир хойдан 2440 грамм дүк кыргып алган бис. Бо чылын бир хойдан 2500-тү алдывыс. Сүдүвүстүң 50 литр хирезин суурнуң чонунга садып тур бис. Артканын чемге ажыглаар бис.

Уругларым үшкү, бешки, чедиги класстарда өөренип турарлар.

Алдын-оол А.А. *Диктантылар болгаш эдертиглер чыындызы*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1998 ар. 82

【新出単語】

араттаар(аратта°)	牧民生活をする	мооң	бо	の生格
мооң мурнунда	その前は	черле	まったく,	まるで
малчыннаар(малчынна°)	畜産を営む,	牧畜家として働く		
саар(саг°)	搾乳する	хураган	子ヒツジ	
шупту	すべて	бызаалаар(бызаала°)	子ウシを産む	
эрткен чылын	去年	грамм	グラム (g)	
кыргыыр(кыргы°)	(毛を)刈る	литр	リットル (l)	
артар(арт°)	残る	үшкү	3番目の	
бешки	5番目の	чедиги	7番目の	

Ыт кежээликтей харга андаштанырга, дээр чүдэрээр, чер казар болза, чаъс чаар.

Кыжын думчуун дүгүнүң аразынче суп алгаш, бөлдүнгеш чыдыптар болза, соор.

Эргил-оол И.Ч. *Тыва дыл 2*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1992 ар. 55

【新出単語】

андаштаныр(андаштан°)	ころがる	казар(кас°)	掘る
чүдэрээр(чүдере°)	(天氣が) 悪くなる		
аразынче	～のあいだへ		
бөлдүнер(бөлдүн°)	集まる,	一か所に集まる	

Бистиң хөй националдыг чуртувуста чон янзы-бүрү дылдар кырында чугаалажып турар. Оларның иштинден дыка хөй дылдарда солуннарны, номнарны парлап үндүрүп, радио болгаш телевидение дамчыдылгаларын чорудуп турар.

Тыва дыл – Тыва Республиканың күрүне дылы. Ооң бүгү тыва школаларында бодунуң төрээн тыва дылындан аңгыда, орус дылды база өөренип турар. Орус дыл Россияның күрүне дылы болур болгаш бүгү национал улустарның аразында харылзажыр дылы апарган.

Биче-оол М.Д., Бичелдей К.А. *Тыва дыл 5*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1995 ар. 4

【新出単語】

националдыг	民族の	парлаар(парла [°])	印刷する
радио	ラジオ	телевидение	テレビ放送
дамчыдылга	番組	чорудар(чорут [°])	行 ^う ; 送 ^る
республика	共和国	күрүне	国家
аңгыда	～以外に, ～のほかに	национал	民族
харылзажыр(харылзаш [°])		交流する ; 連絡をとる ; 関係をもつ	

Сугну изидерге, ол кончуг дүрген бусталып үне бээр. Каракка көзүлбес бус өрү көдүрлүп үнер. Соок чүүлге дегген соонда, ол бус база катап сугже шилчий бээр. Сугнуң дамдылары улгады бергеш, бот-боттарындан адырылгаш, чер кырынче дүжер. Сугнуң эргилдези ынчаар бооп турар.

Сугнуң эргилдези бойдуста база-ла болуп турар. Далайларның, хемнерниң, хөлдөрниң база хөрзүннүң кырындан суг бусталып, дээрже бедип үнүп турар. Чер кырындан бедээн тудум-на, агаар улам соок апаар. Бус агаарже бедип үнгеш, орта соой бээр болгаш сугнуң бичии дамдыларындан азы азарганчыг бичии тогланчы доштарже шилчий бээр. Ол дамдылар биле дошчугаштардан булуттар тыптып турар. Булуттар кедергей чиик, ынчангаш оларны хат дыка ырадыр хадып аппаар. Булуттардан суг чер кырынче чаъс база хар кылдыр дүжер.

Плешаков А.А. *Бойдус эртеми 3*, Кызыл, Тываның үндүрер чери, 1995 ар. 38-39

【新出単語】

изидер(изит [°])	温める, 暖める	бус	水蒸気
бусталыр(бустал [°])	蒸気がでる, 水蒸気になる		
чүүл	～なもの, こと	база катап	もう一度
шилчиир(шилчи [°])	変わる, 変化する		
дамды	滴	эргилде	循環

адырлыр(адырыл ^е)	(連結していたものが)	離れる	
ынчаар	そのように	хөрзүн	土壤, 地面, 土地
бедиир(беди ^е)	上る, 登る ; 高くなる, 上がる, 向上する		
тудум	~するにつれて	улам	ますます
орта	そこで, その場所で	азарганчыг	とても小さい, 細かい
тогланчы	小片, かけら	дошчугаш	дош (氷) の指小形
булут	雲	кедергей	極めて, 異常なほど
ырадыр	遠くに, 遠くのほうに		
аппаар(аппарат ^е)	持っていく, 連れていく, 運んでいく		

Бажың иштин аштагылап, аяк-саваны чуггулап кааш, телевизор көрүп чыткылаар мен. Оон кезек болгаш, туруп келгеш, ном номчугулап, бижиттинип олургулаар мен. Эштеримче телефон долгагылап, билдинмес чүүлдерни айтыргылап-даа алыр мен. Сөөлгү үеде кино көрбестээн мен. Удавас экзаменнер эгелээр. Ынчангаш үе чок, оларга шудургу белеткенип турар мен.

Монгуш Д.А., Куулар К.Б. *Тыва дыл 6-7*, Кызыл, Тываның үндүрер чери, 1995 ар. 69

【新出単語】

аштаар(ашта ^е)	掃除する, きれいにする		
бижиттинер(бижиттин ^е)	書き物をする, 何かを書く		
билдинмес	分からない, 知らない	айтырар(айтыр ^е)	質問する, 訊ねる
сөөлгү	最後の	сөөлгү үеде	最近
кино	映画	көрбестээр(көрбесте ^е)	見なくなる
удавас	まもなく, もうすぐ	экзамен	試験
шудургу	根気よく, 粘り強く, 熱心に ; 根気よい, 粘り強い, 熱心な		

単語索引

(カッコ内の数字は単語の初出の課, (発音) は巻頭の発音のページ, (読) は巻末の「読み物」をさします)

A

аажок	とても(3)
аайы-биле	~に合わせて, ~に従って(19)
аал	遊牧の宿営地(11)
аар	(値段が) 高い; 重い(10)
аар	(文末において) なんて~なんだろう!(22)
аарыг	病気の; 病気(7)
аарыыр(аары [°])	痛む(19)
аас	口(19)
аас-кежик	幸福, 幸せ(8)
ава	母(3)
автобус	バス(9)
автор	著者(23)
агаар	天気; 空気(10)
агаарлаар(агаарла [°])	散歩する(10)
агаарлаашкын	散歩(24)
агаарладыр(агаарлат [°])	換気する; 散歩させる(15)
агар(ак [°])	流れる(7)
агарар(агар [°])	白くなる(10)
адаар(ада [°])	名づける; 発音する(7)
адак	下(20)
адаандан	~の下から(7)
ада-ие	両親(11)
адар(ат [°])	撃つ(20)
адырлыр(адырыл [°])	(連結していたものが) 離れる(読)
ажар(аш [°])	越す, 越える(9)
ажыдар(ажыт [°])	開ける, 開く(12)
ажыглаар(ажыгла [°])	使用する(9)
ажылдадыр(ажылдат [°])	働かせる(15)
ажык	率直な; 開いた; 開封された(17)
ажыктыг	有益な, 役にたつ(21)
ажыл	仕事(3)
ажылдаар(ажылда [°])	働く(5)

ажылдакчы	労働者, 勤労者(7)
ажыңайныр(ажыңайын [°])	何度もつねる(25)
ажыңнаар(ажыңна [°])	ちくちくつねる(25)
ажыр	～を越えて(20)
ажырбас	どういたしまして ; どうぞ ; 大丈夫です(1)
азарганчыг	とても小さい, 細かい(読)
Азия	アジア(3)
азы	それとも(2)
ай	月(13)
аймак	種類, 類(7)
айтыр(айыт [°])	指す, 示す(13)
айтырар(айтыр [°])	質問する, 訊ねる(読)
айтырыг	質問(4)
айыыл	危険(読)
ак	白い(11)
ак-көк	水色の(11)
ак-кызыл	ピンク色の(11)
акша[ашка]	お金(4)
акы	兄(3)
алаак	森の野原(11)
албан чери	役所(7)
алдан	60(9)
алды	6(1)
алдын	金色の ; 金(22)
алдыы	下の(20)
алыр(ал [°])	持っていく, 取る, 借りる ; (助動詞として) 自分のために行う行為(5)
ам	今(6)
амданныг	おいしい(10)
амыдырал	生活(読)
амыраар(амыра [°])	喜ぶ(21)
амытан	動物(19)
андаштаныр(андаштан [°])	ころがる(読)
аныяк	若い(14)
аң	獣(1)
аңгыда	～以外に, ～のほかに(読)

аң-мең 獣（総称）(15)
 аңнаар(аңна[°]) 狩猟する(12)
 апаар(апар[°]) ~になる(17)
 аппаар(аппарат[°]) 持っていく，連れていく，運んでいく(読)
 ара 間，あいだ(20)
 аразындан ~のなかから(14)
 аразынче ~のあいだへ(読)
 арага 乳酒；お酒(19)
 араттаар(аратта[°]) 牧民生活をする(読)
 арга 方法(11)
 арга 森(9)
 арга 方法(11)
 арга-арыг 森林（総称）(7)
 арга-арыглыг 森のある(20)
 арган やせた(14)
 артар(арт[°]) 残る(読)
 арттырар(арттыр[°]) 残す(18)
 арты 向こう側(20)
 арыг きれいな，澄んだ(10)
 арын ページ；顔(7)
 аспирант 大学院生(7)
 ат 名前(3)
 аудитория (大学の) 教室(6)
 ача 父(3)
 ачы 援助，恩恵(20)
 ашак 夫(3)
 аштаар(ашта[°]) お腹が減る (22)
 аштаар(ашта[°]) 掃除する，きれいにする(読)
 аштакчылаар(аштакчыла[°]) 掃除婦として働く(読)
 аът Уマ(14)
 аязыр(аяс[°]) (天氣が) 晴れる(18)
 аяк 茶碗(18)
 аяк-сава 食器(24)
 аяс 晴れた；明らかな(12)

Б

баар(бар[°]) 行く(10)

баары	前, 前部(20)
бадар(бат [°])	下りる ; 降る(22)
бажың	家(2)
база	～も ; さらに(4)
база катап	もう一度(読)
байлак	豊かな(11)
байыр	挨拶(8)
байыр чедирер	よろしくと伝える(8)
байырлал	祝日(8)
байырлыг	さようなら(1)
баксыраар(баксыра [°])	悪くなる(17)
балык	魚(22)
балыктаар(балыкта [°])	釣りをする(10)
балыкчы	漁師(発音)
банк	銀行(2)
бар	ある, いる(4)
барыын	西の(13)
баш	頭 ; 頂上 ; (家畜, 動物の) 頭数(19)
башкы	先生(1)
башкылаар(башкыла [°])	教える(13)
баштай	最初に(18)
баштайгы	最初の(22)
бе	～か (疑問文を形成する) (1)
бедидир	高く (するように) (18)
бедиир(беди [°])	上る, 登る ; 高くなる, 上がる, 向上する(読)
бедик	(高さが) 高い(11)
бежен	50(9)
белек	プレゼント(読)
белен	準備のできた(10)
белеткенир(белеткен [°])	準備する(23)
белеткээр(белетке [°])	準備する(22)
берге	困難な ; 難しい(21)
беш	5(1)
бешки	5番目の(読)
библиотека	図書館(7)
бижек	ナイフ(17)

бижиир(бижи ^ᠨ)	書く(5)
бижик	文字(23)
бижиттинер(бижиттин ^ᠨ)	書き物をする, 何かを書く(読)
билдинмес	分からない, 知らない(読)
биле	～と～(1)
-биле	～と ; ～を使って(8)
билет	切符(10)
билиг	知識(21)
билир(бил ^ᠨ)	知っている(5)
бир	1 ; ある～(1)
бирээ	1 (14)
бис	私たちは(2)
биче	小さい(発音)
бичии	小さい(11)
бо	これは, これらは ; この, これらの(1)
бо чылын	今年 (に) (10)
бодаар(бода ^ᠨ)	思う(10)
боданыр(бодан ^ᠨ)	熟考する, 自分でよく考える(13)
болбас	～してはいけない(6)
болгай	(だって) ～でしょ(10)
болгаш	～と～ (8)
болдурар(болдур ^ᠨ)	引き起こす(読)
болур(бол ^ᠨ)	～である ; ～になる(2)
болур	～してもよい(6)
боор	болурと同じ(18)
боор	～だろう(22)
боорзак	小麦粉で作った揚げ菓子(読)
боостаа	のど(19)
бот	自分自身で(13)
бот-боттары	お互い(10)
бөгүн	今日(5)
бөлдүнер(бөлдүн ^ᠨ)	集まる, 一か所に集まる(読)
бөлүк	グループ, 班(16)
бөлүктээр(бөлүкте ^ᠨ)	分類する(18)
бөрт	帽子(10)
буга	種ウシ(発音)

бузар(бус[°]) 壊す(16)
 булут 雲(読)
 бурунгаар ~前に(22)
 бурунгаарлаар(бурунгаарла[°]) 前に進む, 前進する(21)
 буруудадыр(буруудат[°]) 罪にとわれる(2)
 буруулуг 罪のある(2)
 бус 水蒸気(読)
 бусталыр(бустал[°]) 蒸気がでる, 水蒸気になる(読)
 бут 足(19)
 буургаар(буурга[°]) 粉々になる(22)
 бүгү すべての(読)
 бүдүн まるごとの, 全体の(21)
 бүзүредир(бүзүрет[°]) 信じさせる, 納得させる(発音)
 бүргег 曇りの(12)
 бүргээр(бүрге[°]) 曇る(22)
 бүрү 葉(3)
 бүрү すべての, 各々の(21)
 быжыг 強固な, 頑丈な(21)
 быжыرار(быжыр[°]) 揚げる, 焼く(読)
 бызаа 子ウシ(8)
 бызаалаар(бызаала[°]) 子ウシを産む(読)
 быштак チーズ(11)
 бээр(бер[°]) あげる, くれる ; (助動詞として) ~してあげる(8)
 бээр ~から(20)

В

варенье ジャム(14)

Г

галстук ネクタイ(3)

гараж 車庫, ガレージ(4)

грамм グラム (g) (読)

грипптээр(гриппте[°]) インフルエンザにかかる(19)

Д

-даа ~でさえ(22)

даараар(даара[°]) 縫う(7)

даарадыр(даарат[°]) 縫ってもらう(15)

даарта 明日(5)

дааш	騒音(24)
даг	山(3)
даглыг	山の多い(10)
дазыл	根(18)
дазыр	草木の生えない場所(15)
далай	海(11)
дамды	滴, しずく(読)
дамчыдар(дамчыг [°])	渡す, 伝える(8)
дамчыдылга	番組(読)
дамырак	泉(15)
дарга	長(15)
даш	石(3)
даштыгаа	戸外で ; 戸外へ(10)
делгем	広い(20)
делегей	世界(14)
демги	まさにこの(14)
демдек	印, 記号(23)
демир-орук	鉄道(9)
демир-үжүк	ペン(1)
деп	〜と (いう) (7)
дер	汗(発音)
дериир(дери [°])	準備をする ; 旅支度をする(10)
дескинер(дескин [°])	回る(7)
диинç	リス(17)
диинçээр(диинçне [°])	リス狩りをする(20)
диис	猫(1)
дилги	キツネ(10)
диңмирээшкин-кызаңнааштыг	雷をともなう(12)
диңмирээшкин-кызаңнааштыг чаъс	雷雨の ; 雷雨(12)
дискек	膝(19)
диш	齒(7)
довурак	土(読)
долгаар(долга [°])	電話する(8)
долгандыр	周囲には(24)
долдурар(долдур [°])	いっぱいにする(15)
долу	霰, 雹(12)

домак 文, 文章(9)
 доңар(доң°) 凍える, 凍る(13)
 доңгайтыр(доңгайт°) 曲げる, 下へ曲げる(発音)
 доозар(доос°) 終える; 卒業する(20)
 дорт まっすぐに(22)
 дош 氷(10)
 дошчугаш дош (氷) の指小形(読)
 дөө あの(14)
 дөөртен あそこから(発音)
 дөр 天幕の中の上座(発音)
 дөрт 4 (1)
 дөртөн 4 0 (9)
 дөрткү 第4番目の(11)
 дугаар ~番目の(1)
 дугайы ~について(20)
 дуглаар(дугла°) 閉める, さえぎる(17)
 дугуржур(дугуруш°) 合意する(18)
 дужаар(дужаа°) 提出する, 渡す(18)
 дузаар(дуза°) 塩漬けにする(読)
 дузалаар(дузала°) 手伝う(8)
 дузалажыр(дузалаш°) 手伝う, お互い助け合う(10)
 думчук 鼻(19)
 дуңма 弟, 妹(3)
 дургаар ~に沿って(25)
 дуруяя 鶴(4)
 душ 場所(20)
 дүжер(дүш°) 降りる; 落ちる; (季節が) 到来する(10)
 барып дүжер 落ちる(10)
 дүжүрер(дүжүр°) (荷物を) 降ろす; 打倒する(23)
 дүжүрүп бижиир 書き出す(23)
 дүжүт 収穫(16)
 дүк 毛(14)
 дүне 夜に(12)
 дүнеки 夜中の(9)
 дүрген 速い; 速く(9)
 дүрген чоруур поезд 特急(9)

дүрзүгүр	陰気な(20)
дүүн	昨日(12)
дүш	夢(発音)
дүштеки	昼の(9)
дүъш	正午(発音)
дыка	とても(10)
дыл	言語, ~語(5)
дыңнаар(дыңна [°])	聴く, 聞く(5)
дыңналыр(дыңнал [°])	聞こえる(16)
дырбактыг	オオヤマネコ(17)
дыт	カラマツ(17)
дыштанылга	休み, 休暇(20)
дыштаныр(дыштан [°])	休む, 休息をとる(11)
дээр(де [°])	言う(3)
дээр(дег [°])	(日が) 昇る ; 触れる, 触る(13)
дээр	~まで(20)
дээр	空(22)
Ж	
журналист	記者(7)
З	
завод	工場 (重工業) (7)
И	
иви	トナカイ(6)
ие	母(15)
ижер(иш [°])	飲む(5)
ижин	お腹 ; 中(19)
иштинден	~のなかから ; ~の間に (時間) (13)
ижин-баар	胃(17)
изиг	暑い ; 熱い(10)
изидер(изит [°])	温める, 暖める(読)
ийе	はい(1)
ийи	2 (1)
ийик	~だろうに (仮定法を形成する) (21)
ийин	~だよ(20)
инек	ウシ(13)
инек-караа	クロフサスグリ (ベリー類) (25)

институт	研究所(読)
ис	跡, 足跡, 轍(3)
К	
каар(каг [°])	残す ; 去る ; (助動詞として) 完了相を形成する(24)
кадай	妻(3)
кадарар(кадар [°])	放牧する(8)
кадарчы	牧民(7)
кады	いっしょに(15)
кадык	健康 ; 健康な(17)
кадыкшыл	健康(8)
кажан	いつ(20)
кажар	ずるがしこい(13)
казар(кас [°])	掘る(読)
кайгаар(кайга [°])	感嘆する, 驚く(25)
кайда	どこに, どこで(4)
кайы	どちらの, どのような(13)
кайыын	どこから(9)
калбак	広い(22)
камгалаар(камгала [°])	守る(読)
кандыг	どのような(11)
канчаар	どのように (する) (22)
канчаныр(канчан [°])	どのようにする(20)
кара	黒い ; 暗色の(11)
кара суг	泉(25)
карак	目(19)
карандаш	鉛筆(1)
картошка	ジャガイモ(17)
карттаар(картта [°])	皮をむく(17)
кастынар(кастын [°])	掘られる(23)
кастырар(кастыр [°])	掘らせる(15)
кат	ベリー類(2)
катап	～回(18)
каттаар(катта [°])	ベリー摘みをする(12)
кат-чимис	果実, 果物(16)
каш	いくつの(1)
каяя	どこで(10)

кедер(кет [°])	着る(5)
кедергей	極めて, 異常なほど(読)
кедээзінде	あちらの丘陵地に(22)
кежээ	夕方に, 晩に(5)
кежээки	夕方の(9)
кежээликтей	夕方頃に(22)
кежээлээр(кежээле [°])	荒れ狂う(読)
кезек	いくつか, 部分(13)
кезер(кес [°])	切る(20)
кезик	いくつか, 部分(9)
кезээде	いつも(15)
келир(кел [°])	来る(5)
кеттинер(кеттин [°])	服を着る(23)
кеш	毛皮(14)
кидис	フェルト(14)
кижи	人(2)
киирер(киир [°])	入れさせる ; 導入する(11)
кино	映画(読)
кирер(кир [°])	中に入る ; 入学する(6)
киржир(кириш [°])	参加する(13)
кичээл	課 ; 授業(1)
кичээлдээр(кичээлде [°])	勉強する, 自習する(10)
кичээнгей	注意(18)
кичээнгей салыр	注意を向ける(18)
кичээнгейлиг	注意深く ; 注意深い(18)
киш	クロテン(14)
киштээр(киште [°])	クロテン狩りをする(発音)
киштээр(киште [°])	(ウマが) いなくな(発音)
класс	クラス ; 教室(4)
классчы	学校の生徒(11)
кодан-майыктаар(кодан-майыкта [°])	(綿毛のような雪が) 降る(22)
коллектив	集団(21)
команда	命令, 指令(19)
компьютер	パソコン(4)
кончуг	とても(3)
конфета	キャンディー, チョコレート(読)

конькилээр(конькиле[°]) スケートを滑る(10)
 корабль 船(9)
 кошкадыр(кошкат[°]) 弱める(読)
 көдүрлүр(көдүрүл[°]) 登る, 上る(17)
 көжер(көш[°]) 遊牧地を移動する, 引越しする(11)
 көк 青い(11)
 көөр(көр[°]) 見る ; ~してください(2)
 көрбестээр(көрбесте[°]) 見なくなる(読)
 көргүзер(көргүс[°]) 見せる(5)
 көржүр(көрүш[°]) 一緒に見る(13)
 көрнүр(көрүн[°]) 見渡す(13)
 көрүнчүк 鏡(24)
 көстүр(көзүл[°]) 見える(10)
 кудар(кут[°]) 注ぐ(9)
 кудумчу 通り(7)
 кулак 耳(19)
 культура 文化(8)
 культура бажыңы 文化会館(8)
 кургаар(курга[°]) 乾く(22)
 кургадыр(кургат[°]) 乾燥させる(13)
 курт 昆虫(7)
 куш 鳥(9)
 куу 灰色の(11)
 күзел 希望, 望み(21)
 күзүн 秋に(12)
 күзээр(күзе[°]) 祈る, 望む(8)
 күрүне 国家(読)
 күс 秋(3)
 күске ネズミ(10)
 күүседир(күүсет[°]) 実行する, 行う, 遂行する(8)
 күүй おば(母の兄弟の妻)(読)
 күчүлүг 強い, 強力な(7)
 күш 力(3)
 Кыдат 中国(9)
 кыдыг 岸 ; 端(12)
 кыдырааш ノート(1)

кыжын 冬に(12)
 кызаңайныр(кызаңайын[°]) 何度も輝く(25)
 кызаңнаар(кызаңна[°]) きらきら輝く(25)
 кызыл 赤い(11)
 Кызыл クズル(7)
 кызыл-кат Акаフサスグリ (ベリー類) (25)
 кылдыр ～として, ～するように(18)
 кылдырар(кылдыр[°]) やらせる(15)
 кылыр(кыл[°]) する, 作る(2)
 кым 誰(1)
 кыпсыр(кывыс[°]) (火を) 点ける(24)
 кырган-ава 祖母(3)
 кырган-ача 祖父(3)
 кыргыыр(кыргы[°]) (毛を) 刈る(読)
 кыры 上, 表面(20)
 кырынга ～の上に (で) ; ～語で(11)
 кыс 女 ; 若い娘(3)
 кыска 短い(17)
 кыш 冬(5)
 кышкы 冬の(10)
 кыштаар(кышта[°]) 冬を過ごす(10)
 кыштаг 冬當地(10)
 кыштаглаашкын 越冬(10)
 кыштагладыр(кыштаглат[°]) 冬を過ごす, 冬當地に移る(10)
 кээр(кел[°]) келир (来る) に同じ(10)

Л

-ла, -ле, -на, не 強調の助詞(10)
 лагерь キャンプ場(11)
 литр Литтрл (ℓ) (読)

М

магадаар(магада[°]) 感嘆する(25)
 майгын テント(24)
 мал 家畜(10)
 малчын 畜産家, 牧畜民(1)
 малчыннаар(малчынна[°]) 畜産を営む, 牧畜家として働く(読)
 манаар(мана[°]) 待つ(5)

маңаа	ここで(5)
маңнаар(маңна [°])	走る(23)
маңнажыр(маңнаш [°])	一緒に走る(13)
маргыжар(маргыш [°])	論争し合う(13)
машина	車(4)
мен	私は(2)
мендилежир(мендилеш [°])	あいさつを交わす(24)
мергежил	訓練, 練習 ; 技, 熟練(21)
мергежилге	練習問題(1)
минут	分(9)
могаар(мога [°])	疲れる(16)
мону	бо の対格(4)
Моол	モンゴル(9)
моон	бо の奪格(17)
мооң	бо の生格(読)
мооң мурнунда	その前は(読)
Москва	モスクワ(9)
мөген	ラクダのこぶ(13)
мең	ほくろ(発音)
мөңгүн	銀(発音)
музыка	音楽(5)
мунар(мун [°])	乗る, 運転する(14)
муң	1 0 0 0 (9)
мурнай	最初に(13)
мурну	前, 前部(20)
мурнуу	南の(20)
мыйыстыг	角のある(14)
мынчаар	このように(18)
Н	
найырал	友情, 友好(21)
найыралдыг	仲良く ; 仲の良い(読)
национал	民族(読)
националдыг	民族の(読)
неделя	週(13)
ниити	一般的な(17)
ногаа	野菜(16)

ногаан	緑色の(11)
ном	本(2)
ном үндүрер чер	出版社(7)
номчуур(номчу [°])	読む, 読書する(2)
○	
одаг	かまど, 炉; 焚き火(12)
одаг ажыдар	焚き火をする(12)
одар	放牧地(発音)
оймак	森の中の木のない場所(25)
ойнаар(ойна [°])	遊ぶ(12)
ол	彼は, 彼女は, それは(2)
ол дээрге	それというのは(9)
олар	彼らは, それらは(2)
олурар(олур [°])	座る, 座っている(6)
олуртур(олурт [°])	座らせる; 植える(11)
он	1 0(1)
онаалга	課題(2)
онзагай	特別な(9)
ону	ол の対格(4)
оол	息子; 男の子, 少年(15)
ооң соонда	そのあとで(5)
оор	泥棒(11)
оорга	背中(19)
ораар(ораа [°])	包む, 巻く(24)
орар(ор [°])	олурар と同じ(読)
организа­статтынар(органи­за­статтын [°])	組織される(10)
орта	そこで, その場所で(読)
орту	真ん中(25)
орун	ベッド(11)
орустап	ロシア語で(4)
оттурар(оттур [°])	起こす(24)
очулдурукчу	通訳, 翻訳家(7)
оът	草(14)
оюн	遊び, ゲーム(12)
Θ	
өг	天幕(20)

өг-бүлe	家族(3)
өжүрeр(өжүр ^е)	消す(読)
өзeр(өс ^е)	育つ(15)
өкпeң	紫色の(11)
өл	湿った(読)
өң	色(11)
өңнүг	～な色をした(11)
өңнүк	友人, 友だち(21)
өөр	(集合) 友人たち(読)
өөредилгe	教育, 勉強(4)
өөредилгe ному	教科書(4)
өөреникчи	生徒(4)
өөренир(өөрeн ^е)	学ぶ(5)
өөрүнчүг	うれしい, 喜ばしい(3)
өөрүшкү	喜び(8)
өрт	火事(読)
өртек	価格(10)
өртектиг	～の値段のする(10)
өрттенир(өрттeн ^е)	火事が起きる, 燃える(読)
өрээл	部屋(6)
өршээр(өршээ ^е)	ゆるす(2)
өрү	上へ(19)
өрү-куду	上へ下へ(発音)
өшкү	ヤギ(2)

П

пар	トラ(発音)
парлаар(парла ^е)	印刷する(読)
паш	鍋(発音)
пингвин	ペンギン(9)
поезд	列車(9)
почта	郵便局(7)
пөс	布地(発音)
пөш	エゾマツ(9)
пудель	プードル (犬) (19)

Р

радио	ラジオ(読)
-------	--------

республика	共和国(読)
ресторан	レストラン(7)
Россия	ロシア(9)
рубль	ルーブル (ロシアの貨幣単位) (10)

С

саазын	紙(24)
саар(саг [°])	搾乳する(読)
саарар(саар [°])	(かき混ぜながら,あるいは注ぎ移しながら)冷ます(18)
сава	食器(5)
саглацнаар(саглацна [°])	ゆらゆら揺れる(15)
садар(сат [°])	売る(10)
садып алыр	買う(10)
садып бээр	買ってあげる(10)
садып эkkээр	買って持ってくる(読)
садыг	お店(7)
сайзыраңгай	発展した(14)
салат	サラダ(9)
салдынар(салдын [°])	置かれる(23)
салыр(сал [°])	置く(18)
самолёт	飛行機(9)
сан	数(10)
сан бодаар	算数の問題を解く(10)
санаар(сана [°])	数える,計算する(21)
санал	意見(4)
сандай	椅子(19)
саң дорт	まったく(22)
саржаг	バター (14)
сарлык	ヤク(14)
сарыг	黄色の(11)
сарыг-ногаан	黄緑の(11)
сезен	80(9)
семдер	毛深い(14)
сен	君は(2)
серемчилел	用心,警戒心(読)
серээ	フォーク(発音)
сериин	涼しい(12)

сес	8 (1)
сестир(сезин ^е)	恐れる(14)
силер	あなたは；あなた方は(2)
словарь	辞書(4)
солун	おもしろい，興味深い(10)
солун	新聞(15)
соң	後ろ，後部(20)
ооң соонда	そのあとで(5)
соонда	～の後に；～の後ろに(8)
соңга	窓(18)
соңгудар(соңгут ^е)	選ばれる(15)
соок	寒い(5)
соор(соо ^е)	冷える，寒くなる(22)
сорулга	目的(21)
сөөк	骨(3)
сөөлгү	最後の(読)
сөөлгү үеде	最近(読)
сөөлү	終わり(20)
сөс	単語(4)
стакан	コップ(24)
студент	学生(1)
суббота	土曜日(24)
суг	水(9)
суг	～の家，家族(14)
сугар(сук ^е)	中に入れる(24)
суксаар(сукса ^е)	のどが渴く(22)
суур	村；田舎(10)
сүме	助言，アドバイス(13)
сүмелээр(сүмеле ^е)	助言する(13)
сүт	牛乳(5)
сүттүг	乳の入った(8)
сүттээр(сүтте ^е)	乳を加える(18)
сыгырга	キガシラコウライウグイス (鳥) (24)
сын	山脈(17)
сыын	マラルジカ(発音)
сыырткыышкын	釣り竿(22)

T

таакпылаар(таакпыла ^ә)	たばこを吸う(6)
таваржыр(таварыш ^ә)	遭遇する(21)
таварыштыр	〈対〉～に関して(8)
тайга	タイガ(17)
такси	タクシー(8)
тал	ヤナギ(25)
тала	側(20)
танцылаар(танцыла ^ә)	踊る(19)
таныжар(таныш ^ә)	知り合いになる(3)
таныштырар(таныштыр ^ә)	紹介する, 知り合わせる(19)
тараа	穀物(15)
тараачын	農民(7)
театр	劇場(6)
теве	ラクダ(4)
тей	丘(13)
телевидение	テレビ放送(読)
телевизор	テレビ(5)
телефон	電話(10)
терек	ドロヤナギ, ヤマナラシ, トーポリ(25)
терең	深い(22)
тик	ゼロ, 零, 0(発音)
тогланчы	小片, かけら(読)
Тожу	トージュ地方(トゥヴァ北東部)(22)
тозан	90(9)
тон	トゥヴァの民族服; 外套, コート(発音)
тоң	とても, 極めて(発音)
торга	キツツキ(7)
тос	9(1)
тоол	昔話(2)
тоолдаар(тоолда ^ә)	昔話を語る(8)
торгу	絹(14)
төгөр(төк ^ә)	(土砂降りの雨が)降る(17)
төндүрер(төндүр ^ә)	終える(読)
төлээ	代表(9)
төөгү	歴史(10)

төл	中心(3)
төрөл	親戚(読)
төрүттүнер(төрүттүн [°])	生まれる(発音)
төрээн	故郷の, 生まれた(10)
төрээн дыл	母語(10)
төш	胸(発音)
тракторист	トラクター運転手(18)
тудар(тут [°])	建てる(6)
тудар(тут [°])	つかむ, 捕まえる(10)
тудугжу	建設労働者(7)
тудум	～するにつれて(読)
тук	旗(発音)
туман	霧(17)
туманныг	霧のかかった(発音)
турар(тур [°])	立っている; 起きる, 起床する, 起き上がる(6)
туруг	切り立った崖(20)
тутсур(тудус [°])	手渡す(8)
тутчур(тутуш [°])	お互いつかみ合う(13)
түк	トウクトウク (擬態語) (発音)
Тыва	トウヴァ(7)
тыва	トウヴァの(5)
тывалаар (тывала [°])	トウヴァ語を話す(5)
тывалап	トウヴァ語で(4)
тывар(тып [°])	見つける; 当てる(9)
тывызык	なぞなぞ(23)
тык	トウクトウク (擬態語) (発音)
тынар(тын [°])	呼吸する(17)
тыптыр(тывыл [°])	見つかる(16)
-тыр(-тур, -тир, -түр, -дыр, -дур, -дир, -дүр)	文の内容を断定する助詞(3)

У

угаанныг	賢い(19)
угба	姉(3)
удакас	まもなく, もうすぐ(読)
удуур(уду [°])	寝る(9)
ужар(уш [°])	飛ぶ(8)
ужудар(ужут [°])	飛ばす(15)

ужудукчу パイロット(21)
 ужуражыр(ужураш[°]) 会う(1)
 ужурашкыже また会う日まで(1)
 ужурлуг ～しなければならない(18)
 узун 背が高い；長い(14)
 узуткаар(узутка[°]) 破壊する，一掃する，全滅させる(読)
 улам ますます(読)
 улгадыр(улгат[°]) 大きくなる(18)
 улуг 大きい(2)
 улуу-биле とても(1)
 улус 人々(8)
 университет 大学(6)
 уржук 理由(20)
 уруг 子供；娘(8)
 утка 意味(22)
 уштур(ужул[°]) 脱ぐ(13)

Ү

үе 時間，時期(10)
 үжен 30(9)
 үжүк 文字(21)
 үзүндү 断片(13)
 үлегер 例，見本(発音)
 үндүрер(үндүр[°]) 出版する(7)
 үнелиг 価値のある(19)
 үнер(үн[°]) 外に出る；(芽が)出る(6)
 үнүш 植物(2)
 үңгүр 巢穴(13)
 үр 長い間(13)
 үргүлчү いつも，たえず(9)
 үрээр(үре[°]) 壊す；(規則を)破る(16)
 үскүр 脂肪分の多い(14)
 үстү 上の部分，表面(18)
 үш 3(1)
 үшкү 3番目の(読)

Ф

фабрика 会社(7)

фамилия 苗字(3)
фирма 会社(7)
фирма ажылдакчызы 会社員(7)
фонарь 灯火(発音)
фото-чурук 写真(6)

X

хаактаар(хаакта[°]) スキーする(10)
хаар(хаг[°]) 閉める(18)
хааржак 箱(24)
хадылыг マツの生えている(17)
хадың 白樺(10)
хадыңныг 白樺の生えている(発音)
хадыыр(хады[°]) (風が) 吹く(12)
хайныр(хайын[°]) (お湯などが) 沸く(18)
хайындырар(хайындыр[°]) 煮る(10)
халас ただで, 無料で(16)
ханар(хан[°]) 満足する(25)
хар 雪(12)
хараар(хара[°]) 見下ろす(13)
харлаар(харла[°]) ~の年齢になる, ~歳になる(読)
харлыг 雪の(12)
харылзажыр(харылзаш[°]) 交流する ; 連絡をとる ; 関係をもつ(読)
хат 風(12)
хая 崖(20)
хем 川(2)
хеме ボート(3)
хенертен 突然(22)
хеп 服(3)
хереглээр(херегле[°]) 用いる(13)
херек ~する必要がある ; 仕事 ; 大義(18)
херексел 道具(2)
хереп 光, 日光(13)
херлир(херил[°]) 広がる(20)
хире ~ぐらい(13)
хлеб パン(9)
ховаган 蝶(15)

хову	ステップ(2)
хой	ヒツジ(2)
хол	手(3)
хол-майгыны	傘(8)
хонар(хон ^е)	泊まる(8)
хонук	一昼夜(9)
хоорай	市, 町(6)
хоралыг	害をなす(7)
хостаар(хоста ^е)	解放する(16)
хостуг	自由な, 暇な(10)
хоюг	柔らかい(14)
хөвөң	綿(22)
хөглүг	楽しい(13)
хөглээр(хөгле ^е)	楽しむ(読)
хөй	たくさんの(2)
хөл	湖(3)
хөлчөк	とても多くの(14)
хөнөк	やかん(18)
хөөмей	ホーメイ(11)
хөөмейжи	ホーメイ歌手(6)
хөөмейлээр(хөөмейле ^е)	ホーメイを歌う(6)
хөөлбек	池, 貯水池(22)
хөрзүн	土壤, 地面, 土地(読)
хураган	子ヒツジ(読)
хурал	集会, 会議(8)
хүлүмзүрүүр(хүлүмзүрү ^е)	微笑む(15)
хүн	太陽; 日(7)
хүндүлүг	尊敬すべき(18)
хүндүс	昼に(12)
хүнзедир	一日中(18)
хүннүн-не	毎日(9)
хүннээр(хүнне ^е)	(太陽が) 輝く(15)
хүнчүгөш	хүн (太陽) の指小形(15)
хүр	(家畜が) 満腹に, 飢えを知らずに(10)
хүрежир(хүреш ^е)	相撲する(11)
хүрең	茶色の(11)

хынаар(хына[°]) チェックする(8)

Ц

цех 作業所；同業組合(発音)

Ч

чаа はい；わかりました(2)

чаагай 多くの；おいしい；気持ちのよい；芳しい(16)

чаар(чаг[°]) (雨や雪が) 降る(12)

чавызадыр 低くするように(18)

чавыс 低い(14)

чавыт 低い(20)

чагаа 手紙(3)

чагаалаар(чагаала[°]) 手紙を書く(13)

чадаг 歩いて，徒歩で(22)

чадаг-терге 自転車(9)

чажар(чаш[°]) 撒く(18)

чазын 春に(12)

чай 自由な時間，暇な時間(4)

чай 夏(20)

чайгы 夏の(20)

чайын 夏に(10)

чалаар(чала[°]) 招待する(5)

чалым 断崖絶壁(20)

чамдык いくつかの(11)

чамдыкта ときどき(9)

чан 近辺，近く(20)

чанында ~のそばで(6)

чанар(чан[°]) 帰る(9)

чаңгыс 唯一の，1つの(発音)

чаңнык 稲光(25)

чараш 美しい(2)

чарлыр(чарыл[°]) 別れる(16)

чартык 半分，30分(9)

час 春(17)

чаш 子ども；赤ん坊(発音)

чаштыг お下げのある(15)

чаштынар(чаштын[°]) 隠れる(13)

чаъс	雨(12)
чаъстыг	雨降りの(12)
чаяр(чай [°])	(頭などを) 振る(18)
чеден	7 0 (9)
чедер(чет [°])	達する, 到達する, 到着する(9)
чеди	7 (1)
чедиги	7 番目の(読)
чедишкин	成功(21)
чедир	～まで(20)
чедирер(чедир [°])	連れていく(8)
чекпе	キクラゲ(きのこ類) (18)
чем	食事, ご飯, 食べ物(5)
чемгерер(чемгер [°])	餌を与える(14)
чемненир(чемнен [°])	食事をとる(23)
чемнээр(чемне [°])	食物を探す(23)
чепсегленир(чепсеглен [°])	武装する, 装備する(21)
чер	大地, 土地; 場所(3)
Чер	地球(7)
черле	まったく, まるで(読)
черлик	野生の(18)
честек-кат	いちご(25)
четтирдим	ありがとう(1)
четтирер(четтир [°])	感謝する(1)
чечек	花(8)
чечектелир(чечектел [°])	(花が) 咲く(15)
чечен	雄弁な, 表現のすぐれた(10)
чечен чогаал	文学作品(10)
чечен чугаа	短編小説(読)
чиг	生の, 半煮えの(14)
чигирзиг	甘い(読)
чидер(чит [°])	消える(24)
чижеглээр(чижегле [°])	例を挙げる(17)
чиик	安い; 軽い(10)
чиир(чи [°])	食べる(5)
чимис	果実(15)
чогаадыр(кучогаат [°])	作文する(9)

чодураалыг	ウワヅミサクラの生えた(20)
чойган	モミ(17)
чок	いいえ(1)
чок кылыр	根絶する(7)
чокка	～なしで(13)
чолаачы	運転手(7)
чолаачылаар(чолаачыла [°])	運転手として働く(読)
чон	人民, 国民(11)
чоогунда	～の近くに(24)
чоокшулаар(чоокшула [°])	近づく(14)
чоорту	次第に, だんだんと(22)
чоп	なんのために(発音)
чорудар(чорут [°])	行う; 送る(読)
чоруур(чору [°])	行く(2)
чоруй баар	出発する, 出かける(18)
чөвүрээ	木の皮, 樹皮(7)
чөдүрер(чөдүр [°])	咳をする, 咳がでる(13)
чөленир(чөлен [°])	もたれる, よりかかる(発音)
чөөк	東の(13)
чөп	正当に(発音)
чөпшээрешир(чөпшээреш [°])	お互い同意する(18)
чуга	薄い(発音)
чугаа	会話, 話(4)
чугаа ному	会話集(4)
чугаалаар(чугаала [°])	言う, 話す(13)
чугаалажыр(чугаалаш [°])	会話する(11)
чугула	重要な(読)
чук	松やに(発音)
чунар(чун [°])	お風呂に入る(9)
чуңгулаар(чуңгула [°])	滑る(10)
чурт	国(3)
чурттаар(чуртта [°])	住む, 暮らす(7)
чурттакчы	住民(24)
чурук	絵(4)
чурукчу	画家(7)
чуруур(чуру [°])	描く(8)

чуук 斜面(発音)
 чуур(чуг[°]) 洗う(5)
 чүве 物, 物体; ~なことだ(8)
 чүве чугаалаар スピーチをする(8)
 чүгле ただ, ~だけ(21)
 чүдек みっともない(22)
 чүдерээр(чүдере[°]) (天氣が) 悪くなる(読)
 чүдүрер(чүдүр[°]) (荷物を) 積む(24)
 чүк 方角(13)
 чүс 100(9)
 чүткүүр(чүткү[°]) 志向する(21)
 чүү 何(1)
 чүүл ~なもの, こと(読)
 чыглыр(чыыл[°]) 集まる(11)
 чыдыр(чыт[°]) 横になる(6)
 чыдар(чыт[°]) 横になる(6)
 чыл 年(11)
 эрткен чылын 去年(読)
 бо чылын 今年(10)
 чылыг 暖かい; 暖かさ, 熱(5)
 чылыыр(чылы[°]) 暖かくなる(22)
 чырык 明るい色の; 明るい; 光(11)
 чырыыр(чыры[°]) 輝く, 照らす(15)
 чыт 匂い(25)
 чыыр(чыг[°]) 集める(12)
 чээрби 20(9)

Ш

шаанда 以前は(18)
 шавыштыр 斜めに(22)
 шаг 時間(3)
 шагда 以前に(22)
 шагдаа 警察官(7)
 шай 茶(8)
 шайлаар お茶を飲む(15)
 шак 時計; 時(時刻) (3)
 шала 少し(22)

шалың	露(24)
шанак	そり(3)
шат	連山；高原(10)
шенек	肘(19)
шеңне	シャクヤク(18)
шиви	トウヒ(17)
шии	芝居，戯曲(発音)
шилиир(шили [°])	選ぶ(21)
шилчиир(шилчи [°])	変わる，変化する(読)
шимээн	物音，騒音(24)
шкаф	食器棚(24)
школа	学校(7)
школачы	学校の児童，生徒(読)
шокар	まだらの，ぶちの(7)
шола	あだ名(14)
шөйлүр(шөйлү [°])	広がる(20)
шөл	野原，穀物畑(3)
шуглаар(шугла [°])	覆う(23)
шугланыр(шуглан [°])	(自分を)覆う(23)
шудургу	根気よく，粘り強く，熱心に；根気よい，粘り強い，熱心な(読)
шупту	すべて(読)
шураар(шура [°])	跳ぶ，ジャンプする(19)
шүлүк	詩(24)
шывар(шып [°])	覆う(15)
шыдаар(шыда [°])	～できる（可能）(21)
шылаар(шыла [°])	疲れる(16)
шылгадыр(шылгат [°])	試験を受ける(発音)
шын	正しい；真実(17)
шынап-ла	本当に(20)
шыяр(шый [°])	線を引く(23)
Щ	
щи	キャベツのスープ(10)
щётка	ブラシ(発音)
Ы	
ынак	好きな，好きである(11)
ыңды	あちら側(20)

ынчаар	そのように(読)
ынчаарга	一方で(18)
ынчалза-даа	しかし(16)
ынчан	そのとき, 当時 ; その際(21)
ынчангаш	だから(5)
ынчаш	疑問文を強調する助詞(18)
ыр	歌(15)
ыраажы	歌手(7)
ырадыр	遠くに, 遠くのほうに(読)
ырак	遠い(10)
ырлаар(ырла ^᠑)	歌う(5)
ырлажыр(ырлаш ^᠑)	一緒に歌う(13)
ыт	犬(1)
ыт-кады	ヨーロッパノイバラ(18)
ышкам	蒸し暑い(12)
ышкаш	~のように(18)
ыыт	声 ; 音(16)
ыяш	木(7)

Э

эвес	~ではない(1)
эвээш	少しの(2)
эге	はじめ(20)
эгелээр(эгеле ^᠑)	始まる ; 始める(5)
эдек	山麓(17)
эдер(эт ^᠑)	直す, 整える(13)
эдер(эт ^᠑)	鳴く(24)
эзим	森林(22)
эки	良い(2)
экии	こんにちは(1)
экзамен	試験(読)
эkkээр(эkkел ^᠑)	持ってくる(読)
электричка	電車(9)
элеңейнир(элеңейин ^᠑)	きらきら輝く(25)
элеңнээр(элеңне ^᠑)	ゆらゆら揺れる(25)
элик	ノロジカ(発音)
эм	薬(13)

эмер(эм [°])	乳を吸う(23)
эмзирер(эмзир [°])	(乳を) 吸わせる(15)
эмнелге	病院(7)
эмненир(эмнен [°])	病気を治す(13)
эмниг	薬のある(13)
эмнээр(эмне [°])	治す(7)
эмчи	医者(1)
эң	もつとも, 一番(14)
эңмежок	かなり多い(25)
эптиг	快適に, 都合のよいように(24)
эпчок	きまりが悪い(発音)
эр	男(3)
эргилде	循環(読)
эргим	大切な(8)
Эрзин	エルジン (トゥヴァ南部の町) (9)
эрик	岸(13)
эрин	唇(発音)
эрте	早く(10)
эртем	学問(21)
эртемден	研究者(7)
эртемниг	科学的な ; 学識のある(発音)
эрген	明日(5)
эрген	朝に(12)
эргенги	朝の(9)
эргенниң-не	毎朝(15)
эртэр(эрт [°])	過ぎる, 経過する ; 通る(19)
эрттирер(эрттир [°])	過ごす(9)
эт	物, 日用品(発音)
эш	友人(3)
эштир(эжин [°])	泳ぐ(9)
эът	肉(5)
ээр(эг [°])	帰る, 戻る(13)
Я	
янзы-бүрү	様々な(7)
Япония	日本(7)
японнап	日本語で(4)

参考文献

Биче-оол М.Д., Исхаков Ф.Г., *Тыва дылдың грамматиказы. Бирги кезээ. Фонетика болгаш Морфология. Чеди чылдың болгаш ортумак школаның 5-6 класстарының өөредилге ному*, РСФСР-ниң Чырыдыышкын Министерствозунуң өөредилге ному үндүрер күрпарларга чери, Москва, 1949

Исхаков Ф.Г., Пальмбаха А.А., *Грамматика Тувинского языка. Фонетика и Морфология*, Издательство восточной литературы, Москва, 1961

Сат Ш.Ч., *Тувинский язык* « Языки народов СССР » т. 2 , Наука, Москва, 1966, стр. 387-402

Сат Ш.Ч., *Тувинский язык (краткий очерк)* «Тувинско-русский словарь(под редакцией Пальмбаха А.А.)», Государственное издательство иностранных и национальных словарей, Москва, 1955

Салзынмаа Е.Б., *Учебник тувинского языка. для студентов русской группы филологического факультета Кызылского государственного педагогического института*, Тувинское книжное издательство, Кызыл, 1980

Шамина Л.А., *Структурные типы полипредикативных конструкций тувинского языка*, «Исследования по тувинской филологии», Тувинский научно-исследовательский институт языка, литературы и истории, Кызыл, 1986, арын 16-25

Монгуш Д.А., *Предложения с главным членом(сказуемым) в винительном падеже в тувинском языке*, «Исследования по тувинской филологии», Тувинский научно-исследовательский институт языка, литературы и истории, Кызыл, 1986, арын 26-32

Куулар К.Б., *Возвратный залог в тувинском языке*, «Исследования по тувинской филологии», Тувинский научно-исследовательский институт языка, литературы и истории, Кызыл, 1986, арын 33-52

Алдын-оол А.А. *Диктантылар болгаш эдertiглер чыындызы*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1998

Алдын-оол А.А. *Бодуң номчу - бир классчыларга -* , Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1999

Эргил-оол И.Ч. *Тыва дыл 2*, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1992

Симчит К.Д. *Төрээн чугаа – Эге школаның 2-ги клазынга номчулга ному*,

Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 2000

Плешаков А.А. *Бойдус эртеми* 3, Кызыл, Тываның үндүрер чери, 1995

Ойдан-оол А.К., Белек-Байр А.М., Эргил-оол И.Ч. *Тыва дыл* 4, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1999

Биче-оол М.Д., Бичелдей К.А. *Тыва дыл* 5, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 1995

Селиверстова Г.М., Базыр Г.С., Сюрюн-оол В.В. *Өңнүктер* 5, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 2002

Монгуш Д.А., Куулар К.Б. *Тыва дыл* 6-7, Кызыл, Тываның үндүрер чери, 1995

Биче-оол М.Д., Монгуш М.В., Бавуу-Сюрюн М.В., Ойдан-оол А.К. *Тыва дыл* 8-9, Кызыл, Тываның ном үндүрер чери, 2001